

令和5年度（2023年度）第1回豊中市スポーツ推進審議会

次 第

日 時 令和5年（2023年）5月16日（火）
午後1時30分～午後3時

会 場 豊中市役所第二庁舎4階 第1会議室（対面会議、WEB会議）

案 件

- 1) 令和5年度（2023年度）社会体育団体補助金（案）について
- 2) スポーツ推進計画の進行管理について
- 3) 第2期スポーツ推進計画の策定について
- 4) マルチスポーツにかかる実施事業について
- 5) その他

【配布資料】

- 資料① 第21期豊中市スポーツ推進審議会委員一覧
- 資料② 令和4年度（2022年度）第3回豊中市スポーツ推進審議会（11月14日）会議録
- 資料③ 令和5年度（2023年度）社会体育団体補助金（案）について
- 資料④ 豊中市スポーツ推進計画 事業実施状況及び評価報告書 令和3年度（2021年度）実施分<一部抜粋>
- 資料⑤ 豊中市スポーツ推進計画の進行管理にかかる今後のスケジュール
- 資料⑥ 第2期豊中市スポーツ推進計画（素案）に関する意見募集の結果について
- 資料⑦ 第2期豊中市スポーツ推進計画
- 資料⑧ 第2期豊中市スポーツ推進計画【概要版】
- 資料⑨ 《仮称》令和5年度「マルチスポーツ体験教室」実施（案）

第21期豊中市スポーツ推進審議会委員一覧

令和5年(2023年)
5月10日現在

区 分	氏 名	所属・活動団体等	任 期
関係団体の代表	児島 政俊	公民分館協議会	R3. 6. 21～R5. 6. 20
関係団体の代表	松代 和子	豊中市体育連盟	R3. 6. 21～R5. 6. 20
関係団体の代表	藤森 久美	豊中市スポーツ推進委員協議会	R3. 6. 21～R5. 6. 20
関係団体の代表	道上 博行	豊中市中学校体育連盟	R5. 5. 10～R5. 6. 20
関係団体の代表	浦 耕太郎	連合大阪豊中地区協議会	R3. 6. 21～R5. 6. 20
関係団体の代表	榊 皇雄	大阪知的障がい者スポーツ協会	R3. 6. 21～R5. 6. 20
学識経験者	田島 良輝	大阪経済大学教授	R3. 6. 21～R5. 6. 20
学識経験者	野老 稔	武庫川女子大学名誉教授	R3. 6. 21～R5. 6. 20
学識経験者	長岡 雅美	武庫川女子大学教授	R4. 8. 1～R5. 6. 20
市民	雛田 陽子	市民公募委員	R3. 6. 21～R5. 6. 20

会 議 録

会議の名称	令和4年度(2022年度)第3回豊中市スポーツ推進審議会		
開催日時	令和4年(2022年)11月14日(月)13時30分~14時40分		
開催場所	豊中市役所第二庁舎4階 第1会議室	公開の可否	<input checked="" type="radio"/> 可・不可・一部不可
事務局	都市活力部 スポーツ振興課	傍聴者数	1人
公開しなかった理由			
出席者	委員	浦委員 児島委員 榊委員 田島委員 野老委員 長岡委員 雛田委員 藤森委員 松代委員 六嶋委員 (五十音順)	
	事務局	【都市活力部】 長坂都市活力部長 上原都市活力部次長兼スポーツ振興課長 小松主幹兼課長補佐 荒谷振興係長 松下企画係長 瀬川主事 甲斐主事	
	その他		
議題	1) 第2期豊中市スポーツ推進計画素案について 2) その他		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、WEB会議にて行った。		

【事務局】

ただいまより、令和4年度第3回豊中市スポーツ推進審議会を開催する。
開会に先立ち、野老会長より挨拶をする。

<野老会長：開会の挨拶>

【事務局】

次に、本日の資料について確認させていただく。

<事務局：資料の確認>

【事務局】

当審議会の議長は豊中市スポーツ推進審議会規則第4条1項の規定により会長が務めることとなっているため、野老会長にお願いする。

【議長】

審議に入る前に、定足数の確認を求める。

【事務局】

定足数について、審議会委員10名の内10名の委員が出席し、『豊中市スポーツ推進審議会規則』第4条第2項による、会議開催要件である委員の過半数の出席を充足しているため、本審議会が有効に成立していることを報告する。

【議長】

事務局に前回の審議会の振り返りを求める。

<事務局：資料①令和4年度（2022年度）第2回豊中市スポーツ推進審議会会議録に基づき、前回の審議会の振り返り>

案件1) 第2期豊中市スポーツ推進計画素案について

【議長】

案件1)「第2期豊中市スポーツ推進計画素案について」事務局からの説明を求める。

【事務局】

<資料②「第2期豊中市スポーツ推進計画素案」、資料③「第2期豊中市スポーツ推進計画素案に関する意見一覧」に基づき説明>

まず、前回の審議会後に委員の皆様からいただいたご意見とその対応状況について、資料

③に基づき説明する。

- ・“6 ページ 55 行目 3 つ目の■”について、ご意見のとおり修正した。
- ・“6 ページ 61 行目”について、個人としてだけでなく社会としても言えることなので、あえて明記はせず、元の文章のままにしている。
- ・“10 ページ 図表 7②”について、DXの説明をページ下部に記載した。
- ・“25 ページ 331 行目”について、ご意見のとおり修正した。
- ・“29 ページ”について、資料②の 28 ページ、29 ページをご覧いただきたい。28 ページ、方向性 2「都市魅力を活かしたスポーツのまちづくり」の方針を削除し、施策①を「スポーツによる地方創生・まちづくり」から「スポーツによるシビックプライドの醸成」に変更した。シビックプライドとは、まちへの誇り、愛着、共感を持ち、まちのために自らが関わっていこうとする気持ちのことを指す。
- ・“30 ページ 353 行目”について、「の背中を押し」を削除した。
- ・“30 ページ 359 行目”について、なわとびに関する取り組みは、計画の本文には記載していないが、「各種スポーツ教室の開催」という事業の中で、今後取り組んでいきたい。
- ・“30 ページ 362 行目”について、「その最も原点である」を「その原点である」に修正した。
- ・“30 ページ 361 行目”について、資料太字のとおり修正した。
- ・“30 ページ 363 行目”について、熱中症対策に関するコラムを掲載した。
- ・“30 ページ 373 行目”について、実施及び掲載について検討すると記載しているが、次年度以降の 5 年のうちに詳細について検討していきたい。
- ・“31 ページ 391 行目”について、市広報誌は令和 3 年度から掲載スペースを制限されており、以前のような内容を掲載することができない。そのため、現在配架していない、介護予防センターと市立図書館への配架を調整したい。
- ・“35 ページ 473 行目”について、資料のとおり修正した。
- ・“全体を通して”について、資料のとおり修正した。運動部活動の具体的内容は、新たに策定予定の運動部活動の地域移行に関する計画へ反映させ、アーバンスポーツについては、資料②37 ページの本文に記載し、「スポーツまちづくりイベントの実施」という事業の中で取り組んでいく。
- ・SDGsについては、資料②25 ページ、方向性 (1) (2) に関連する主なゴールを、26 ページにコラムを掲載しているが、コラムではなく、第 3 章のめざす姿の本文中に記載するように修正する。この修正は、「豊中市 SDGs 未来都市計画」の中で、計画の見直しの際に SDGs の視点を踏まえて改定するよう明記されているため行うもの。

次に、前回審議会時に示した素案から変更した点を資料②に基づき説明する。

- ・2 ページ～7 ページ、図表 1、4、5 を豊中市の仕様に変更した。
- ・20 ページ、④のタイトルを「多様な主体の確保」から「スポーツ実施を支える多様な人材の確保」に変更した。ここは、スポーツを「提供する」側の内容を記載しているが、以前の「主体」という表現だとスポーツを「する」側との誤解が生じる可能性があったため、

分かりやすい表現に変更した。

- ・21 ページ、発祥地ブランドのコラムの内容を変更した。
- ・24 ページ、皆様のご意見も踏まえ、2「将来像」を設定した。
- ・29 ページ、前回審議会では、主な事業以降は検討中ということで詳しい説明をしていなかったが、一旦、資料のとおり事業を整理した。
- ・29 ページ、方向性1「すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実」の施策(2)③「その他特定ターゲットのスポーツの機会」を削除し、その中にあった施策を他の施策に組み入れた。「子育て支援センターにおける運動機会の充実」という事業は、子どもと親が対象になっているため、施策(2)①「多様な主体のスポーツの機会」へ入れ、「外国人向けのスポーツ教室の開催」という事業は、既に体育施設で実施しているスポーツ教室で外国人の方を受け入れているので、改めて事業として記載する必要はないと考え、削除した。
- ・「高校生ダンスフェスタ」という事業は、掲載の有無を所管課と調整する。
- ・現行計画の事業数は再掲を含めて154事業だが、第2期計画の事業数は、現時点で59事業となっている。
- ・現行計画に掲載している事業の中で、事業廃止や、一つの事業に対して複数の所管があったもの、通常の業務の一部になっているような事業は削除し、新規事業を追加した結果、59事業となった。
- ・新たに追加した事業は3つあり、まず、方向性1「すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実」の施策(2)②「子どものスポーツの機会」に「特色ある部活動の地域移行(マルチスポーツの推進)」を追加した。この事業は、部活動の地域移行という視点だけではなく、幅広い年齢の方を取り入れたいと考えているので、名称は変更予定である。この点について、前回委員からいただいたご意見も含めて説明する。

【事務局】

前回の審議会で委員から提案のあったアスリートのタレント発掘事業について調べたところ、委員からの説明のとおり、都道府県や政令市において事業化されているところはあるものの、本市のような基礎自治体において実施しているところはなかった。

また、全国的にみてもタレント発掘事業は課題もあり、あまり上手くいっていないように見受けられた。

ただ、アスリートのタレント発掘事業の子どもがスポーツに取り組む環境づくりや、発育、発達に合わせたプログラムを提供する点については、本市のスポーツ施策にも取り入れることは可能と考える。

今年度からモデル事業として実施している「とよなかキッズ！あそび&スポーツ☆ぷろぐらむ」は、小学生を対象としたコーディネーショントレーニング、バランスのとれたプログラムを大学で開発、実践していくものである。この事業の中には先に述べた要素も含まれていることから、このモデル事業を発展させる形で、複数のスポーツを体験するようなマルチスポーツの推進事業を第2期スポーツ推進計画に掲げ、検討して実施していきたいと考えている。

マルチスポーツの推進事業の中で、自分の好きなスポーツ、やりたい・やり続けていくスポーツを見つけていただく、また、いろいろなスポーツを生涯にわたってできるような機会の提供もさせていただく。

そのため、アスリートのタレント発掘事業をマルチスポーツの推進という形で、検討して実施していきたいと考えている。

【事務局】

続いて、他の新規事業について説明する。

まず一つ目が、方向性1の施策(2)②の「(仮称)小学生体力づくり事業」だが、この事業は、これまで学校教育課が実施していた「なわとび運動」「体ほぐし運動」の実技講習会の開催、教師の指導のための授業づくり事業を統合した事業で、令和5年度から実施するものになる。

事業内容は、かけっこやなわとび、ボール運動などの複数のメニューから、各小学校が自校の児童の体力課題に応じて選択した内容の体育授業へ専門の指導者を派遣し、児童の運動の意欲や関心を高めるとともに、教師の指導の機会ともなるようなものである。

二つ目が、方向性1の施策(4)②の「体力づくり推進計画(アクションプラン)の策定」事業だが、こちらも学校教育課の事業であり、学校毎に体力づくりに関する計画を策定し、自校の児童生徒の実態把握に基づいた適切な目標を設定して取り組みを行うことで、体力向上を効果的に推進していくことを目的として、計画に基づきながらPDCAサイクルで体力づくりを進めていくというものである。

新規の事業は、以上の2点と先に説明したマルチスポーツの推進事業の3点になる。

30ページ以降は、事業の説明を掲載している。

事務局からの説明は以上になる。

【議長】

事務局からの説明について何か意見等はあるか。

それでは私から質問する。資料14ページのアウトカム検証及び42ページの成果指標・目標を見てほしい。

運動やスポーツを実施する市民の割合の現状値が55.4%で、令和3年度の目標値が65%であった。今回の計画でも令和9年度の目標値が65%になっているが、この数値を10%上げるための見込みや具体的なイメージ、我々や現場の方がどのように心がければよいかということをしつこく砕いて説明いただきたい。

【事務局】

スポーツや運動の低い実施率、実施に至っていない未実施層の中では、無関心期層が極めて少なく、関心期・準備期が多いことから、関心喚起ではなく、まずは実際にやってみる実行支援が必要と考える。運動やスポーツをやりたいが、きっかけがないとできないような世代が30歳代後半から40歳代にかけて多いことから、この方々に機会の創出や意識啓発を図

っていきたいと考えている。

一方、16 ページにも記載しているとおり、スポーツ実施の阻害要因が何であるかということを検証していく中で、一步前のライフステージでの習慣に起因するところが多くあると考えた。

突き詰めると低年齢層をターゲットとした施策が中長期的には最も効果的であるため、できるだけ少年期、青年期に運動やスポーツを好きになっていただき、継続してできるようなきっかけづくりを社会体育の側面から支援できる事業が必要だと考えている。

一つのスポーツを続けていくのではなく、いろいろなスポーツを体験することで、このスポーツであれば長く継続して実施していけると感じていただき、打ち込んでやっていきたいと気づいて生涯にわたりそのスポーツをやり続けると、週1回以上は、運動やスポーツに取り組めるのではないかと考えている。

また、散歩や体操、ハイキングなども運動であるということを発信することにより、できるところからやってみるという方もでてきて、週1回以上は運動やスポーツをする方が増えてくるのではないかと考える。

【議長】

14 ページの図表 12「スポーツ実施に係る意識・行動変容フェーズの構成」は非常に面白く、興味を持って見ていたが、もう少し詳しく委員の皆様へ説明いただくと、分かりやすく勉強になると思うのでお願いしたい。

【事務局】

図表の下側にある無関心期は、運動に全く関心も持っていない層を示すが、この層は極めて少ない。実際に運動している方を実行期として 86 人、継続して運動している方を維持期として 444 人いる中で、どの層に働きかけるとよいかを申しあげると、実行期手前の関心はあるがきっかけがなくできていない方にスポーツの楽しさや魅力を伝えていくことだと考えている。関心期・準備期には 30 歳代後半から 40 歳代が多く、この方達が子どもと一緒に、または働きながらでも、少しの時間を見つけて運動やスポーツができるような機会創出や意識啓発が有用であることを表した図になる。

【議長】

この関心期・準備期を見据えて、ビジネスパーソンにもスポーツを奨励していくということだが、豊中市としては、小学校、中学校の運動に力を入れた方が、関心期・準備期、実行期に繋がっていくのではないかとという施策展開と捉えてよいか。

【事務局】

はい。

【議長】

ほかに何か意見はないか。

【委員】

お二人の委員に伺いたい。

結局、30歳代の働き盛りの層にスポーツをやっていない人が多い。その理由が、やりたいけれどもできない、突き詰めていくと、少し面倒くさいと思っているという状況だと考える。対策としては二つある。1点目は、短期的には、少し面倒くさいと思っている30歳代40歳代の働き盛りの層がスポーツをするハードルを下げられないか。2点目は、中長期的には、小中学生の時点でスポーツ嫌いをなくすこと。豊中市としては、特に後者の方に力を入れていこうと考える。

委員にお伺いしたいことは、1点目は、働き盛りの層に対して、少しでもハードルを下げるようなアイデアや施策、またはネックになっている点などを聞いてみたい。2点目は、体育の授業や部活動が生涯スポーツに繋がっていくような取り組みはないか。現状も含めてヒントやアイデアがあれば教えていただきたい。

【委員】

自分自身のことであるが、今現在ちょうど40歳代で、子どものPTA活動の中にあるソフトボールに週一回参加している。同年代の妻も同じくPTA活動の中で、バレーボールに参加している。PTA活動の中にスポーツの分野があり、そこに参加することによって、保護者という立場から横の繋がりができた。ハードルが高いと感じられるかもしれないが、その活動をすることによって、スポーツにつながったともいえる。スポーツをしながら人間関係の交流もあるので、自分自身は仕事とは少し離れたところで、楽しみながら活動させてもらっている。

地域の活動に参加することによって、全てではないが、スポーツと接することも可能かと考える。

【委員】

スポーツをやるために人を集めるのではなく、すでに人が集まっているところにスポーツを入れ込んでいくという考え方もできると感じた。

【委員】

地域柄もあるかと思うが、PTAの活動の中で、初心者でも参加しやすいような講座や、地域の小学校など気軽に行きやすい場所で行うこともハードルを下げる要因になるのではないかと考える。

【委員】

2点目について、学校現場や体育の授業について教えてもらいたい。

【委員】

私は元々体育の教員で、学生時代に、体育の授業では生涯スポーツにつながるような指導をするようにと学んだ。教員になり、入学してきた中学1年生がすでに体育好きと体育嫌いに分かれている実態があることに驚いた。その実態が何十年も前と今も変わらない状態である。

体育好きな子どもは運動部活動に入り、もっと体育が好きになる。おそらく中学校を卒業しても高校、社会人になってもスポーツに親しむだろうと思う。

しかし、体育嫌いな子どもは、中学3年間で生涯体育に対する気持ちを育むにはなかなか至らず、おそらく卒業してからも社会人になっても運動に親しむことからかけ離れた現状にあるのではないかと推測される。

したがって、小学校の頃からスポーツの楽しみを知り、継続してスポーツに取り組むことで健康な身体をつくるということを小学校から指導していく必要があると考える。そういう意味では、9年間の義務教育を通して段階的に運動に親しむ心を育む指導が求められると考える。豊中市では、令和5年度から庄内さくら学園が開校する。小中一貫教育を全市的に展開することによって、それぞれの学校で9年間一貫した運動に関する教育が受けられる。

全国体力・運動能力調査についても、子どもたちの運動能力の差によってやる気にも違いが出てくる。その点から、9年間一貫した運動に関する教育は必要であると考えます。

【委員】

中学校に入る時点で、スポーツ嫌いスポーツ好きが決定されているということは、それより前に取り組みを進めていかないといけない。それだけでなく、9年間を見据えた取り組みが必要であると理解した。

【議長】

マルチスポーツ推進事業については、指導者の問題にも関わると考える。いろいろな種目を体験して、自身の適性を見出すとしてもそれにふさわしい指導者がいるのかどうか。新規事業をうまく進めるには指導者の問題が解決できないといけない。

【事務局】

確かに指導者の問題がある。複数の指導者が良いのか、いろいろな知見を持った指導者が良いのか、検討が必要である。一つの偏った指導をしてしまうと、それが起因して子どもたちがスポーツ嫌いになってしまう。複数の視点で子どもたちにスポーツを教えられるようなコーチングスキルを持った方を選任する必要がある。

【議長】

指導者について何かアイディアはないか。

【委員】

委員の話聞いて、やはり指導者の問題は重要だと感じている。中学生になった時にはスポーツの好き嫌いが分かれている点に関して、スポーツ嫌いをなくす取組みを小学生の時期から始めることは必要であると感じている。さらに、もっと早い幼児の段階から運動発達は重要で、幼稚園から小学校までのつなぎも重要視していかないといけない。体力の低下はすでに小学校の低学年から始まっている。幼児期に身に着けておかないといけない動きが、習得できないまま小学校に入ってくる子どもがたくさんいる。

マルチスポーツについては、賛成である。子ども達がいろいろな種目を経験する裏には、指導者側からはタレント発掘の要素もあり、面白い事業であると考えます。

【議長】

この件に関しては、まだまだ課題も多いと考えるので、時間があるのならば、委員の意見を聞いて準備を進めていくのが良いのではないかと考える。

【事務局】

会長の意見のように、形としてシンポジウムやパネルディスカッションのような意見交換の場なども検討していきたい。

【議長】

この委員会でも専門的な知見を持った方々がいるので、意見交換をして準備するのがよいかと考える。

案件1について他に質問等あるか。

<委員：意見なし>

【事務局】

本日の審議を受け、ご意見がある場合は、11月28日までにはいただきたい。事務局としてもわかりやすい表現に変更するなど、細かな調整をする。

本来ならば、委員の皆様にご確認いただくところであるが、計画素案の意見募集までのスケジュールの関係で、委員の意見を含めた修正案については会長、副会長に最終確認をしていただき、調整したのち、委員会からの答申という形で受け取らせていただきたい。

<委員：異議なし>

【議長】

それでは、案件2「その他」について、説明を願う。

【事務局】

第2期スポーツ推進計画に係るスケジュール

- ・ 審議会終了後 意見集約
- ・ 12月上旬（予定） 答申 ⇒ パブリックコメント
- ・ 2月中旬 パブリックコメント結果報告

【議長】

本日予定していた案件は以上ですべて終了した。これをもって、令和4年度（2022年度）第3回豊中市スポーツ推進審議会は終了する。

令和5年度(2023年度)社会体育団体補助金(案)について

1. 豊中市体育連盟に対する事業補助金

【目的】

本市におけるスポーツの推進を図るため、豊中市体育連盟及び連盟の加盟団体が行う事業に対して補助金を交付する。

【補助対象事業】

- 1) 加盟団体が行う競技スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図る自主事業
- 2) 大阪府総合体育大会に係る事業
- 3) 本市のスポーツ推進に関して顕著な功績があった指導者の表彰に係る事業

令和5年度(2023年度)豊中市体育連盟に対する事業補助金(案)

1,850,000円

2. 豊中市スポーツ少年団に対する事業補助金

【目的】

本市におけるスポーツの推進を図るため、豊中市スポーツ少年団が行う事業に対して補助金を交付する。

【補助対象事業】

少年団が行う各団交流交歓会及び少年団の普及を図る自主事業とする。

令和5年度(2023年度)豊中市スポーツ少年団に対する事業補助金(案)

400,000円

3. スポーツ振興会事業助成金

【目的】

小学校区内において組織されたスポーツ振興会が実施する地域スポーツの振興に係る事業に対し、助成金を交付する。

【助成対象事業】

振興会が実施する事業

<申込団体>

豊島小学校区スポレク振興会、北緑丘スポーツ・レクリエーション振興会、桜井谷スポーツ・レクリエーション振興会、高川校区スポーツ・レクリエーション振興会、西丘校区スポーツ・レクリエーション振興会

令和5年度(2023年度)スポーツ振興会事業助成金(案)

1校区あたり80,000円×5校区(申込団体) = 400,000円

※令和4年度をもって南桜塚校区の振興会が廃止となる。

4. 豊中スポーツ魅力発信事業補助金

【目的】

若年層へのスポーツの推進と競技スポーツ人口の増加を図り、スポーツで本市の魅力を発信するため、豊中市体育連盟の加盟団体及び豊中市スポーツ少年団が行う18歳以下の市民が参加する事業に対して補助金を交付する。

【補助対象事業】

加盟団体及び少年団が行う18歳以下の若年層への競技スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図る自主事業

令和5年度(2023年度)豊中スポーツ魅力発信事業補助金(案)

1団体につき1事業(上限5万円) = 900,000円

参考：スポーツ基本法

(審議会等への諮問等)

第三十五条 国又は地方公共団体が第三十三条第三項又は前条の規定により社会教育関係団体（社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）第十条に規定する社会教育関係団体をいう。）であるスポーツ団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあつては文部科学大臣が第九条第二項の政令で定める審議会等の、地方公共団体にあつては教育委員会（特定地方公共団体におけるスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）に係る補助金の交付については、その長）がスポーツ推進審議会等その他の合議制の機関の意見を聴かなければならない。この意見を聴いた場合においては、同法第十三条の規定による意見を聴くことを要しない。

令和5年度(2023年度) 豊中市体育連盟 事業計画書

1.大阪府総体派遣事業

令和5年(2023年)8月20日～ 令和6年(2024年)2月19日

参加者数: 400人

2.加盟団体補助事業

団体名	大会名	開催日	参加者数(指導者・役員含む)
柔道協会	体重別柔道大会	2023年6月18日	80
剣道協会	青少年剣道大会	2023年4月9日・16日	450
少林寺拳法連盟	少林寺拳法合同練習会	2023年6月4日	40
弓道協会	会長杯弓道大会	2023年8月20日	50
バレーボール連盟	春季バレーボール大会	2023年4月16日～5月27日	1,000
バスケットボール連盟	連盟杯バスケットボール大会	2023年5月21日～6月24日	3,500
ハンドボール連盟	会長杯ハンドボール大会	2023年6月4日～18日	700
バドミントン連盟	会長杯バドミントン大会	2023年4月16日	120
卓球協会	協会杯卓球大会	2023年4月16日・11月12日	700
テニス協会	春季テニス大会	2023年4月16日～5月14日	500
サッカー協会	少年サッカー交流大会	2023年7月22日 2024年3月2日・9日	450
陸上競技協会	なし	-	
ソフトボール協会	春季ソフトボール大会	2023年4月2日～7月23日	1,500
野球連盟	野球選手権・春季会長杯	2023年4月2日～10月8日	7,000
ラグビージュニア	タグラグビー体験会	2023年4月23日 2024年3月3日	30
グラウンドゴルフ協会	グラウンドゴルフ交歓大会	2023年5月10日	200
合気道連盟	合気道体験会	2023年6月11日	30
少年バレーボール連盟	連盟杯少年バレーボール大会	2023年5月7日・14日	250
市民ハイキングの会	秋山遠征登山	2023年9月30日～10月1日	30
女性バドミントン協会	夏季女性バドミントン大会	2023年6月13日	100
フィットネス協会	フィットネスフェスタ	2023年7月10日	60
空手道連盟	連盟杯空手道大会	2023年10月8日	300
日本拳法連盟	審判講習会	2024年3月3日	100
少年野球連盟	秋季少年野球大会	2023年10月15日～11月12日	1,200
フリーテニス協会	フリーテニス親睦会	2023年5月7日	60
ソフトテニス協会	インドアソフトテニス大会	2024年1月13日・14日	180
合 計			18,630

令和5年度（2023年度） 豊中市体育連盟 市費補助金
収 支 予 算 書

項 目		金 額	備 考	
収入の部	市費補助金	1,850,000		
	合 計	1,850,000		
支出の部	大阪府総体関係費用	965,500		
	報 償 費	759,000	総体・市町村駅伝出場選手・役員約520人の派遣費	
	役 務 費	152,640	総体・市町村駅伝に係る事務に従事する人件費	
	保 険 料	36,000	総体・市町村駅伝に出場する選手・審判員約500人の保険料	
	交 通 費	14,000	種目別代表者会議出席者への交通費	
	事 務 費	3,860	郵送料	
	加盟団体補助事業			
	分 配 金	884,500	別紙一覧のとおり	
	合 計	1,850,000		

令和5年度(2023年度)加盟団体補助事業 分配金 (予算)

団体名	大会名	分配金
柔道協会	体重別柔道大会	33,500
剣道協会	青少年剣道大会	44,000
少林寺拳法連盟	少林寺拳法合同練習会	21,500
弓道協会	会長杯弓道大会	20,500
バレーボール連盟	春季バレーボール大会	34,500
バスケットボール連盟	連盟杯バスケットボール大会	28,500
ハンドボール連盟	会長杯ハンドボール大会	30,000
バドミントン連盟	会長杯バドミントン大会	24,500
卓球協会	協会杯卓球大会	26,500
テニス協会	春季テニス大会	32,000
サッカー協会	少年サッカー交流大会	31,500
陸上競技協会	なし	0
ソフトボール協会	春季ソフトボール大会	34,500
野球連盟	野球選手権・春季会長杯	224,000
ラグビーユニオン	タグラグビー体験会	23,500
グラウンド・ゴルフ協会	グラウンド・ゴルフ交歓大会	22,100
合気道連盟	合気道体験会	23,500
少年バレーボール連盟	連盟杯少年バレーボール大会	20,500
市民ハイキングの会	秋山遠征登山	43,100
女性バドミントン協会	夏季女性バドミントン大会	32,100
フィットネス協会	フィットネスフェスタ	23,100
空手道連盟	連盟杯空手道大会	20,500
日本拳法連盟	審判講習会	20,500
少年野球連盟	秋季少年野球大会	20,500
フリーテニス協会	フリーテニス親睦大会	23,100
ソフトテニス協会	インドアソフトテニス大会	26,500
合計		884,500

令和4年度(2022年度) 豊中市体育連盟 事業報告書

1.大阪府総体派遣事業

派遣団体	派遣日	派遣人数
豊中市バレーボール連盟	2022年8月21日、28日、9月4日	54
豊中市卓球協会	2022年8月28日	0(コロナで中止)
豊中市柔道協会	2022年9月11日	10
豊中市剣道協会	2022年8月28日	13
豊中市野球連盟	2022年8月28日、9月4日	0(コロナで中止)
豊中市ソフトボール協会	2022年8月28日、9月4日	83
豊中市ソフトテニス協会	2022年8月28日	34
豊中市バドミントン協会	2022年8月28日	39
豊中市テニス協会	2022年8月28日	24
豊中市バスケットボール連盟	2022年8月21日、28日	37
豊中市弓道協会	2022年9月4日	13
豊中市陸上競技協会	2023年2月19日	69
合 計		376

2.加盟団体補助事業

団体名	大会名	開催日	参加者数(指導者・役員含む)	備考
柔道協会	体重別柔道大会	2022年6月19日	33	
剣道協会	青少年剣道大会	2022年4月17日・24日	394	
少林寺拳法連盟	少林寺拳法合同練習会	2022年6月12日	53	
弓道協会	会長杯弓道大会	2022年11月6日	36	
バレーボール連盟	春季バレーボール大会	2022年4月10日～5月21日	650	
バスケットボール連盟	連盟杯バスケットボール大会	2022年5月21日～6月12日	2,686	
ハンドボール連盟	会長杯ハンドボール大会	2022年6月5日～19日	960	
バドミントン連盟	会長杯バドミントン大会	2022年4月10日	109	
卓球協会	協会杯卓球大会	2022年4月24日・10月30日	294	
テニス協会	春季テニス大会	2022年4月17日～5月15日	481	
サッカー協会	少年サッカー交流大会	2022年7月23日 2023年3月4日・11日	472	
陸上競技協会	なし	-	-	
ソフトボール協会	春季ソフトボール大会	2022年4月3日～7月24日	633	
野球連盟	野球選手権・春季会長杯	2021年4月4日～12月19日	1,354	
	連盟旗争奪・秋季会長杯	2022年1月15日 ～2022年3月27日	1,303	
ラグビーユニオン	タグラグビー体験会	2022年4月24日 2023年3月5日	136	
グラウンド・ゴルフ協会	グラウンド・ゴルフ交歓大会	2022年5月11日	158	
合気道連盟	合気道体験会	2022年5月22日	40	
少年バレーボール連盟	連盟杯少年バレーボール大会	2022年5月14日・22日	295	
市民ハイキングの会	秋山遠征登山	2022年9月30日～10月2日	29	
女性バドミントン協会	夏季女性バドミントン大会	2022年6月14日	77	
フィットネス協会	フィットネスフェスタ	2022年7月4日 2023年2月14日	64	
空手道連盟	連盟杯空手道大会	2022年10月16日	316	
日本拳法連盟	審判講習会	2023年2月19日	81	
少年野球連盟	春季少年野球大会	2022年4月2日～24日	995	
フリーテニス協会	なし	-	-	
ソフトテニス協会	インドアソフトテニス大会	2023年1月14日・15日	130	
合 計			11,779	

令和4年度（2022年度） 豊中市体育連盟 市費補助金

収 支 決 算 書

	項 目	金 額	備 考	
収入の部	市費補助金	1,850,000		
	体育連盟負担金			
	合 計	1,850,000		
支出の部	大阪府総体関係費用			
	報 償 費	651,300	選手派遣費として 中央大会：376人 市町村駅伝：69人	
	役 務 費	262,500	総合体育大会・駅伝に係る事務に従事した人 件費	
	保 険 料	33,957	総合体育大会（豊能地区大会・中央大会）、 市町村駅伝の出場者スポーツ保険延べ661人	
	交 通 費	9,000	種目別代表者会議出席者への交通費	
	事 務 費	8,743	優勝ペナント購入、郵送料、諸手数料等	
	加盟団体補助事業			
	分 配 金	884,500	別紙一覧のとおり	
	合 計	1,850,000		

令和4年度(2022年度)加盟団体補助事業分配金 明細(決算)

団体名	大会名	分配金
柔道協会	体重別柔道大会	33,500
剣道協会	青少年剣道大会	44,000
少林寺拳法連盟	少林寺拳法合同練習会	21,500
弓道協会	会長杯弓道大会	20,500
バレーボール連盟	春季バレーボール大会	34,500
バスケットボール連盟	連盟杯バスケットボール大会	28,500
ハンドボール連盟	会長杯ハンドボール大会	30,000
バドミントン連盟	会長杯バドミントン大会	24,500
卓球協会	協会杯卓球大会	26,500
テニス協会	春季テニス大会	32,000
サッカー協会	少年サッカー交流大会	31,500
陸上競技協会	なし	-
ソフトボール協会	春季ソフトボール大会	34,500
野球連盟	野球選手権・春季会長杯	224,000
ラグビーユニオン	タグラグビー体験会	23,500
グラウンド・ゴルフ協会	グラウンド・ゴルフ交歓大会	27,875
合気道連盟	合気道合同練習会	23,500
少年バレーボール連盟	連盟杯少年バレーボール大会	20,500
市民ハイキングの会	秋山遠征登山	48,875
女性バドミントン協会	夏季女性バドミントン大会	37,875
フィットネス協会	フィットネスフェスタ	28,875
空手道連盟	連盟杯空手道大会	20,500
日本拳法連盟	審判講習会	20,500
少年野球連盟	秋季少年野球大会	20,500
フリーテニス協会	なし	-
ソフトテニス協会	インドアソフトテニス大会	26,500
合計		884,500

スポーツ少年団事業補助金

令和4年度(2022年度)活動報告・収支決算

活動報告	事業名	第1回交歓大会 (ボルタリング体験会)	第2回交歓大会 (カヌー体験会)	体力測定会&トランポリン体験会	第3回交歓大会 (フックフットボール練習会)	第4回交歓大会 (アイススケート体験会)	少年少女駅伝競走大会	計
	実施日	①6月18日	②7月30日	③9月10日	④12月3日	⑤1月20日	⑥3月4日	
	参加者(指導者・役員含む)	0	0	79	0	47	664	
収入 (円)	市補助金			35,703	7,350	36,250	320,697	400,000
	参加費	新型コロナウイルスの影響で中止			新型コロナウイルスの影響で中止 ※体育館のキャンセル料が発生	13,800	384,000	397,800
	団体負担金					253,697	253,697	
	協賛金					300,000	300,000	
	計					0	0	35,703
支出 (円)	報償費			17,000			79,600	96,600
	旅費							0
	需用費			7,128			848,010	855,138
	役務費						60,726	60,726
	使用料・借上料			11,575	7,350	50,050	228,440	297,415
	負担金							0
	保険料						41,618	41,618
	計	0	0	35,703	7,350	50,050	1,258,394	1,351,497

令和5年度(2023年度)活動計画・収支予算

活動計画	事業名	第1回交歓大会 (ボルタリング体験会)	第2回交歓大会 (カヌー体験会)	体力測定会&トランポリン体験会	第3回交歓大会 (フックフットボール練習会)	第4回交歓大会 (アイススケート体験会)	少年少女駅伝競走大会	計
	実施日	①5月27日	②7月30日	③9月10日	④12月3日	⑤1月20日	⑥3月3日	
	参加者(指導者・役員含む)	70	120	120	120	80	900	
収入 (円)	市補助金	20,000	20,000	42,000	42,000	45,000	231,000	400,000
	参加費	90,000	30,000			15,000	400,000	535,000
	団体負担金						349,000	349,000
	協賛金						300,000	300,000
	計	110,000	50,000	42,000	42,000	60,000	1,280,000	1,584,000
支出 (円)	報償費			20,000	20,000		80,000	120,000
	旅費							0
	需用費			10,000	10,000		850,000	870,000
	役務費						70,000	70,000
	使用料・借上料	110,000	50,000	12,000	12,000	60,000	230,000	474,000
	負担金							0
	保険料						50,000	50,000
	計	110,000	50,000	42,000	42,000	60,000	1,280,000	1,584,000

スポーツ振興会事業助成金

令和4年度(2022年度)活動報告・収支決算

		南桜塚	豊島	北緑丘	桜井谷	高川	西丘	計
活動報告	活動内容	令和4年度は活動休止	グラウンドゴルフ ニュースポーツの集い	グラウンドゴルフ	バレーボール テニス 少林寺	スポーツハイク グラウンドゴルフ大会 新春ふれあいディ-	ダブルダッチ なわとび指導	
	活動回数		20	8	12	3	4	47
	参加者数		480	170	371	550	273	1,844
収入(円)	市助成金		80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	400,000
	団体負担金等		1,470	0	18,454	2,400	0	22,324
	計		81,470	80,000	98,454	82,400	80,000	422,324
支出(円)	報償費		0	0	0	0	25,000	25,000
	需用費		41,470	66,748	55,360	82,400	0	245,978
	役務費		0	0	0	0	0	0
	使用料・借上料		40,000	0	0	0	0	40,000
	負担金		0	0	0	0	0	0
	保険料		0	9,600	0	0	0	9,600
	市への返金		0	3,652	43,094	0	55,000	101,746
	計		81,470	80,000	98,454	82,400	80,000	422,324

令和5年度(2023年度)活動計画・収支予算

		南桜塚	豊島	北緑丘	桜井谷	高川	西丘	計
活動計画	活動内容	令和4年度をもって、振興会を廃止	ニュースポーツの集い グラウンドゴルフ ソフトバレーボール他	グラウンドゴルフ ソフトバレーボール ファミリーバドミントン 輪投げ 他	ソフトボール 野球 ドッジボール 囲碁ボール 他	グラウンドゴルフ 親子スポーツ スポーツハイク 高川祭りに参加 他	体力測定記録会 ラジオ体操講習会 ダブルダッチ縄跳び体験 会 ミニバスケットボール教室	
	活動回数		24	11	14	27	5	81
	参加者数		1,200	235	420	1,030	410	3,295
収入(円)	市助成金		80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	400,000
	団体負担金等		2,000	0	0	10,000	0	12,000
	計		82,000	80,000	80,000	90,000	80,000	412,000
支出(円)	報償費		0	0	0	0	80,000	80,000
	需用費		80,000	60,000	60,000	90,000	0	290,000
	役務費		2,000	5,600	0	0	0	7,600
	使用料・借上料		0	0	0	0	0	0
	負担金		0	0	0	0	0	0
	保険料		0	14,400	20,000	0	0	34,400
	計		82,000	80,000	80,000	90,000	80,000	412,000

令和5年度(2023年度)豊中スポーツ魅力発信事業 事業計画書

団体名	事業内容	実施予定日	参加予定人数
柔道協会	Let's Enjoy Judo(豊中LEJ)	2024年2月上旬	50
剣道協会	剣道、試合、運営体験講習会	2024年2月11日	25
少林寺拳法連盟	事業内容検討中	調整中	30
弓道協会	—	—	
バレーボール連盟	中学生講習会	2024年1月7日	80
バスケットボール連盟	—	—	
ハンドボール連盟	高校生ハンドボール交流戦	2024年2月4日	400
バドミントン連盟	豊中ジュニアオープンバドミントン大会	2023年8月11日	300
卓球協会	中学生卓球大会	2023年12月26日	300
テニス協会	—	—	
サッカー協会	豊中高校サッカー選手権大会	2024年1月7日	250
陸上競技協会	—	—	
ソフトボール協会	ピッチング講習会	2024年2月上旬	40
野球連盟	事業内容 検討中	2023年10月29日	60
ラグビーユニオン	ラグビー体験会	2024年3月中旬	150
グラウンド・ゴルフ協会	—	—	
合気道連盟	—	—	
少年バレーボール連盟	会長杯少年バレーボール大会	2023年12月23日	200
市民ハイキングの会	—	—	
女性バドミントン協会	—	—	
フィットネス協会	幼児・小学生リズムダンス	2023年8月26日	30
空手道連盟	空手道基本練習会	2023年12月9日	60
日本拳法連盟	日本拳法防具着用体験会	2023年12月13日	10
少年野球連盟	豊中市春季少年野球大会	2023年4月16日～	900
フリーテニス協会	—	—	
ソフトテニス協会	春季中学生講習会兼大会	2024年3月3日・4日	300
水泳連盟	—	—	
スポーツ少年団	こどもスポーツ6種競技大会	2023年11月5日	60
合 計			3245

令和5年度（2023年度） 豊中スポーツ魅力発信事業補助金
収 支 予 算 書

	項 目	金 額	備 考
収入の部	市費補助金	900,000	
	合 計	900,000	
支出の部	報 償 費		
	需 用 費		
	役 務 費		
	使用料・借上料		
	保 険 料		
	予 備 費		
	加盟団体補助事業		
	分 配 金	900,000	別紙一覧のとおり
	合 計	900,000	

令和5年度(2023年度)豊中スポーツ魅力発信事業分配金(予算)

団体名	事業内容	分配金
柔道協会	Let's Enjoy Judo(豊中LEJ)	50,000
剣道協会	剣道、試合、運営体験講習会	50,000
少林寺拳法連盟	事業内容検討中	50,000
弓道協会	—	0
バレーボール連盟	中学生講習会	50,000
バスケットボール連盟	—	0
ハンドボール連盟	高校生ハンドボール交流戦	50,000
バドミントン連盟	豊中ジュニアオープンバドミントン大会	50,000
卓球協会	中学生卓球大会	50,000
テニス協会	—	0
サッカー協会	豊中高校サッカー選手権大会	50,000
陸上競技協会	—	0
ソフトボール協会	ピッチング講習会	50,000
野球連盟	事業内容 検討中	50,000
ラグビーユニオン	ラグビー体験会	50,000
グラウンド・ゴルフ協会	—	0
合気道連盟	—	0
少年バレーボール連盟	会長杯少年バレーボール大会	50,000
市民ハイキングの会	—	0
女性バドミントン協会	—	0
フィットネス協会	リズムダンス	50,000
空手道連盟	空手道基本練習会	50,000
日本拳法連盟	日本拳法防具着用体験会	50,000
少年野球連盟	豊中市春季少年野球大会	50,000
フリーテニス協会	—	0
ソフトテニス協会	春季中学生ソフトテニス大会	50,000
水泳連盟	—	0
スポーツ少年団	こどもスポーツ6種競技大会	50,000
合計		900,000

豊中市スポーツ推進計画

～スポーツではぐくむ 元気なひと・まち・未来～

事業実施状況及び評価報告書

令和3年度（2021年度）実施分

<一部抜粋>

令和4年（2022年）10月

目次

1. はじめに	1
2. 計画の進行管理	1
3. 施策の進捗状況について	2
4. 重点施策の達成状況	4
5. 指標と目標	7
6. 施策体系の4つの柱の達成状況	14
7. 実施状況の見方	18
8. 重点施策の実施状況	19
(1) 健康体力向上プロジェクト【事業 No.1~20、153】	19
(2) 子どもの体力向上プロジェクト【事業 No.21~45】	29
(3) スポーツ施設のあり方の検討【事業 No.46~51】	41
9. 施策体系の4つの柱の実施状況	44
(1) すべての市民がスポーツに親しむ環境の充実【事業 No.52~110、154】	44
(2) 地域力を活かしたスポーツの推進【事業 No.111~122】	74
(3) スポーツ環境の向上【事業 No.123~132】	80
(4) 都市魅力を活かしたスポーツのまちづくり【事業 No.133~152】	85
10. 「豊中市スポーツ推進計画」事業実施状況及び評価報告書作成に係る検討経過	96

【資料編】

平成25年度(2013年度)~令和3年度(2021年度) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ー豊中市の概要ー 実技に関する調査結果より 小学校5年生男子・女子 中学校2年生男子・女子 全国・大阪府・豊中市の種目別平均値と体力合計点平均値及び推移比較グラフ	99
---	----

1. はじめに

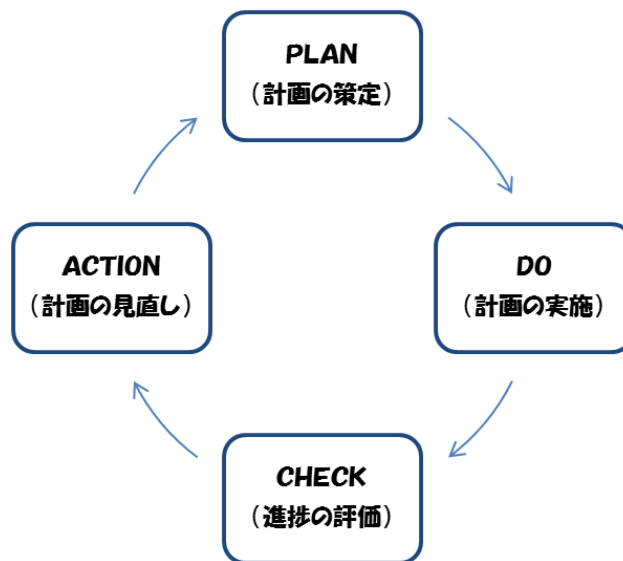
平成 25 年（2013 年）3 月に策定した「豊中市スポーツ推進ビジョン」の実現に向けて、体系的・計画的に具体的な方策を推進するため、平成 26 年（2014 年）3 月に策定した「豊中市スポーツ推進計画」の進行管理について、平成 26 年度（2014 年度）に庁内会議である「スポーツ推進会議」及び「スポーツ推進審議会」で検討してきました。

この検討内容を踏まえ、「豊中市スポーツ推進ビジョン」の目標像「スポーツではぐくむ 元気なひと・まち・未来～すべての市民が、それぞれの関心や目的に応じたスポーツに親しみ、健康で活気に満ち、ひとやまちとのつながりにあふれたスポーツ文化の推進～」の実現に向けて、進行管理を行っていきます。

なお、本計画は令和 3 年度（2021 年度）までを計画期間としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響をふまえ、計画期間を令和 4 年度（2022 年度）まで 1 年間延長します。

2. 計画の進行管理

計画推進のため諸事業が円滑に実施され、基本目標が達成されるよう、市民意見の把握に努め、定期的実施状況を把握するため、PDCA※による適正な進行管理を行います。また、1 年毎に豊中市スポーツ推進審議会において、計画の進捗状況を報告・審議します。



※PDCAとは、Plan(計画)-Do(実行)-Check(評価)-Act(処置)の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に検証・改善する手法

計画の進行管理の方法は、重点施策と具体的な取り組みに示された事業を対象とし、各担当部署による評価（自己評価）を求め、その積み上げによる全体の進捗状況を、「豊中市スポーツ推進審議会」で把握・点検し、その評価のもと、次年度以降の施策・事業を実施していくこととします。

施策の評価は、原則として事業ごとのPDCAの状況を基に、次の4段階の評価を行います。

拡充（事業を実施し、今後、拡充の方向で検討する。）

継続（事業を実施し、現状のまま継続していく。）

縮小（事業を実施したが、今後は縮小する方向で検討する。）

未実施・廃止（事業が未実施、または廃止の方向で検討する。）

3. 施策の進捗状況について

施策の進捗状況については、次のとおり指標を定めている令和3年度の目標値に対する達成度をAからEに区分し、区分毎に点数化したもので進捗度を表します。その進捗度が令和3年度には100点となることをめざします。なお、重点施策3（スポーツ施設のあり方の検討）については、指標を定めていないため、進捗度を表していません。

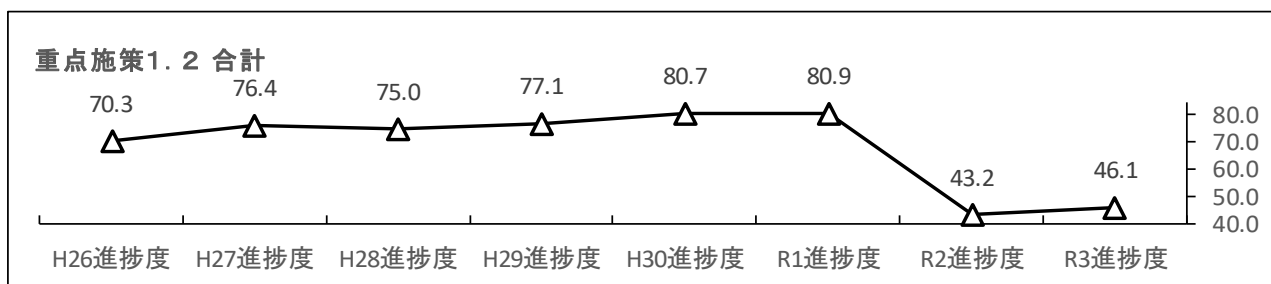
【目標値に対する達成度】

- A：達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=100%以上）【100点】
- B：ほぼ達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=75%以上100%未満）【75点】
- C：ある程度達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=50%以上75%未満）【50点】
- D：あまり達成できなかった（令和3年度実績値/令和3年度目標値=50%未満）【25点】
- E：全く達成できなかった（実施しなかった（できなかった）事業・次年度以降に実施予定の事業）【0点】
- F：その他（指標を定めていない事業）

【重点施策の進捗度】

（※F：その他（指標を定めていない事業）を除いた事業で進捗度を表します。）

重点施策	達成度	A	B	C	D	E	計	R3進捗度 得点計/事業数計
	配点	100	75	50	25	0		
1. 健康体力向上プロジェクト	事業数	3	1	5	4	0	13	55.8
	得点（事業数×配点）	300	75	250	100	0	725	
2. 子どもの体力向上プロジェクト	事業数	3	2	2	8	4	19	39.5
	得点（事業数×配点）	300	150	100	200	0	750	
重点施策 1. 2 合計	事業数	6	3	7	12	4	32	46.1
	得点（事業数×配点）	600	225	350	300	0	1,475	



【審議会の意見】

進捗度については、重点施策1.「健康体力向上プロジェクト」が55.8点、重点施策2.「子どもの体力向上プロジェクト」が39.5点となり、重点施策1. 2の合計は46.1点と令和2年度の43.2点を上回りました。

重点施策1については、令和2年度の進捗度を上回りました。

主要要因としては、「各種スポーツ教室の開催【P22 事業 No.7】」において、達成度がBからAに向上したことなどによるものです。なお、「各種スポーツ教室の開催【P22 事業 No.7】」は令和元年度の達成度まで回復しましたが、そのほかの事業は令和元年度と同水準又は下回っています。引き続き、参加者が安心・安全と感じる教室運営を実施していく必要があります。

重点施策2については、令和2年度の進捗度を下回りました。

進捗度が低下した主要要因として、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う事業中止により、「親子ふれあい事業【P37 事業 No.37】」の達成度が前年度のBからEに低下したことなどがあげられ、前年度に引き続き、コロナ禍における子どもの運動の機会が減っていると考えます。

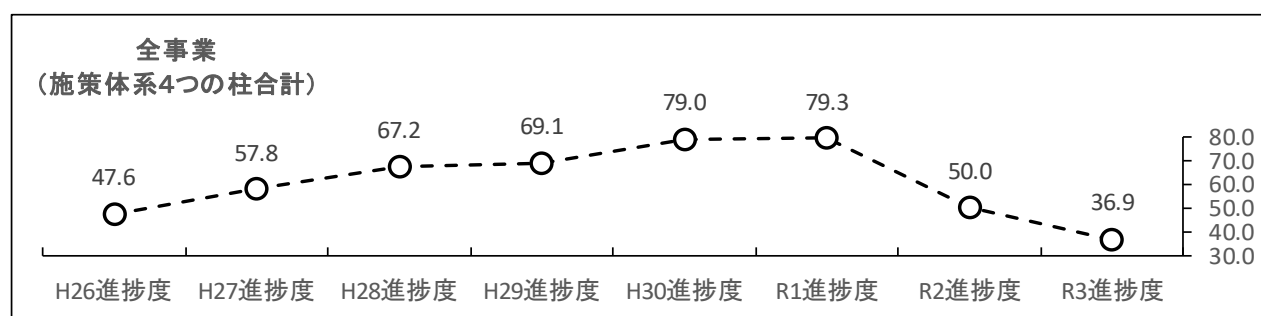
重点施策3については、施設整備事業が中心となっており、指標を定められていませんが、引き続き、体育施設の老朽化に伴う計画的な改修・整備を進めていく必要があります。

新型コロナウイルス感染症による影響で、前年度に達成度が低下した事業の多くが令和3年度も同様の達成度になる一方で、スポーツ教室においては感染対策を講じて実施したことで、前年度の達成度を上回りました。引き続き、スポーツ教室における感染対策の継続や、ウォーキングやラジオ体操など3密を避けて、気軽に継続して取り組むことができる運動を推進するとともに、子どもも楽しみながら運動ができる場を増やす取組みを推進・拡充する必要があります。

【全事業（施策体系4つの柱）の進捗度】

（※F：その他（指標を定めていない事業）を除いた事業で進捗度を表します。）

施策体系 4つの柱	達成度	A	B	C	D	E	計	R3進捗度 得点計/事業数計
	配点	100	75	50	25	0		
1. すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実	事業数	11	1	8	15	11	46	42.4
	得点（事業数×配点）	1,100	75	400	375	0	1,950	
2. 地域力を活かしたスポーツの推進	事業数	0	1	3	2	5	11	25.0
	得点（事業数×配点）	0	75	150	50	0	275	
3. スポーツ環境の向上	事業数	0	2	1	2	2	7	35.7
	得点（事業数×配点）	0	150	50	50	0	250	
4. 都市魅力を活かしたスポーツのまちづくり	事業数	3	1	0	4	8	16	29.7
	得点（事業数×配点）	300	75	0	100	0	475	
全事業 （施策体系4つの柱合計）	事業数	14	5	12	23	26	80	36.9
	得点（事業数×配点）	1,400	375	600	575	0	2,950	



【審議会の意見】

進捗度については、柱1、「すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実」が42.4点、柱2、「地域力を活かしたスポーツの推進」が25.0点、柱3、「スポーツ環境の向上」が35.7点、柱4、「都市魅力を活かしたスポーツのまちづくり」が29.7点となり、全事業では、36.9点と令和2年度の50.0点を下回りました。

重点施策同様、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の休館、事業の中止や規模縮小の影響、また、武道館ひびきの工事休館による事業中止により、4つの柱の全てにおいて、達成度が低下しました。また、全事業に対する達成度Eの数が前年度の19事業から26事業に増加しました。

一方、柱1、「すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実」においては、「各種スポーツ教室の開催【P47 事業No.58】」や「障害者スポーツ体験会【P61 事業No.86】」など、屋外で行われたスポーツ教室や体験会の達成度が前年度を上回りました。また、「利用者アンケートの実施【P72 事業No.108】」など、情報発信、アンケートなど人の動員を伴わないものは、達成度が前年度同様Aとなりました。

進捗度F：その他（指標を定めていない事業）については、「市立スポーツ施設の整備 グリーンスポーツセンターの再整備の検討（既存施設の整備）【P42 事業No.47】」において、令和2年10月にグリーンスポーツセンター全施設の供用を開始したことで、事業が完了しました。

新型コロナウイルス感染症による影響により、前年度と同様に達成度が低下している事業が多くあることから、中止していた大会やイベント等が実施できるよう、安全対策を講じるための支援を行い、引き続き、市民が安心してスポーツに取り組める場を提供する必要があります。

4. 重点施策の達成状況

(重点施策の各事業の実施状況については19ページ以降に記載しています。)

(1) 健康体力向上プロジェクト

関係する目標： P7 5-(1)スポーツ実施率の向上

【目標値に対する達成度】

A：達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=100%以上）【100点】
 B：ほぼ達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=75%以上100%未満）【75点】
 C：ある程度達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=50%以上75%未満）【50点】
 D：あまり達成できなかった（令和3年度実績値/令和3年度目標値=50%未満）【25点】
 E：全く達成できなかった（実施しなかった（できなかった）事業・次年度以降に実施予定の事業）【0点】
 F：その他（指標を定めていない事業）

重点施策1	目標値に対する達成状況			
	件数 (F除く)	割合 (F除く)	件数 (F含む)	割合 (F含む)
A	3	23.1%	3	23.1%
B	1	7.7%	1	7.7%
C	5	38.5%	5	38.5%
D	4	30.8%	4	30.8%
E	0	0.0%	0	0.0%
F	—	—	0	0.0%
計	13		13	

平成27年度をもって廃止

「健康づくりふれあいラリー【P27事業No18】」

平成28年度をもって廃止

スポーツを通じた生活習慣病予防の推進 以下6事業
 ・「無理をしないカラダづくり講座【P22事業No8】」
 ・「介護予防体操教室【P23事業No10】」
 ・「介護サポーター養成講座【P24事業No11】」
 ・「あたまとからだの体操講座【P24事業No12】」
 ・「通所型介護予防事業（運動器の機能向上教室『いきいき源基運動教室』）【P25事業No13】」
 ・「ステップアップ教室【P25事業No14】」

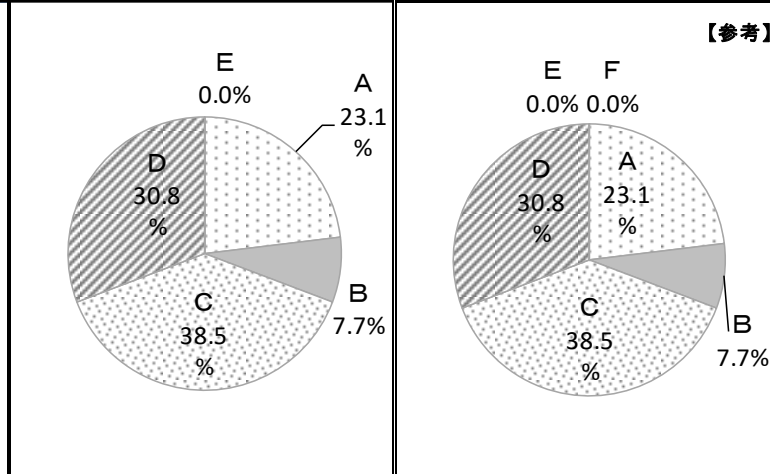
令和元年度をもって廃止

「スポーツを通じた生活習慣病予防の推進（とよなか百万歩ウォーク）【P23事業No9】」

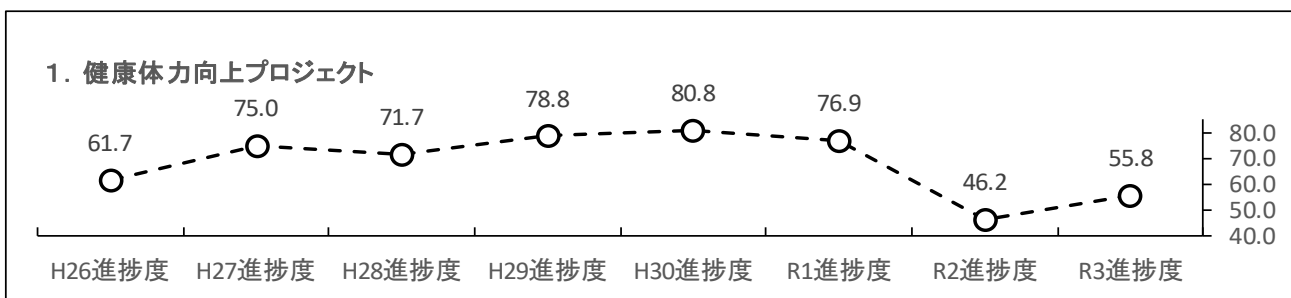
令和2年度新規事業

「健康マイレージ事業「大阪健康マイレージ アスマイル」【P95事業No.153】」

計画策定時より計7事業減少



重点施策	達成度	A	B	C	D	E	計	R3進捗度 得点計/事業数計
	配点	100	75	50	25	0		
1. 健康体力向上プロジェクト	事業数	3	1	5	4	0	13	55.8
	得点（事業数×配点）	300	75	250	100	0	725	



【分析結果】(Fを除いた場合)

進捗度が55.8点となり、前年度の46.2点を上回りました。

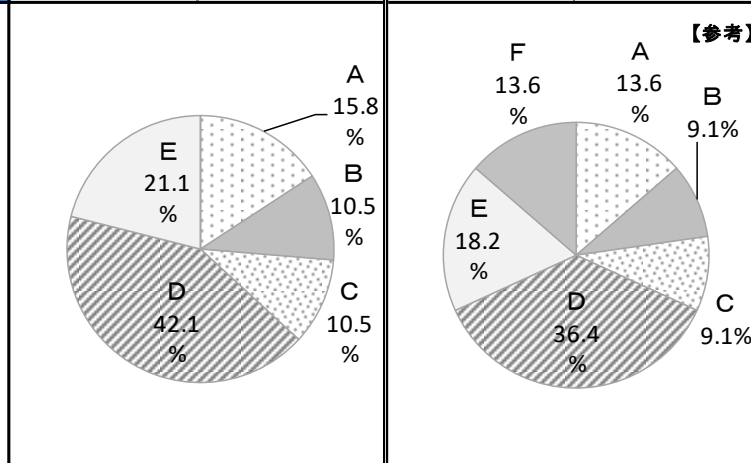
主な要因としては、「各種スポーツ教室の開催【P22事業No.7】」において、達成度が前年度のBからAに向上したこと、「健康づくり推進講座【P28No.19】」において、達成度が前年度のDからCに向上したことなどによるものです。引き続き、市民が安心・安全にスポーツイベントやスポーツ教室に参加できるよう感染対策を講じるとともに、ニーズに即した事業内容を提供する必要があります。

(2) 子どもの体力向上プロジェクト 関係する目標：P7 5-(1)スポーツ実施率の向上・P8 5-(2)子どもの体力向上

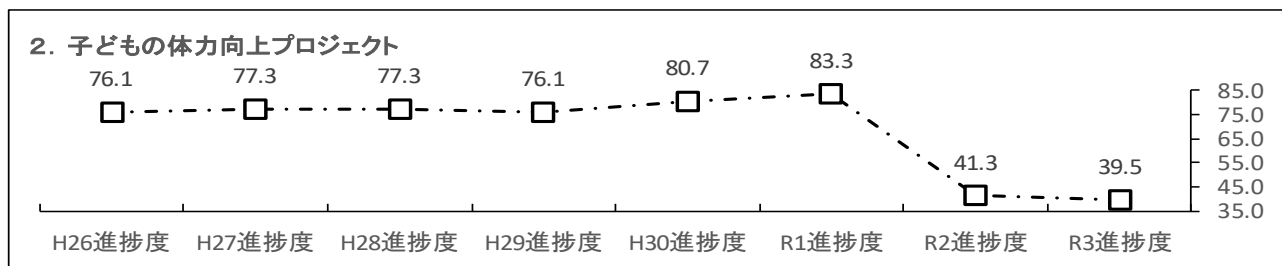
【目標値に対する達成度】
 A：達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=100%以上）【100点】
 B：ほぼ達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=75%以上100%未満）【75点】
 C：ある程度達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=50%以上75%未満）【50点】
 D：あまり達成できなかった（令和3年度実績値/令和3年度目標値=50%未満）【25点】
 E：全く達成できなかった（実施しなかった（できなかった）事業・次年度以降に実施予定の事業）【0点】
 F：その他（指標を定めていない事業）

重点施策2	目標値に対する達成状況			
	件数 (F除く)	割合 (F除く)	件数 (F含む)	割合 (F含む)
A	3	15.8%	3	13.6%
B	2	10.5%	2	9.1%
C	2	10.5%	2	9.1%
D	8	42.1%	8	36.4%
E	4	21.1%	4	18.2%
F	—	—	3	13.6%
計	19		22	

平成30年度をもって廃止
 「わくわく食育プロジェクト【P32 事業 No.28】」
 令和元年度をもって廃止
 「親子スポーツフェスタ【P32 事業 No.27】」
 令和2年度をもって廃止
 「からだづくり研究推進校【P30 事業 No.24】」
 計画策定時より計3事業減少



重点施策	達成度	A	B	C	D	E	計	R3進捗度
	配点	100	75	50	25	0		得点計/事業数計
2. 子どもの体力向上プロジェクト	事業数	3	2	2	8	4	19	39.5
	得点 (事業数×配点)	300	150	100	200	0	750	



【分析結果】(Fを除いた場合)
 進捗度が39.5点となり、前年度の41.3点を下回りました。
 主な要因としては、「親子ふれあい事業【P37 事業 No.37】」において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したことにより、達成度が前年度のBからEに低下したことなどによるものです。
 一方、「子どもの体力向上プラン【P29 事業 No.21】」及び「なわとび運動」「体ほぐし運動」【P30 事業 No.23】については、令和2年度に引き続き達成度がAとなりました。また、「授業づくり【P29 事業 No.22】」において、オンライン研修会等の実施により、達成度が前年度のEからBに向上しました。
 引き続き、バランスのとれた体力の向上をめざす取組みを実施する必要があります。

(3) スポーツ施設のあり方の検討 関係する目標：P7 5-(1)スポーツ実施率の向上・P13 5-(3)スポーツ活動を支える環境の充実

①市立スポーツ施設の適切な配置

市立スポーツ施設の適切な配置については、施設利用に関する市民ニーズを把握していくとともに、豊中市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画に基づき、スポーツ施設の位置づけ・役割分担に応じた配置を検討し、効率的、計画的に改修・整備を進めます。

②市立スポーツ施設の整備

平成27年度に策定した体育施設改修・更新等第1次10カ年計画に基づき、計画的に、着実に改修・更新を行っていきます。

ア)「スポーツを通じたまちづくり」の推進

豊中ローズ球場については、令和元年度に基本設計を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大のもとでの施策・事業のあり方を見すえた見直しを行い、検討の結果、高校野球発祥の地に関する資料展示室を現会議室の改修により整備するほかは、規模の拡充につながる改修は行わず、既存施設や設備の老朽化対策や安全対策に伴う改修を主に行っていくこととしました。

イ) グリーンスポーツセンターの再整備

庄内温水プールは、平成23年の閉鎖後、地元、関係団体から地域活性化に資する再整備について要望があり、また、市においてはスポーツ推進計画を策定し、市民の健康・体力向上等をめざし、当該施設を有効に活用し、地域のスポーツ機会の充実と魅力あるスポーツ空間の創出を図ることとしました。令和2年度には第2期工事（旧管理棟・ウエルネス広場改修、エレベータ設置等）を行い、10月にグリーンスポーツセンター全施設の供用を開始しました。

ウ) 利用者ニーズへの対応

体育館等における空調設備の設置については、熱中症対策及び災害発生時における避難施設としての機能拡充を図るため、平成30年度は豊島体育館、令和元～2年度は千里体育館、令和2年度は柴原体育館、令和3年度は武道館ひびきへの導入工事を行いました。

また、老朽化が著しい二ノ切温水プールの建替工事を令和元年度から行い、令和3年3月から新プールの供用を開始しました。

③民間事業者との役割分担を図った施設整備

ふれあい緑地（庭球場・少年野球場・球技場）、豊島温水プール、千里体育館において、ネーミングライツ事業を実施し、印刷物や掲示物、看板等にネーミングライツパートナーの名称を用いて、利用者向けの周知を行いました。

5. 指標と目標

ビジョンを実現するために、達成すべき基本的な目標を設定します。目標は、本計画の最終年度である令和3年度（2021年度）までとしていましたが、令和4年度（2022年度）まで延長します。

(1) スポーツ実施率の向上

ビジョンを実現するためには、まずは多くの市民がスポーツに親しみ、実施することが重要です。そこで、本計画ではスポーツ実施率の向上を、数値目標として掲げています。

指標：成人^{*1}の週1回以上のスポーツ実施者の割合

計画最終年度目標値：65.0%

実績値

平成24年 ^{*2}	平成25年度	平成26年 ^{*3}	平成27年度	平成28年 ^{*3}
36.9%	38.3%	市民意識調査 未実施	35.7%	市民意識調査 未実施
平成29年度	平成30年度	令和元年度 ^{*5}	令和2年度 ^{*6}	令和3年度 ^{*7}
38.4%	市民意識調査 未実施	44.5%	調査未実施	55.4%

※1 実績値については、隔年実施の「豊中市市民意識調査」の結果に基づくものとするが、調査対象年齢が18歳からとなっているため、この場合の成人も18歳以上とします。

※2 平成24年度の実績値については、スポーツ推進ビジョン策定時に実施した、「平成24年度 生涯学習の推進に関する市民意識調査－豊中市－」によるもの

※3 「豊中市市民意識調査」は隔年実施のため、平成26年度、平成28年度、平成30年度の実績値はありません。

※4 令和2年度の目標値については、平成25年度のスポーツ推進計画策定時に令和3年度の目標値を国のスポーツ基本計画の政策目標に基づき65%に設定したため、令和3年度の目標達成に向けて、平成24年度の実績値から均等に1年あたり3.12%ずつ増加させたもの（小数点第二位を四捨五入）

※5 令和元年度の「豊中市市民意識調査」においては、スポーツ実施率の調査項目がなくなったことから、実績値は教育委員会が作成した「豊中市教育振興基本計画策定に向けたアンケート調査結果報告書」における「運動・スポーツの実施状況」の結果を参考数値としております。

※6 令和2年度のスポーツ実施率は調査を実施しなかったため、実績値はありません。

※7 令和3年度の実績値については、「スポーツ推進についてのアンケート 子どもの運動やスポーツについてのアンケート」によるもの

【分析結果】

令和3年度のスポーツ実施率は、「スポーツ推進についてのアンケート 子どもの運動やスポーツについてのアンケート」の結果を用いており、成人の週1回以上のスポーツ実施率の割合は55.4%と、前回の44.5%を上回りました。

また、同調査結果において、今後の運動やスポーツに対する考え方として、「運動やスポーツを行っていないが、今後行いたい」と思う人が最も多く、このうち59.8%が現在運動習慣のない人が占める結果となりました。

また、「これまでにやったことがある＋今後やってみたい運動やスポーツ」の設問では、「散歩・ウォーキング」「体操」が上位になったことから、引き続き、気軽にかつ継続して取り組むことができる散歩やウォーキングなどを推進していく必要があります。

(2)子どもの体力向上

市民が日常的にスポーツを行うためには、子どもの時期から運動に親しむ資質や能力を育てることが重要です。また、体力の向上は、心と体の健康の保持・増進に大きくかかわってきます。そこで、本計画では子ども（小・中学生）の体力向上を目標として掲げています。

指標：小中学生の体力向上（全国体力・運動能力、運動習慣等調査から）

計画最終年度目標 ⇒ バランスのとれた体力の向上

従来は、Tスコア（全国平均を50としたときの本市平均の偏差値）を用いた比較図（レーダーチャート）で体力の向上を分析していましたが、計画策定から3年が経過したこともあり、平成25年度から令和3年度までの全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実技に関する調査結果から、種目別平均値と、体力合計点※平均値の推移をグラフ化し、体力の向上を分析することとしました。

※体力合計点とは、小・中学校各8種目の記録を男女別に点数化(1～10点)した合計点(80点満点)

平成25年度(2013年度)～令和3年度(2021年度) ※令和2年度は中止

全国体力・運動能力、運動習慣等調査 -豊中市の概要- 実技に関する調査結果より

【分析結果】

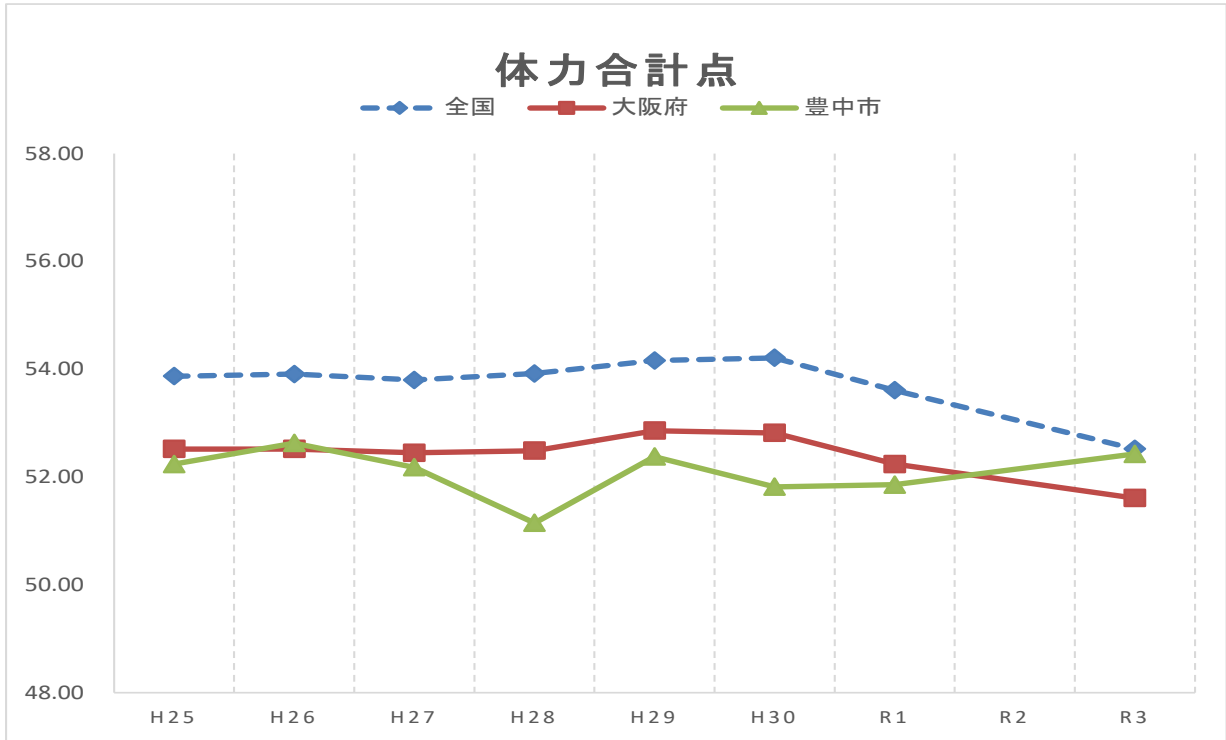
体力合計点について、前回調査の令和元年度と比べて、小学校は男女ともに上昇し、全国との差は調査が始まって以来、最も縮小しました。中学校は男女ともに低下しました。

小学校5年生では男女ともに握力・長座体前屈・50m走において、中学校2年生男子では50m走において、中学校2年生女子では上体起こしにおいて全国平均を上回っていました。また、令和元年度(2019年度)と比較すると、小学校5年生では男女ともに上体起こし・長座体前屈・50m走・立幅とびにおいて記録が向上しました。また、中学校2年生男子では50m走・立幅とびにおいて記録が向上しました。

体力向上の取組みについて、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、前年度と同様に小学校水泳大会が中止となりました。一方、前年度中止していた各種体育実技研修会をオンライン等で実施し、効果的な指導方法の習得を図りました。また、中学校への運動部活動指導協力者派遣については例年どおり実施するとともに、質的な充実を図るため、指導協力者の手引きを作成・配布することができました。

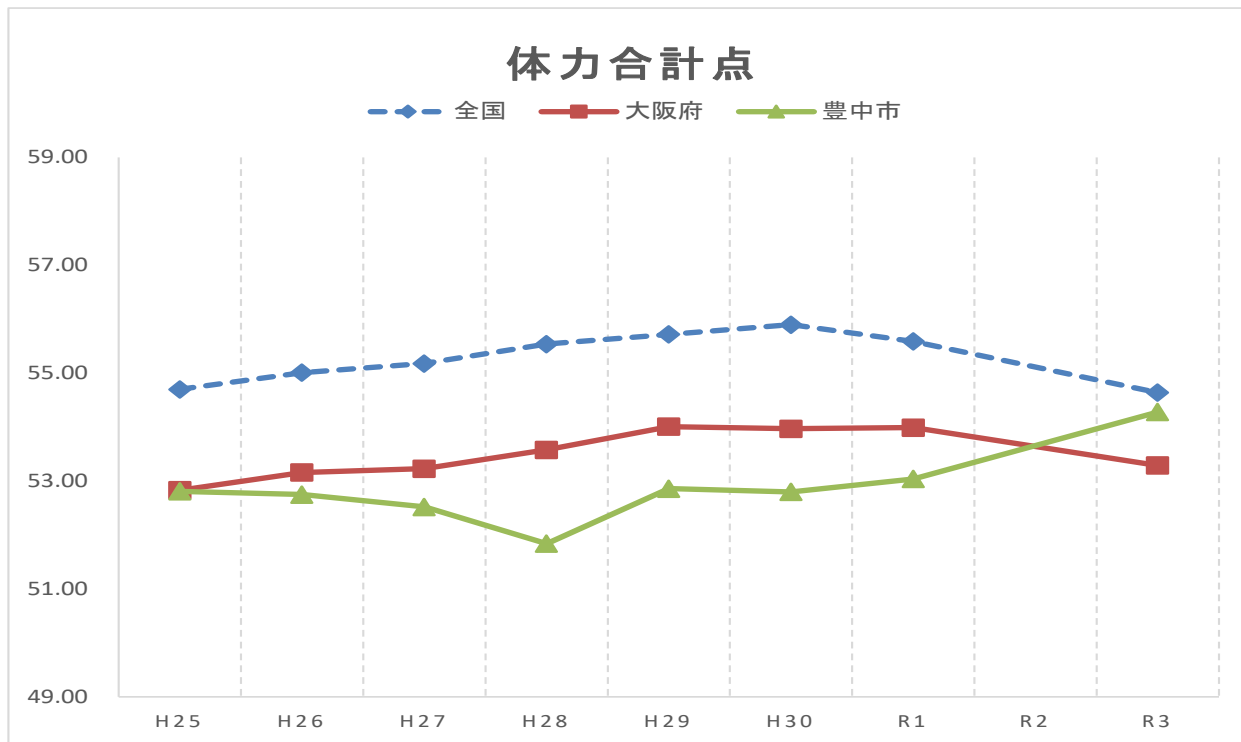
また、令和5年度開校予定の義務教育学校の教育課程の調査研究に合わせて、全小中学校において取り組んでいる義務教育9年間を通じた教育課程の編成など「小中一貫教育」の中で、9年間を見通した「体力向上」をめざし、取り組みを進めていきます。

■全国・大阪府・豊中市の体力合計点平均値の推移比較グラフ（小学5年男子）



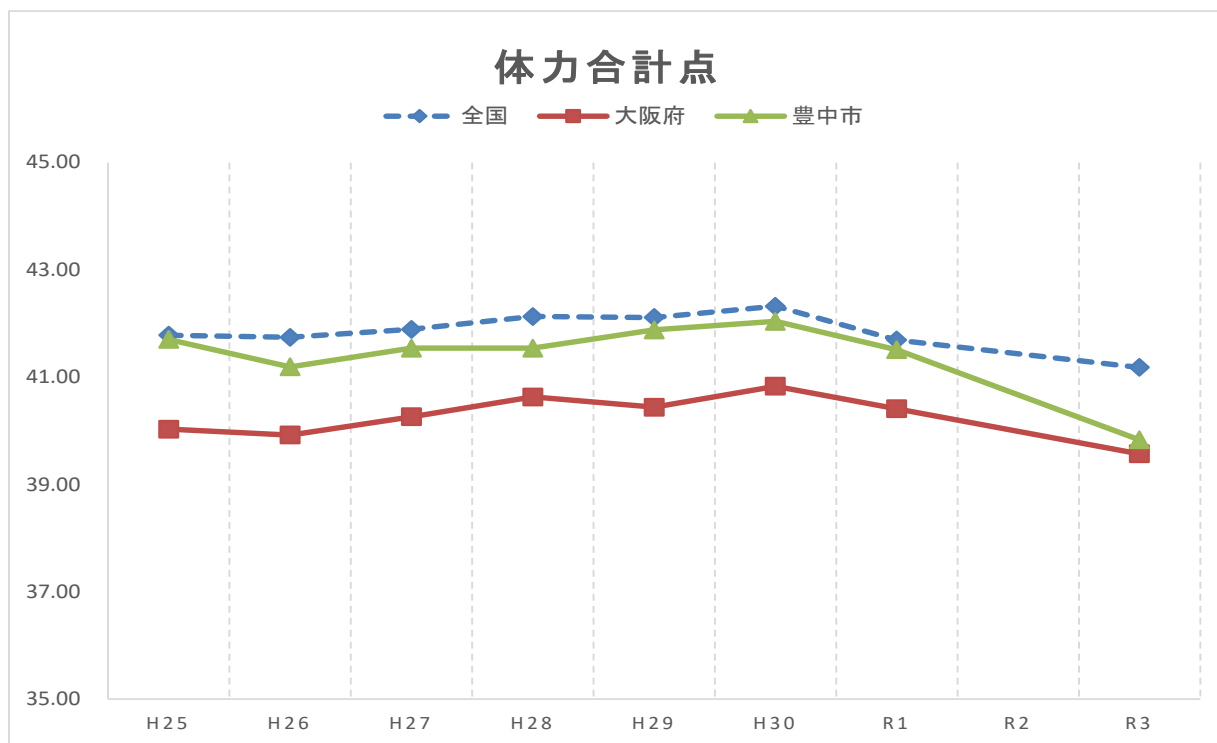
小学5年男子	種目別平均									体力合計点平均
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20%シャトルラン	50m走	立幅とび	ボール投げ	点	
単位	kg	回	cm	点	回	秒	cm	m	点	
R3	全国	16.22	18.90	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
	大阪府	16.07	18.56	33.24	38.56	43.96	9.40	150.82	19.90	51.61
	豊中市	16.97	18.50	34.18	37.03	43.47	9.29	150.97	20.27	52.43
	全国との比較	0.75	▲0.40	0.70	▲3.32	▲3.36	0.16	▲0.44	▲0.31	▲0.09
R2	全国	令和2年度は調査中止								
	大阪府	令和2年度は調査中止								
	豊中市	令和2年度は調査中止								
	全国との比較	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
R1	全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
	大阪府	16.23	19.14	32.55	39.57	47.08	9.40	150.02	20.91	52.24
	豊中市	17.21	18.30	33.38	37.19	44.65	9.38	149.40	21.05	51.86
	全国との比較	0.84	▲1.50	0.14	▲4.55	▲5.67	0.04	▲2.05	▲0.56	▲1.75
H30	全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
	大阪府	16.36	19.31	32.67	39.72	48.64	9.34	150.97	21.33	52.82
	豊中市	17.13	18.42	32.91	37.91	44.80	9.27	149.83	20.76	51.82
	全国との比較	0.59	▲1.53	▲0.40	▲4.19	▲7.35	0.10	▲2.41	▲1.39	▲2.39
H29	全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
	大阪府	16.34	19.44	32.51	39.66	49.33	9.37	150.13	22.23	52.86
	豊中市	17.22	18.86	34.13	37.71	47.34	9.34	149.16	21.73	52.38
	全国との比較	0.71	▲1.06	0.98	▲4.24	▲4.90	0.03	▲2.55	▲0.80	▲1.78
H28	全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
	大阪府	16.22	19.08	32.38	39.20	48.61	9.38	149.74	22.08	52.49
	豊中市	16.90	17.84	32.31	36.53	48.32	9.35	148.73	20.93	51.15
	全国との比較	0.43	▲1.83	▲0.56	▲5.44	▲3.57	0.03	▲2.66	▲1.49	▲2.77
H27	全国	16.45	19.58	33.05	41.60	51.64	9.38	151.24	22.52	53.80
	大阪府	16.24	19.09	32.40	39.18	48.35	9.37	149.74	22.37	52.45
	豊中市	17.08	18.56	33.86	37.46	47.81	9.34	147.94	21.41	52.18
	全国との比較	0.63	▲1.02	0.81	▲4.14	▲3.83	0.04	▲3.30	▲1.11	▲1.62
H26	全国	16.55	19.56	32.87	41.61	51.67	9.38	151.70	22.90	53.91
	大阪府	16.33	19.06	32.47	38.98	48.41	9.39	150.10	22.73	52.52
	豊中市	17.16	18.57	33.98	38.33	49.43	9.35	148.45	22.03	52.63
	全国との比較	0.61	▲0.99	1.11	▲3.28	▲2.24	0.03	▲3.25	▲0.87	▲1.28
H25	全国	16.63	19.54	32.73	41.41	51.41	9.38	152.07	23.19	53.87
	大阪府	16.38	19.17	32.28	38.60	48.10	9.38	150.69	23.09	52.52
	豊中市	16.50	18.61	33.89	37.68	48.31	9.42	149.37	22.59	52.24
	全国との比較	▲0.13	▲0.93	1.16	▲3.73	▲3.10	▲0.04	▲2.70	▲0.60	▲1.63

■全国・大阪府・豊中市の体力合計点平均値の推移比較グラフ（小学5年女子）



小学5年女子	種目別平均									体力合計点平均
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20%シャトルラン	50m走	立幅とび	ボール投げ	点	
単位	kg	回	cm	点	回	秒	cm	m	点	
R3	全国	16.09	18.08	37.90	38.72	38.15	9.64	145.18	13.30	54.64
	大阪府	15.89	17.60	37.50	36.73	35.25	9.65	143.74	12.63	53.29
	豊中市	16.52	17.97	38.73	35.33	33.87	9.57	143.93	12.26	54.28
	全国との比較	0.43	▲0.11	0.83	▲3.39	▲4.28	0.07	▲1.25	▲1.04	▲0.36
R2	全国	令和2年度は調査中止								
	大阪府	令和2年度は調査中止								
	豊中市	令和2年度は調査中止								
	全国との比較	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
R1	全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
	大阪府	15.94	18.22	37.06	38.06	37.80	9.65	143.52	12.93	53.99
	豊中市	16.82	17.12	37.94	35.58	34.73	9.65	142.07	12.65	53.04
	全国との比較	0.73	▲1.83	0.32	▲4.56	▲6.06	▲0.01	▲3.61	▲0.96	▲2.55
H30	全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
	大阪府	15.92	18.04	36.97	37.87	38.10	9.62	143.90	13.00	53.97
	豊中市	16.66	17.39	37.64	36.13	35.81	9.62	142.43	12.28	52.80
	全国との比較	0.51	▲1.57	0.02	▲4.19	▲6.07	▲0.02	▲3.51	▲1.49	▲3.10
H29	全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72
	大阪府	15.89	18.14	36.91	37.61	38.40	9.63	143.12	13.57	54.01
	豊中市	16.59	17.56	38.24	35.45	35.29	9.67	141.07	12.35	52.86
	全国との比較	0.47	▲1.25	0.81	▲4.61	▲6.33	▲0.07	▲4.40	▲1.59	▲2.86
H28	全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
	大阪府	15.89	17.84	36.72	37.16	38.04	9.65	142.49	13.42	53.58
	豊中市	16.43	16.55	36.95	34.66	36.83	9.68	139.99	12.53	51.84
	全国との比較	0.30	▲2.05	▲0.26	▲5.40	▲4.46	▲0.07	▲5.32	▲1.35	▲3.70
H27	全国	16.05	18.42	37.44	39.55	40.69	9.62	144.77	13.77	55.18
	大阪府	15.77	17.56	36.86	37.00	37.09	9.67	141.90	13.45	53.23
	豊中市	16.43	16.47	38.18	35.35	36.29	9.68	139.45	12.44	52.52
	全国との比較	0.38	▲1.95	0.74	▲4.20	▲4.40	▲0.06	▲5.32	▲1.33	▲2.66
H26	全国	16.09	18.26	37.21	39.36	40.29	9.64	144.76	13.90	55.01
	大阪府	15.81	17.57	36.82	36.56	36.87	9.69	142.21	13.68	53.16
	豊中市	16.30	16.93	38.48	35.73	37.17	9.69	140.52	12.80	52.75
	全国との比較	0.21	▲1.33	1.27	▲3.63	▲3.12	▲0.05	▲4.24	▲1.10	▲2.26
H25	全国	16.14	18.06	36.87	39.06	39.66	9.64	144.55	13.94	54.70
	大阪府	15.85	17.37	36.41	36.06	36.29	9.67	142.10	13.77	52.83
	豊中市	15.87	17.00	37.67	35.88	37.48	9.68	142.06	13.53	52.81
	全国との比較	▲0.27	▲1.06	0.80	▲3.18	▲2.18	▲0.04	▲2.49	▲0.41	▲1.89

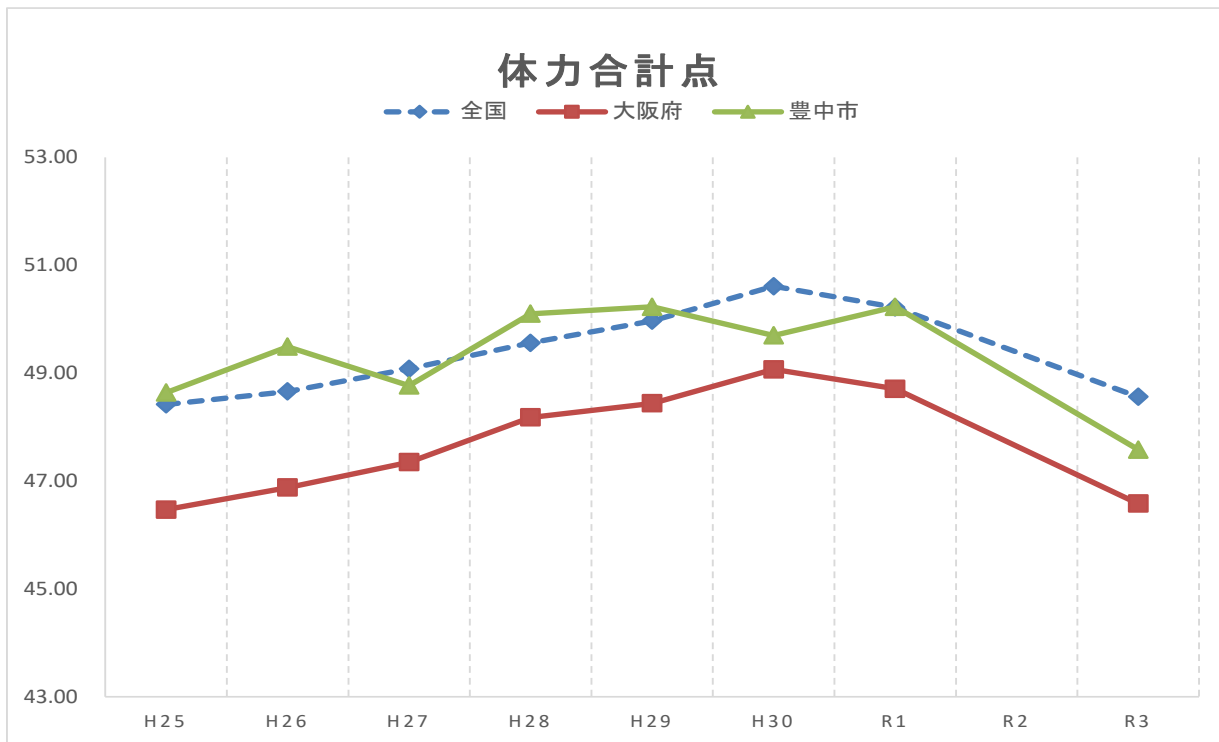
■全国・大阪府・豊中市の体力合計点平均値の推移比較グラフ（中学2年男子）



中学2年男子	種目別平均									体力合計点平均	
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走*	20m [※] シャトルラン	50m [※] 走	立幅とび	ボール投げ		
単位	kg	回	cm	点	秒	回	秒	cm	m	点	
R3	全国	28.80	25.99	43.67	51.19	406.38	79.88	8.01	196.36	20.31	41.18
	大阪府	27.85	25.82	42.10	50.50	420.24	76.61	8.09	192.41	19.56	39.57
	豊中市	27.14	25.30	43.34	50.23	415.93	77.96	8.00	193.37	19.93	39.83
	全国との比較	▲1.66	▲0.69	▲0.33	▲0.96	▲9.55	▲1.92	0.01	▲2.99	▲0.38	▲1.35
R2	全国	令和2年度は調査中止									
	大阪府	令和2年度は調査中止									
	豊中市	令和2年度は調査中止									
	全国との比較	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
R1	全国	28.65	26.96	43.50	51.91	398.98	83.53	8.02	195.03	20.40	41.69
	大阪府	27.68	26.94	41.80	51.21	404.22	83.00	8.07	190.60	19.64	40.41
	豊中市	27.83	26.83	43.46	50.89	407.55	85.57	8.04	192.96	20.79	41.51
	全国との比較	▲0.82	▲0.13	▲0.04	▲1.02	▲8.57	2.04	▲0.02	▲2.07	0.39	▲0.18
H30	全国	28.84	27.36	43.44	52.24	392.65	86.06	7.99	195.62	20.55	42.32
	大阪府	27.77	27.34	41.69	51.42	399.31	85.06	8.03	190.80	19.69	40.83
	豊中市	27.97	27.55	43.20	51.26	403.85	88.02	7.97	192.19	20.71	42.04
	全国との比較	▲0.87	0.19	▲0.24	▲0.98	▲11.20	1.96	0.02	▲3.43	0.16	▲0.28
H29	全国	28.89	27.45	43.20	51.89	391.23	85.99	7.99	194.54	20.56	42.11
	大阪府	28.08	27.39	41.51	50.95	401.99	83.49	8.09	188.97	19.92	40.44
	豊中市	27.87	27.48	42.00	51.17	392.80	87.66	7.99	192.73	20.91	41.88
	全国との比較	▲1.02	0.03	▲1.20	▲0.72	▲1.57	1.67	0.00	▲1.81	0.35	▲0.23
H28	全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
	大阪府	28.06	27.50	41.37	51.20	403.57	84.14	8.09	189.46	20.07	40.63
	豊中市	27.61	27.75	41.87	51.10	399.71	88.89	8.05	190.46	20.68	41.54
	全国との比較	▲1.30	0.29	▲1.19	▲0.83	▲7.99	2.65	▲0.02	▲4.23	0.09	▲0.59
H27	全国	28.93	27.43	43.08	51.62	392.63	85.56	8.01	194.05	20.65	41.89
	大阪府	28.21	27.31	41.36	50.59	404.26	83.44	8.12	189.07	20.10	40.26
	豊中市	27.94	27.30	42.74	51.13	396.54	88.06	8.01	190.31	20.76	41.54
	全国との比較	▲0.99	▲0.13	▲0.34	▲0.49	▲3.91	2.50	0.00	▲3.74	0.11	▲0.35
H26	全国	29.00	27.45	42.92	51.31	392.89	85.29	8.03	193.43	20.86	41.74
	大阪府	28.27	27.20	41.09	49.98	404.28	82.48	8.14	188.22	20.38	39.92
	豊中市	28.02	27.61	41.59	50.70	393.61	88.15	8.08	189.74	20.76	41.19
	全国との比較	▲0.98	0.16	▲1.33	▲0.61	▲0.72	2.86	▲0.05	▲3.69	▲0.10	▲0.55
H25	全国	29.21	27.58	43.11	51.08	393.90	84.98	8.04	193.68	21.01	41.78
	大阪府	28.31	27.49	41.42	49.68	406.44	82.60	8.15	188.18	20.53	40.03
	豊中市	28.08	28.03	42.51	50.45	396.38	87.13	8.06	189.93	21.52	41.70
	全国との比較	▲1.13	0.45	▲0.60	▲0.63	▲2.48	2.15	▲0.02	▲3.75	0.51	▲0.08

※中学2年は持久走か20mシャトルランのどちらかを実施

■全国・大阪府・豊中市の体力合計点平均値の推移比較グラフ（中学2年女子）



中学2年女子	種目別平均										体力合計点平均
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走*	20m [※] シャトルラン	50m ^走	立幅とび	ボール投げ		
	kg	回	cm	点	秒	回	秒	cm	m	点	
R3	全国	23.43	22.32	46.20	46.25	297.62	54.24	8.88	168.15	12.72	48.56
	大阪府	22.78	22.15	45.22	45.74	309.19	51.04	8.99	164.06	12.07	46.58
	豊中市	22.40	22.46	46.13	45.56	316.75	52.32	8.96	166.89	12.46	47.58
	全国との比較	▲1.03	0.14	▲0.07	▲0.69	▲19.13	▲1.92	▲0.08	▲1.26	▲0.26	▲0.98
R2	全国	令和2年度は調査中止									
	大阪府	令和2年度は調査中止									
	豊中市	令和2年度は調査中止									
	全国との比較	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
R1	全国	23.79	23.69	46.32	47.28	289.82	58.31	8.81	169.90	12.96	50.22
	大阪府	23.08	23.58	45.35	46.80	293.51	58.05	8.90	165.98	12.30	48.71
	豊中市	23.05	24.11	46.39	46.99	287.69	61.32	8.82	169.56	12.46	50.23
	全国との比較	▲0.74	0.42	0.07	▲0.29	2.13	3.01	▲0.01	▲0.34	▲0.50	0.01
H30	全国	23.87	23.87	46.22	47.37	286.85	59.87	8.78	170.26	12.98	50.61
	大阪府	23.21	23.79	45.42	47.05	292.97	58.91	8.88	166.11	12.33	49.07
	豊中市	22.85	23.75	45.17	47.11	294.50	61.30	8.85	169.89	12.46	49.70
	全国との比較	▲1.02	▲0.12	▲1.05	▲0.26	▲7.65	1.43	▲0.07	▲0.37	▲0.52	▲0.91
H29	全国	23.82	23.73	45.86	46.76	287.36	59.14	8.80	168.57	12.96	49.97
	大阪府	23.37	23.68	44.84	46.33	295.23	57.59	8.95	164.21	12.61	48.44
	豊中市	23.49	24.09	45.69	46.96	279.62	61.74	8.86	167.13	12.63	50.23
	全国との比較	▲0.33	0.36	▲0.17	0.20	7.74	2.60	▲0.06	▲1.44	▲0.33	0.26
H28	全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56
	大阪府	23.36	23.30	44.66	46.20	297.98	57.62	8.96	164.75	12.58	48.18
	豊中市	23.73	23.37	45.97	46.88	278.72	62.32	8.87	168.02	12.98	50.10
	全国との比較	▲0.02	▲0.11	0.51	0.28	9.79	3.52	▲0.04	▲0.26	0.13	0.54
H27	全国	23.68	23.26	45.53	46.09	290.03	58.06	8.84	167.28	12.83	49.08
	大阪府	23.20	22.99	44.65	45.30	300.30	56.56	8.99	163.18	12.54	47.35
	豊中市	23.17	23.38	45.35	46.34	291.86	61.46	8.89	165.18	12.48	48.77
	全国との比較	▲0.51	0.12	▲0.18	0.25	▲1.83	3.40	▲0.05	▲2.10	▲0.35	▲0.31
H26	全国	23.70	23.07	45.23	45.63	290.64	57.77	8.87	166.53	12.88	48.66
	大阪府	23.24	22.83	44.32	44.66	301.43	56.00	9.02	162.33	12.64	46.88
	豊中市	23.45	23.95	45.05	45.81	286.36	61.36	8.84	165.82	12.99	49.49
	全国との比較	▲0.25	0.88	▲0.18	0.18	4.28	3.59	0.03	▲0.71	0.11	0.83
H25	全国	23.76	23.03	45.12	45.27	292.71	57.20	8.88	166.18	12.97	48.42
	大阪府	23.31	22.78	44.13	44.05	302.70	55.40	9.06	161.49	12.80	46.47
	豊中市	23.13	23.49	44.93	44.97	289.84	61.07	8.96	165.00	13.21	48.64
	全国との比較	▲0.63	0.46	▲0.19	▲0.30	2.87	3.87	▲0.08	▲1.18	0.24	0.22

※中学2年は持久走か20mシャトルランのどちらかを実施

(3) スポーツ活動を支える環境の充実

市民が日常的にスポーツを行うには、スポーツをしやすい環境の充実が重要となります。そこで、本計画ではスポーツ施設の利用者の増加を目標として掲げています。

指標：スポーツ施設の利用者

【屋内体育施設】計画最終年度目標値：908,915人

実績値

平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
831,057	874,752	857,196	882,498	930,182
平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
922,780	875,881	786,520	470,385	476,567

【屋外体育施設】計画最終年度目標値：298,376人

実績値

平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
286,044	270,151	261,827	273,342	280,173
平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
287,561	284,933	271,845	255,617	288,393

※目標値については、施設の増減ならびに平成 24 年度実績に応じて約 1%の伸び率を設定

【分析結果】

屋内体育施設については、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の休館やスポーツ教室の中止などに加え、武道館ひびきの空調工事に伴う休館があり、年間利用者数は目標値を達成することができませんでしたが、前年度比は 101.3%となり、わずかに上昇しました。

屋外体育施設については、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館があったものの、令和 2 年度にリニューアルオープンしたグリーンスポーツセンターの利用者が増えたことが要因となり、年間利用者数は前年度比 112.8%、目標達成率は 96.6%となり、計画最終年度目標値に向けて順調に進んでいるといえます。

引き続き、老朽化した施設の改修等を行い、スポーツ環境の充実を図るとともに、新型コロナウイルス感染防止対策に努めながら利用者が安心・安全に利用できる施設運営を実施する必要があります。

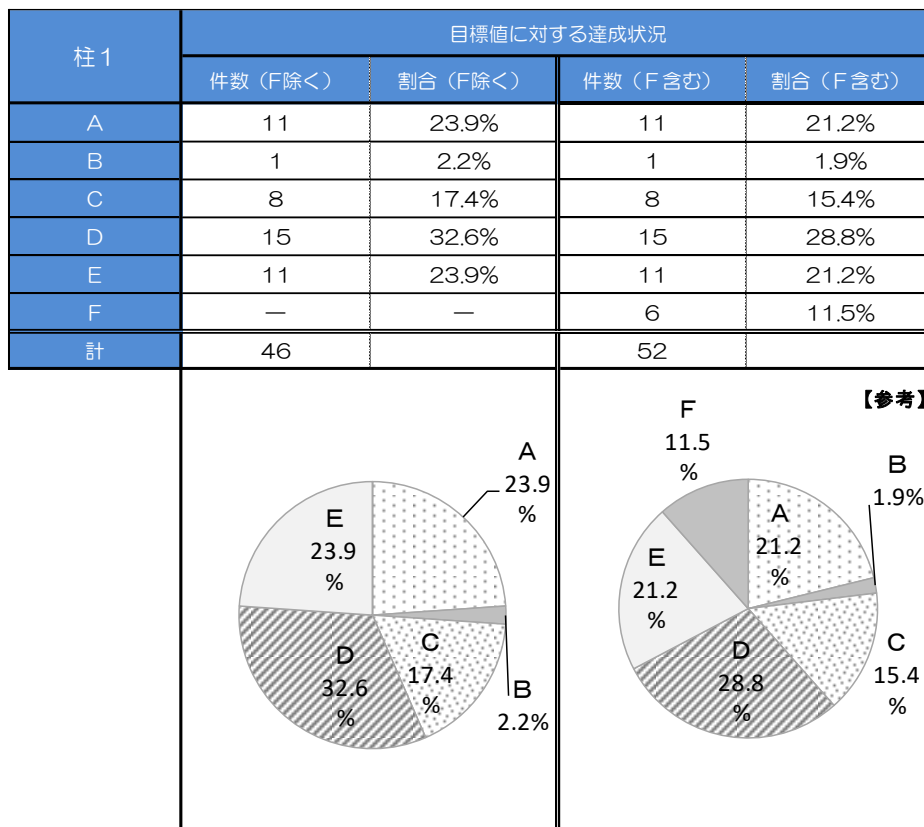
6. 施策体系の4つの柱の達成状況

(施策体系の4つの柱の各事業の実施状況については44ページ以降に記載しています。)

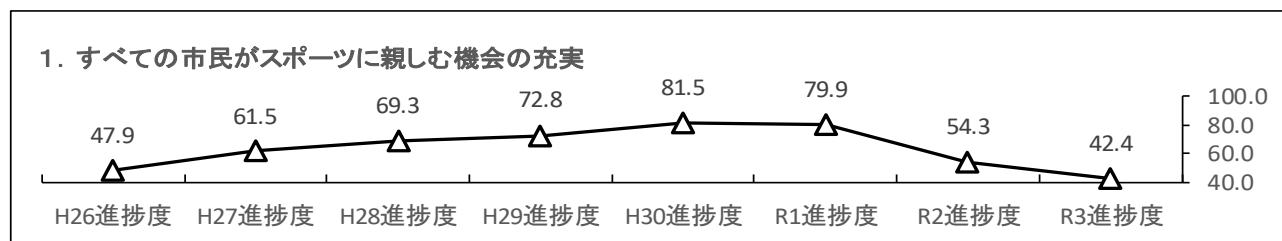
(1) すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実

【目標値に対する達成度】

A：達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=100%以上）【100点】
 B：ほぼ達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=75%以上100%未満）【75点】
 C：ある程度達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=50%以上75%未満）【50点】
 D：あまり達成できなかった（令和3年度実績値/令和3年度目標値=50%未満）【25点】
 E：全く達成できなかった（実施しなかった（できなかった）事業・次年度以降に実施予定の事業）【0点】
 F：その他（指標を定めていない事業）



施策体系 4つの柱	達成度 配点	A	B	C	D	E	計	R3進捗度 得点計/事業数計
		100	75	50	25	0		
1. すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実	事業数	11	1	8	15	11	46	42.4
	得点 (事業数×配点)	1,100	75	400	375	0	1,950	



【分析結果】(Fを除いた場合)

進捗度が42.4点となり、前年度の54.3点を下回りました。

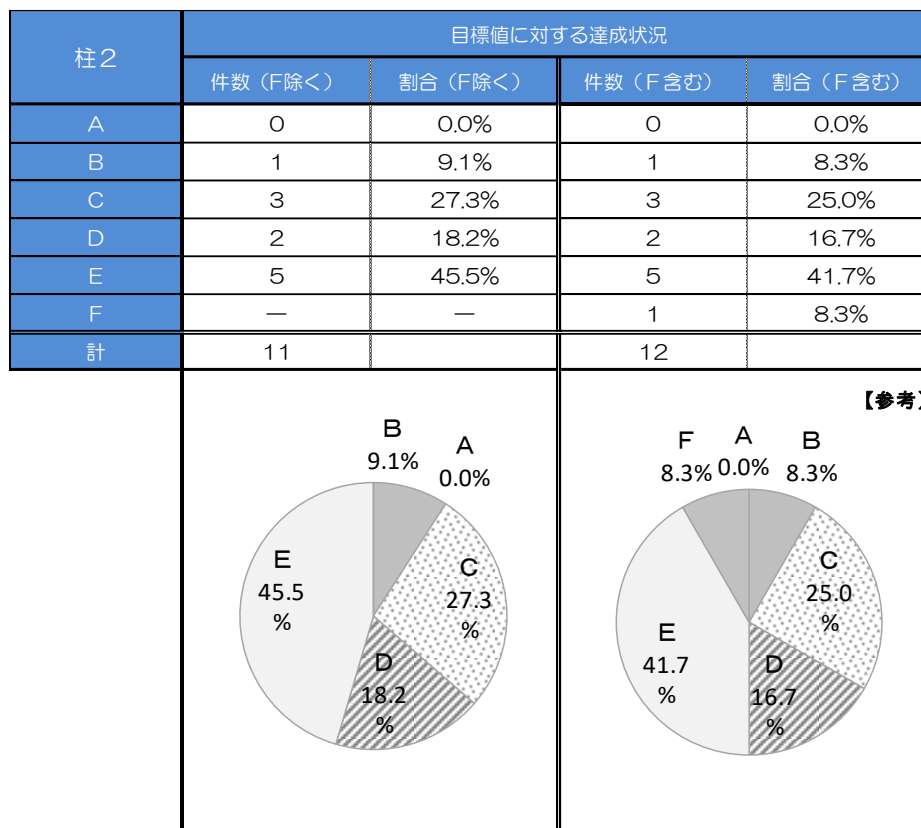
主な要因としては、「トップアスリートによる講演会や教室、交流会の実施【P63 事業 No.89】」の達成度が前年度のAからEへ低下したことがあげられます。

一方、「各種スポーツ教室の開催【P47 事業 No.58】」や「障害者スポーツ体験会【P61 事業 No.86】」など、屋外で行われたスポーツ教室などは、達成度が前年度を上回っています。また、「施設利用者アンケートの実施【P72 事業 No.108】」など情報発信やアンケートなど人の動員を伴わない事業の達成度は前年度同様Aとなりま

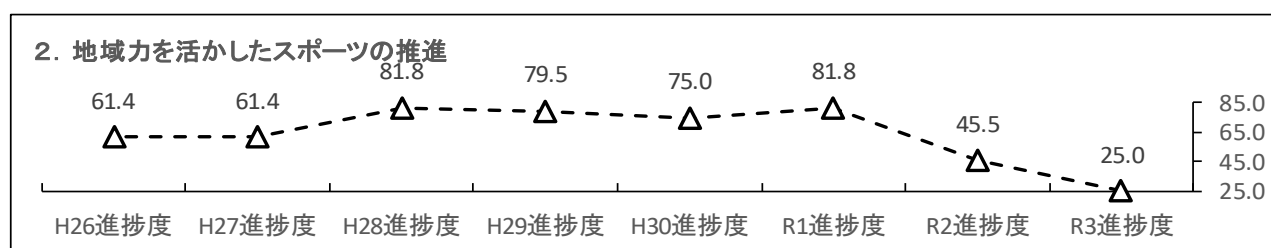
(2) 地域力を活かしたスポーツの推進

【目標値に対する達成度】

- A：達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値＝100%以上）【100点】
- B：ほぼ達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値＝75%以上100%未満）【75点】
- C：ある程度達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値＝50%以上75%未満）【50点】
- D：あまり達成できなかった（令和3年度実績値/令和3年度目標値＝50%未満）【25点】
- E：全く達成できなかった（実施しなかった（できなかった）事業・次年度以降に実施予定の事業）【0点】
- F：その他（指標を定めていない事業）



施策体系 4つの柱	達成度	A	B	C	D	E	計	R3進捗度
	配点	100	75	50	25	0		得点計/事業数計
2. 地域力を活かしたスポーツの推進	事業数	0	1	3	2	5	11	25.0
	得点（事業数×配点）	0	75	150	50	0	275	



【分析結果】（Fを除いた場合）

進捗度が25.0点となり、前年度の45.5点を下回りました。

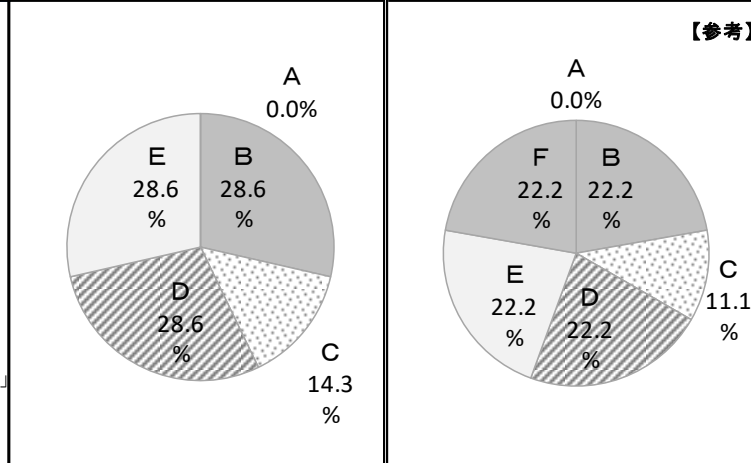
主な要因としては、「親子ふれあい事業【P74 事業 No.112】」など、新型コロナウイルス感染拡大防止のために事業を縮小及び中止したことにより、達成度がEとなった事業が5事業あり、全事業数に対する達成度Eの割合が多いこと、また、達成度がAの事業が0事業となったことによるものです。

一方、「スポーツ振興会事業【P75 事業 No.114】」の達成度が前年度のDからCへ向上しました。

(3) スポーツ環境の向上

【目標値に対する達成度】
 A：達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=100%以上）【100点】
 B：ほぼ達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=75%以上100%未満）【75点】
 C：ある程度達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=50%以上75%未満）【50点】
 D：あまり達成できなかった（令和3年度実績値/令和3年度目標値=50%未満）【25点】
 E：全く達成できなかった（実施しなかった（できなかった）事業・次年度以降に実施予定の事業）【0点】
 F：その他（指標を定めていない事業）

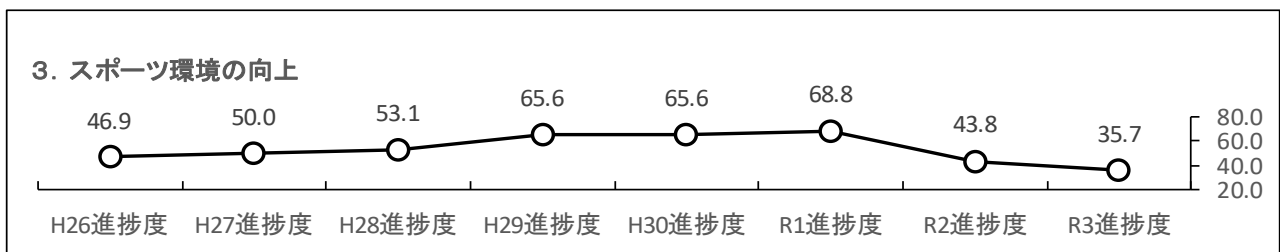
柱3	目標値に対する達成状況			
	件数 (F除く)	割合 (F除く)	件数 (F含む)	割合 (F含む)
A	0	0.0%	0	0.0%
B	2	28.6%	2	22.2%
C	1	14.3%	1	11.1%
D	2	28.6%	2	22.2%
E	2	28.6%	2	22.2%
F	—	—	2	22.2%
計	7		9	



令和2年度をもって廃止
 「指導員バンク制度の構築【P84 事業 No.131】」

計画策定時より計1事業減少

施策体系 4つの柱	達成度	A	B	C	D	E	計	R3進捗度 得点計/事業数計
	配点	100	75	50	25	0		
3. スポーツ環境の向上	事業数	0	2	1	2	2	7	35.7
	得点 (事業数×配点)	0	150	50	50	0	250	



【分析結果】(Fを除いた場合)
 進捗度が35.7点となり、前年度の43.8点を下回りました。
 主な要因としては、前年度の達成度がAであった「指導員バンク制度の構築【P84 事業 No.131】」が廃止したことにより、進捗度が前年度を下回ったことがあげられます。この事業は、現指定管理者に各種教室の指導員の確保・育成や各種教室に対するニーズを把握する仕組みがあり、事業を継続する必要がないため廃止されました。
 一方、「指導者講習会・審判講習会の実施【P82 事業 No.127】」において、昨年度は中止していた講習会を実施したことにより、達成度が前年度のEからDへ向上しました。

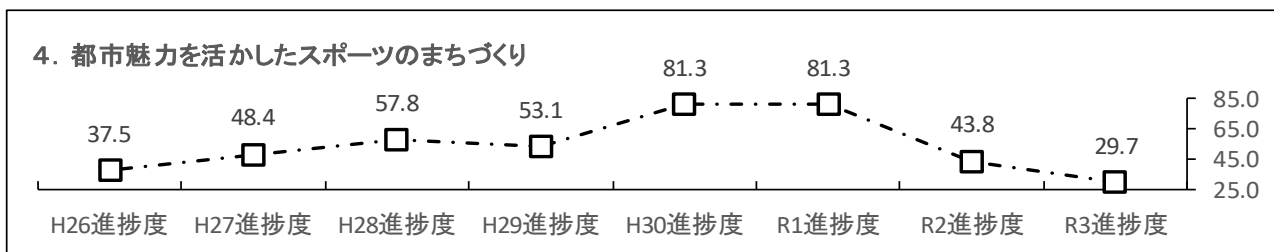
(4) 都市魅力を活かしたスポーツのまちづくり

【目標値に対する達成度】
 A：達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=100%以上）【100点】
 B：ほぼ達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=75%以上100%未満）【75点】
 C：ある程度達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値=50%以上75%未満）【50点】
 D：あまり達成できなかった（令和3年度実績値/令和3年度目標値=50%未満）【25点】
 E：全く達成できなかった（実施しなかった（できなかった）事業・次年度以降に実施予定の事業）【0点】
 F：その他（指標を定めていない事業）

柱4	目標値に対する達成状況			
	件数 (F除く)	割合 (F除く)	件数 (F含む)	割合 (F含む)
A	3	18.8%	3	15.0%
B	1	6.3%	1	5.0%
C	0	0.0%	0	0.0%
D	4	25.0%	4	20.0%
E	8	50.0%	8	40.0%
F	—	—	4	20.0%
計	16		20	

【参考】

施策体系 4つの柱	達成度	A	B	C	D	E	計	R3進捗度
	配点	100	75	50	25	0		得点計/事業数計
4. 都市魅力を活かしたスポーツのまちづくり	事業数	3	1	0	4	8	16	29.7
	得点（事業数×配点）	300	75	0	100	0	475	



【分析結果】(Fを除いた場合)
 進捗度が29.7点となり、前年度の43.8点を下回りました。
 主要要因としては、「スポーツまちづくりイベントの実施【P86 事業 No.136】」、「障害者スポーツ体験会【P90 事業 No.143】」などにおいて、新型コロナウイルス感染拡大防止のために事業を中止したことから、達成度が前年度のAからEへ低下したことがあげられます。
 引き続き、感染対策をとりながらイベントを実施し、コロナ禍においても工夫して開催するなど、スポーツに触れる機会を確保する取り組みが重要です。

7. 実施状況の見方

NO.	施策体系	新規	重点	再掲	
事業名	A：達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値＝100%以上） B：ほぼ達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値＝75%以上 100%未満） C：ある程度達成できた（令和3年度実績値/令和3年度目標値＝50%以上 75%未満） D：達成できなかった（令和3年度実績値/令和3年度目標値＝50%未満） E：全く達成できなかった（実施しなかった（できなかった）事業・次年度以降に実施予定の事業） F：その他（指標を定めていない事業）				
事業主体（所管）					
具体的内容					
指標	H25実績 （計画策定時）	R3目標値	実績 R2 R3		
R3目標値に対する達成率		R3目標値に対する達成度		評価	
令和3年度取り組み状況	1.すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実 (1) ライフステージに応じたスポーツの推進 1.市民のスポーツ活動の推進 2.高齢者スポーツ活動の推進 3.障害者スポーツ活動の推進 (2) 子どものスポーツの推進 (3) 「観る」「支える」スポーツの充実 (4) スポーツに関する情報環境の促進 2.地域力を活かしたスポーツの推進 (1) 身近で気軽に楽しむスポーツをする機会の充実 (2) 地域スポーツを支える仕組みの充実 3.スポーツ環境の向上 (1) 公共スポーツ施設の再配置の検討 (2) 既存施設の適切な管理運営 (3) スポーツを「支える」人材の育成、活用 4.都市魅力を活かしたスポーツのまちづくり (1) スポーツを活用したまちづくりの推進 (2) スポーツを通じた交流の推進 (3) スポーツに関する専門的な研究機能および実践の充実			【評価】 拡充：（事業を実施し、今後、拡充の方向で検討する） 継続：（事業を実施し、現状のまま継続していく） 縮小：（事業を実施したが、今後は縮小する方向で検討する） 未実施・廃止 ^{※3} ：（事業が未実施、または廃止の方向で検討する） ※3 令和3年度に事業を実施しなかった場合、もしくは、令和2年度に事業を実施したが、次年度以降に廃止の予定がある場合	
令和3年度課題					
令和3年度課題に対する今後の取り組み					
備考					

豊中市スポーツ推進計画の進行管理にかかる今後のスケジュール

時 期	内 容
5 月	・ 関係部局へ令和4年度の事業実施状況調査依頼
6 月～8 月	・ 事業実施状況及び評価報告書(令和4年度実施分)案の作成 ・ 関係部局へ事業実施状況及び評価報告書(令和4年度実施分)案の確認依頼
9 月	<u>○令和5年度(2023年度)第2回豊中市スポーツ推進審議会</u> ・ 諮問「豊中市スポーツ推進計画の進行管理について」 ・ 事業実施状況及び評価報告書(令和4年度実施分)案の審議
10 月上旬	・ 関係部局へ事業実施状況及び評価報告書(令和4年度実施分)案の最終確認依頼
10 月下旬	<u>○答申「スポーツ推進計画の進行管理について」</u> ・ 事業実施状況及び評価報告書(令和4年度実施分)の確定・公表

令和5年(2023年)3月27日公表
 都市活力部スポーツ振興課

第2期豊中市スポーツ推進計画(素案)に関する意見募集の結果について

令和5年(2023年)1月20日～2月9日に実施した意見公募手続の結果は下記のとおりです。

(1) 集計結果

①提出方法別提出人数と意見件数

	提出方法	提出人数(人)	意見件数(件)
1	郵便		
2	ファクシミリ		
3	電子メール		
4	電子申込システム	1	1
5	所管課への直接提出		
6	その他	4	4
	合計	5	5

②市民等の区分別人数

	市民等	提出人数(人)	意見件数(件)
ア	市の区域内に住所を有する者	2	2
イ	市の区域内に事務所等を有する個人及び法人等	1	1
ウ	市の区域内に存する事務所等に勤務する者		
エ	市の区域内に存する学校に在学する者		
オ	市税の納税義務者		
カ	意見公募手続に係る計画等に利害関係を有するもの		
	その他(市民等の区分が未記入のもの)	2	2
	合計	5	5

(2) 提出意見の概要と市の考え方

No.	該当箇所	提出意見の概要	市の考え方
1	30 ページ	高槻市、枚方市のようなハーフマラソンイベントを公道で開催してほしい。吹田市も検討している。 豊島公園からスタートするのが理想だが、176号線の通行止めが難しいようであれば、緑地公園からスタートし、天竺川沿いを走るのはいかがでしょうか。	本市では、市民マラソン大会を毎年開催しています。市民マラソン大会は最長 6.7km の距離を服部緑地陸上競技場及び公園内クロスカントリーコースを使用して実施しています。しかし、ご意見のとおり、国道 176 号の使用は調整が難しく、高槻市、枚方市のようなハーフマラソンイベントは実施できておりません。公道及び公道以外の場所を使用したマラソンイベントの開催など、ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。
2		体育館でサッカーができるようにしてほしい。	室内サッカーの使用は、体育館壁の構造上の観点から、豊島体育館に限り使用できます。豊島体育館以外での室内サッカーの使用は、体育館壁の構造上難しいと考えております。なお、室内サッカーとは、フットサルを想定しています。
3		トイレやシャワー室等の設備をきれいにしてほしい。	トイレやシャワー室等の設備の改修・更新については、大規模改修の際に検討します。 利用者が快適に施設を利用できるよう、日常の清掃に努めるとともに、スポーツ施設の長寿命化に向け、引き続き計画的な改修・更新を行ってまいります。
4		トレーニング施設（室）を増やしてほしい。 (同じ趣旨の意見：合計 2 件)	トレーニング室（施設）の増設については、現状では施設内で新設できる場所がなく難しい状況です。 既存施設の機能維持・向上やスポーツ備品の更新を行い、利用者が安心・安全に利用できるよう、施設環境の向上に取り組んでまいります。



＼こちらからデータをご覧ください。／

令和5年（2023年）5月16日開催
令和5年度（2023年度）第1回豊中市スポーツ推進
審議会
資料⑦

スポーツの力で明日がもっと楽しくなる
誰もが輝き
心と体が躍動するまち
一人でも、仲間とでも。いつからでも、今からでも。



第2期
豊中市スポーツ推進計画
2023 ▶ 2027



本市はSDGs未来都市として選定されています。本計画においても「スポーツの力」を意識しながら、SDGsの主旨を踏まえ、持続可能な未来へ向けて、各施策の推進に取り組んでいきます。

目次

Chapter1 計画の策定にあたって	1
01 第2期計画策定の趣旨	2
02 計画の位置づけ	3
03 計画の期間	3
04 計画が対象とするスポーツの範囲	4
(1) 国や府における捉え方	4
(2) 本計画における“スポーツ”の捉え方	5
05 スポーツの力（価値）	6
Chapter2 本市を取り巻くスポーツに関する現況	9
01 国や大阪府における動向	10
(1) 国の動向	10
(2) 大阪府の動向	11
02 本市における動向	11
(1) 前スポーツ推進計画での取組み	11
(2) アウトカム検証	12
(3) 主な現況	19
Chapter3 めざす姿	25
01 将来像を設定するうえでの基本的な考え方	26
02 将来像	26
03 将来像の実現に向けた方向性	27
(1) すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実	27
(2) スポーツを活かした魅力あるまちづくり	28
Chapter4 目標達成に向けた施策展開	29
01 施策の方針（柱）	32
(1) すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実	32
(2) スポーツを活かした魅力あるまちづくり	33
02 実施施策	34
1 (1) スポーツへの動機付けの強化	34
1 (2) スポーツ機会の創出	35
1 (3) スポーツを通じた交流の推進	38
1 (4) スポーツ推進のための人材確保・育成	39
2 スポーツを活かした魅力あるまちづくり	40

Chapter5 計画の推進にあたって 45

01 成果指標・目標値 46
 (1) 成果指標・目標値 46
 (2) 成果指標の考え方 47
02 推進体制..... 48
 (1) 他分野との横断的な取組み 48
 (2) 国や府との整合性 48
 (3) 関係団体との連携 48
03 進行管理..... 48

資料編 計画の策定にあたって 1

01 審議経過..... 2
 (1) スポーツ推進審議会 2
 (2) スポーツ推進会議 2
02 委員名簿..... 3
 (1) スポーツ推進審議会 3
 (2) スポーツ推進会議 3
03 各種データ（本編補足） 4
 (1) 第3期スポーツ基本計画（スポーツ庁、令和4年（2022年）3月～）の概要 4
 (2) 本市上位・関連計画におけるスポーツの位置づけ 5
 (3) アンケート結果概要 9
 (4) スポーツ施設 MAP 12



Chapter 1

計画の策定にあたって

- 01 第2期計画策定の趣旨
- 02 計画の位置づけ
- 03 計画の期間
- 04 計画が対象とするスポーツの範囲
- 05 スポーツの力（価値）

01 第2期計画策定の趣旨

本市では、市民がスポーツの多様な効果・効用を十分享受できるよう、市民の参画と多様な主体との協働を柱とする「豊中市スポーツ推進ビジョン」を平成24年度（2012年度）に策定しました。また、それを実践するため、平成26年度（2014年度）から令和4年度（2022年度）までの9年間を計画期間とする「豊中市スポーツ推進計画」（以下「前計画」という。）を策定し、これまで具体的な取組みを進めてきました。

その結果、令和元年度（2019年度）においては「健康体力向上プロジェクト」、「子ども体力向上プロジェクト」の2つの重点施策の進捗状況（合計）が80%を超えるなど、着実に実績も積み上がってきたところです。

しかしながら、令和2年（2020年）当初から世界中を席捲した新型コロナウイルス感染症は、市民のスポーツ環境に大きな影響を与えました。外出が制限されるような状況が長く続いたことで、高齢者のフレイルや子どもたちの生活習慣の変容など、新たなリスクも顕在化しました。前計画の進捗状況においても、令和2年度（2020年度）～令和3年度（2021年度）は、それまでの実績が半減するような結果となりました。

一方、コロナ禍にあっても、令和3年（2021年）7月に東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、その後の感染の収まりもあって、改めてスポーツの気運の高まりが戻りつつあります。本市でも令和4年度（2022年度）当初から、計画通りの事業を展開できるようになってきております。

ただ、現在は、競技スポーツ人口の減少や指導者の高齢化、学校部活動の地域移行など、スポーツを取り巻く環境も前計画の策定当時とは大きく変容しつつあります。

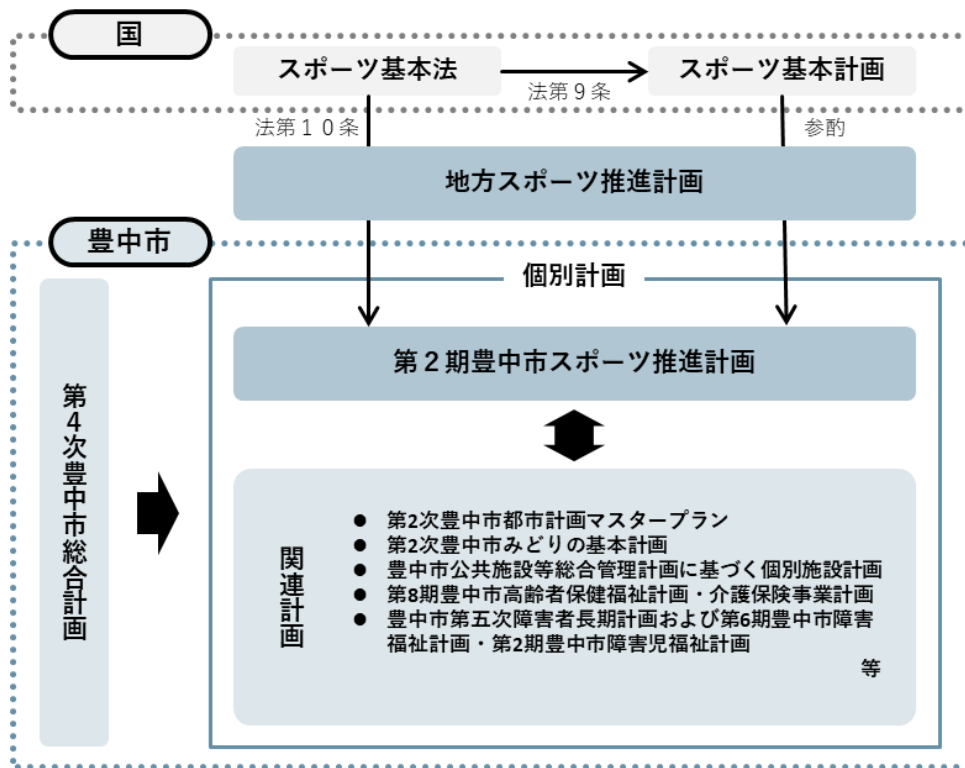
こうした状況にあっては、本市としてスポーツの意義や役割を改めて捉えなおし、アフターコロナを見据えたこれからの暮らしのなかで、スポーツが日常の暮らしのルーティンとして溶け込むことができるよう計画的、体系的に取り組んでいく必要があります。

このため、令和5年度（2023年度）から令和9年度（2027年度）までの5年間を見据えた第2期スポーツ推進計画を取りまとめました。この計画は、「豊中市スポーツ推進ビジョン」の理念を現在の状況に置き換え、今後の5年間の本市のスポーツ振興の羅針盤となるものです。

02 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条の規定に基づき策定するものであり、第4次豊中市総合計画を上位計画とし、近年のスポーツ行政の動向や取組みを踏まえ、単なるスポーツの振興のみならず、スポーツを活用した地域課題の解決など、スポーツによるまちづくりを総合的に推進するための指針です。

図表1 本計画の位置づけ



※本計画の上位・関連計画については資料編に掲載しています。

03 計画の期間

本計画の期間は、令和5年度（2023年度）から令和9年度（2027年度）までの5年間とします。

04 計画が対象とするスポーツの範囲

(1) 国や府における捉え方

① 国の捉え方

平成 23 年（2011 年）に施行された国のスポーツ基本法において「スポーツは、世界共通の人類の文化である」と記されています。

また、スポーツは「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と広く捉えられており、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」であるとされています。

図表 2 第 3 期スポーツ基本計画でのスポーツの捉え方

- 『スポーツは、「する」「みる」「ささえる」という様々な形での参画を通して、人々が感じる「楽しさ」や「喜び」に根源を持つ身体活動』
- 『その身体活動自体に、心身の健全な発達、健康・体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心などの精神の涵養等のあらゆる「自発的」な意思に基づいて行われるもの』

② 大阪府の捉え方

スポーツ庁同様に、大阪府においても、「楽しさ」をキーワードに、スポーツの概念を柔軟かつ幅広く捉えています。

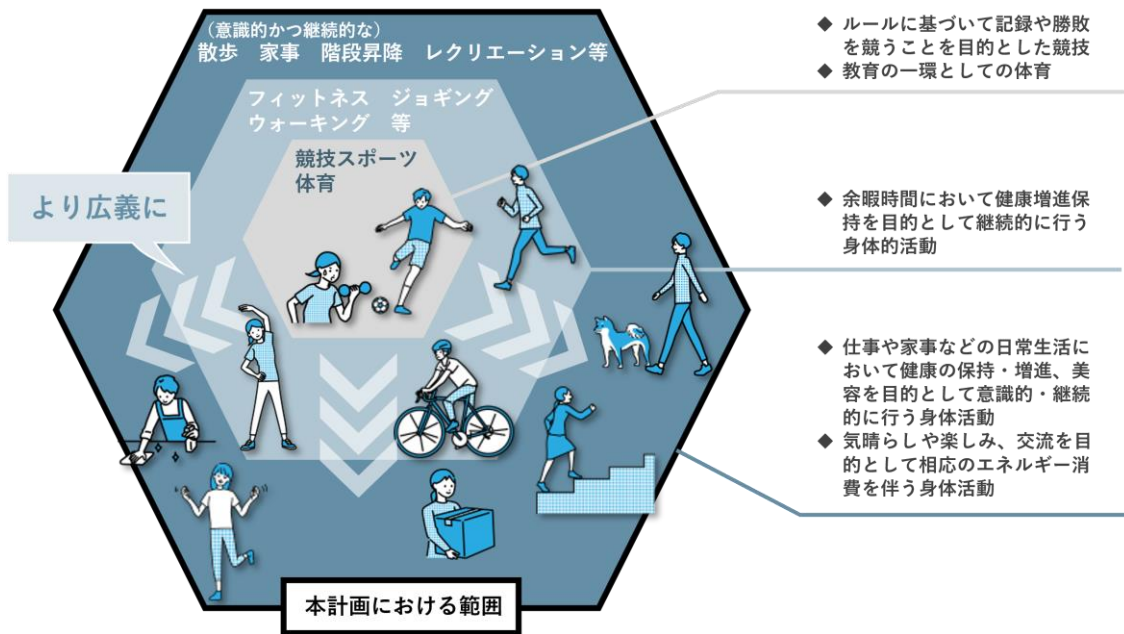
図表 3 大阪府スポーツ推進計画におけるスポーツの概念

- ① スポーツを、「する」「みる」「ささえる」といった様々な形を通じて参加でき、「楽しさ」につながる身体活動と捉える。
- ② 東京 2020 大会を契機にアーバンスポーツのような新しいスポーツが注目される中、スポーツも時代とともに変化が求められていることを踏まえ、身体活動を前提としつつ、本計画において、重要視するスポーツのもつ「楽しさ」をキーワードに、スポーツの概念を柔軟かつ幅広く捉えたものである。
- ③ 同様の考え方から、生涯スポーツについて、誰もがそれぞれのライフステージにおいて、一生涯にわたり、健康で幸せな生活を送ることができるよう、楽しむスポーツを指す概念と整理し、その中には、学校体育や競技スポーツも含まれるものとして捉える。

(2) 本計画における“スポーツ”の捉え方

本計画では、野球やラグビー、サッカーなどの競技種目やレクリエーション活動のほか、健康のための散歩や体操などの軽い運動、さらに徒歩や自転車による通勤や買い物などの日常生活における活動など、意識的・継続的に行う様々な身体活動のことを「スポーツ」として幅広く捉え、これまでスポーツに縁のなかった方にも気軽に親しんでいただくことをめざします。

図表 4 本計画でのスポーツの捉え方



eスポーツとは、「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称です。

世界的な動向

平成30年（2018年）時点では、IOCや国際競技団体による「オリンピック・サミット」の声明において、eスポーツについてオリンピック種目とすることは時期尚早であり、スポーツという言葉を使うことについて更なる対話と研究が必要と表明されました。一方で同年、「アジア版オリンピック」とも言われるアジア競技大会（第18回大会）ではeスポーツが公開競技として実施されました。6種目が設定され、そのうちのひとつには本市で創業したコナミ社のウイニングイレブンも含まれています。近年においては、IOCの考え方も軟化してきており、オリンピック正式競技にはしなかったものの、「オリンピック・ヴァーチャル・シリーズ」の新設により、正式競技とは一定の距離を保ちつつ、eスポーツの魅力 را 肯定的に捉え始めていると言えます。特に架空の世界を遊ぶタイプのゲームではなく、現実存在するスポーツをデジタルで表現したシミュレータ的な性格を持つものは、より早くスポーツのひとつとしての立場を確立する可能性が高いと言えます。

国内での動向

国民体育大会では、愛媛大会（2017年）、福井大会（2018年）の文化プログラムとしてeスポーツ大会が実施されました。また、茨城大会（2019年）以降の文化プログラムでは、都道府県対抗の形式での実施が予定されています。

政府も平成30年（2018年）の段階から「未来投資戦略2018」において、「新たな成長領域として注目されるeスポーツについて、健全な発展のための適切な環境整備に取り組む。」と記載しています。

05 スポーツの力（価値）

■スポーツが持つ直接的な力

することによる達成感や満足感/みることによる興奮や感動

■スポーツが持つ波及的な力（個人レベル）

体力向上や健康の保持増進など「身体的な効果」/リラックスや気分転換など「精神的な効果」

■スポーツが持つ波及的な力（社会レベル）

「健康長寿社会の実現」/「地域コミュニティの活性化」/「まちのにぎわい創出」

スポーツは、本来、楽しくておもしろいものであり、スポーツをすることによる達成感や満足感、みることによる興奮や感動など、スポーツが持つ直接的な力を味わうことがスポーツに関わることの最もシンプルな動機と言えます。

このようなスポーツの直接的な価値は、今般のコロナ禍における社会でも再確認されました。新型コロナウイルス感染症の影響のもと、スポーツが、いわば「不要不急」のもののように扱われ、日々の生活から失われたり、制限されたりすることで、心身の健康保持への影響、閉塞感のまん延、日頃の成果発表の機会の喪失などの悪影響が生じました。

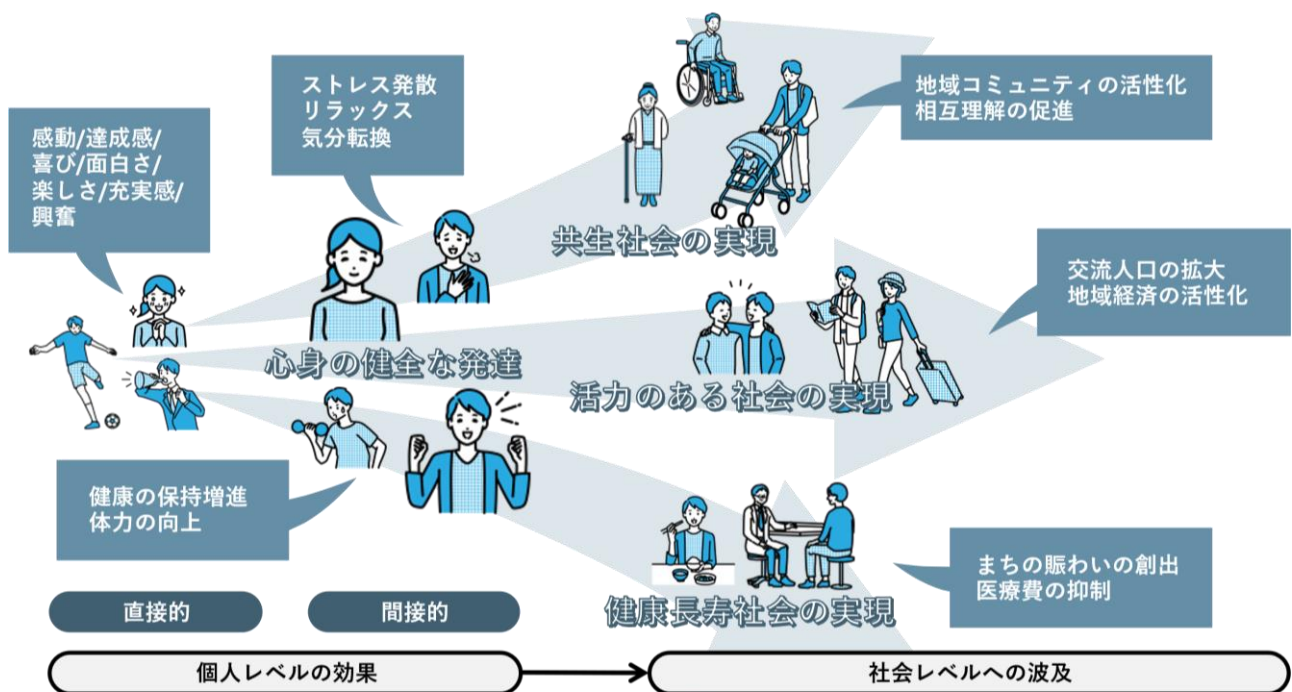
このように様々な影響が顕在化したことで、反射的な効果として、スポーツが我々の生活や社会に活力を与えるなど優れた効果を及ぼす重要な価値を持っていることが認識され、こうした非常事態においても、市民がスポーツの価値を享受できるよう、スポーツの必要性や重要性が再認識されたところです。

また、スポーツの持つ力は、これらの前向きな感情を促す瞬間的な効果だけに留まらず、スポーツをすることで、体力向上や健康の保持増進など「身体的な効果」と、リラックスや気分転換など「精神的な効果」の両面に作用し、「心身の健全な発達」という個人レベルへの広がり期待されます。

さらに、スポーツによって市民の皆さんの健康が増進されると「健康長寿社会の実現」につながり、リラックスした豊かな人間性による社会活動は人や地域とのつながりを生み、「地域コミュニティの活性化」につながることやスポーツを通じて生まれる人々の活力は、地域での経済活動にも波及し、「まちのにぎわい創出」につながることを期待されます。

このようにスポーツが持つ力は、個人レベルへの作用のみならず、社会的課題や地域課題の解決に資するものです。

図表5 スポーツの力の波及イメージ





Chapter2

本市を取り巻くスポーツに関する現況

- 01 国や大阪府における動向
- 02 本市における動向

01 国や大阪府における動向

(1) 国の動向

第3期スポーツ基本計画¹の策定にあたり、新たに3つの視点を追加しています。

図表6 第3期スポーツ基本計画における新たな視点

- ① 「つくる／はぐくむ」：既存の枠組みや考え方のみにならなず、見直し・改善し、最も適切・有効な、個々の状況等に応じた方法やルールを考え出し、創り出す
- ② 「あつまり、ともに、つながる」：様々な立場にある人々が「ともに」「つながり」を感じながらスポーツを楽しめる社会の実現を目指す
- ③ 「誰もがアクセスできる」：年齢や性別、障がい、経済的事情等によってスポーツを諦める、途中でやめることのない社会の実現を目指す

また、今後5年間において総合的かつ計画的に取り組む施策として以下を挙げています。

図表7 国が今後5年間に取り組む施策

- ① 多様な主体におけるスポーツの機会創出
- ② スポーツ界におけるDX²の推進
- ③ スポーツによる健康増進
- ④ スポーツによる地方創生、まちづくり
- ⑤ スポーツを通じた共生社会の実現
- ⑥ スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」
- ⑦ スポーツを実施する者の安全・安心の確保 など

¹ 巻末資料に概要掲載。

² デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略。企業等がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

(2) 大阪府の動向

スポーツ庁同様に、大阪府においても、めざすべきスポーツ像として、以下のとおりスポーツによってまちを“つくっていく”という目標を掲げています。

図表8 大阪府スポーツ推進計画がめざすスポーツ像

- ① 人がスポーツを楽しむ姿は、万博のテーマがうたっている「いのちの輝き」そのもの。困難な時代だからこそ、スポーツの楽しさを人とまちの大切な財産として共有し、スポーツを通じて人とまちを活性化する「スポーツ楽創都市」を、大阪の未来へ向けて創り上げる。
- ② 多様な主体が連携して、スポーツ資源や観光・食といった大阪の強みを活かし、スポーツの価値と魅力を高める。スポーツの力を活用して、人・産業・まちがともに成長する。健康で豊かな生活をスポーツで支え、スポーツで生活とまちを楽しく彩る。

02 本市における動向

(1) 前スポーツ推進計画での取組み

① 取組みの枠組み

以下に示される3つの重点施策と4つの柱、さらに12の基本方針に基づき各種取組みを進めてきました。

図表9 前計画における施策体系

- ▶▶ **重点施策**
 1. 健康体力向上プロジェクト
 2. 子どもの体力向上プロジェクト
 3. スポーツ施設のあり方の検討
- ▶▶ **4つの柱**
 1. すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実
 - (1) ライフステージに応じたスポーツの推進
 - (2) 子どものスポーツの推進
 - (3) 「観る」「支える」スポーツの充実
 - (4) スポーツに関する情報循環の促進
 2. 地域力を活かしたスポーツの推進
 - (1) 身近で気軽に楽しむスポーツをする機会の充実
 - (2) 地域スポーツを支える仕組みの充実
 3. スポーツの環境の向上
 - (1) 公共スポーツ施設の再配置の検討
 - (2) 既存施設の適切な運営管理
 - (3) スポーツを「支える」人材の育成、活用
 4. 都市魅力を活かしたスポーツのまちづくり
 - (1) スポーツを活用したまちづくりの推進
 - (2) スポーツを通じた交流の推進
 - (3) スポーツに関する専門的な研究機能および実践の充実

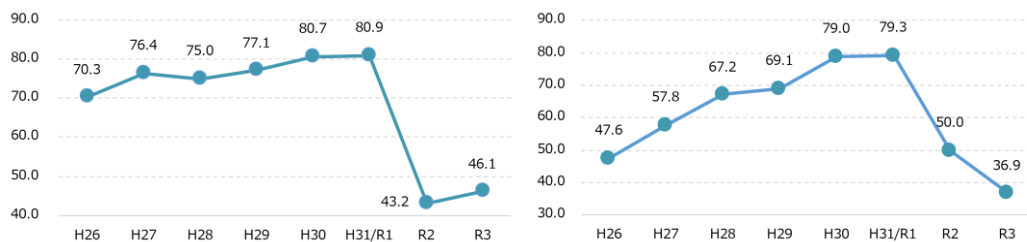
② アウトプット検証

重点施策の「1. 健康体力向上プロジェクト」では、誰もが気軽にできるラジオ体操・ウォーキングの推進について、地域やイベントなどでこれらを促進する取組みを積極的に行いました。「2. 子どもの体力向上プロジェクト」についても、スポーツ施設での子どもスポーツ教室や親子ふれあい事業などの取組みを行い、各事業の目標値に対する進捗度は、令和元年度（2019年度）まで右肩上がりに上昇していました。しかし、令和2年度（2020年度）は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の休館や事業の中止、スポーツ教室の定員の見直しなどにより、参加者数が減少し、進捗度は計画の初年度の平成26年度（2014年度）の進捗度を大きく下回りました。

また、施策体系4つの柱では、平成28年度（2016年度）に「2. 地域力を活かしたスポーツの推進」に関する事業の進捗度が上昇し、平成30年度（2018年度）に「4. 都市魅力を活かしたスポーツのまちづくり」に関する事業の進捗度が上昇するなど、他の施策体系の柱も進捗度が堅調に推移し、重点施策と同様に令和元年度（2019年度）まで右肩上がりに上昇していましたが、令和2年度（2020年度）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、進捗度が大きく低下し、計画の初年度の平成26年度（2014年度）の進捗度を下回りました。

令和3年度（2021年度）は、各種スポーツ教室やスポーツ大会、スポーツイベントにおいて新型コロナウイルスの感染対策を十分講じた上で再開したことなどにより、重点施策では、進捗度が上がった事業もあり、少し回復しています。

図表10（左） 重点施策1、2 進捗度推移
図表11（右） 施策体系4つの柱 進捗度推移



(2) アウトカム検証

① スポーツ実施率の向上

週1日以上、スポーツや運動を実施する市民の割合は55.4%となっており、目標値としていた65.0%や令和2年度（2020年度）全国値の59.9%と比較すると、やや低い水準にあります。なお、前計画策定時の36.9%から大幅に上昇しておりますが、これは、成人の週1回以上のスポーツ実施者の割合を調査する際に、国や大阪府の設問に合わせて、ウォーキングや体操、ハイキングなど具体的な例を示して設問したことや、前計画

に基づき、ラジオ体操の普及・啓発やライフステージに合わせたスポーツ教室の開催などに取り組んできたことが、実施率の上昇につながっていると考えます。

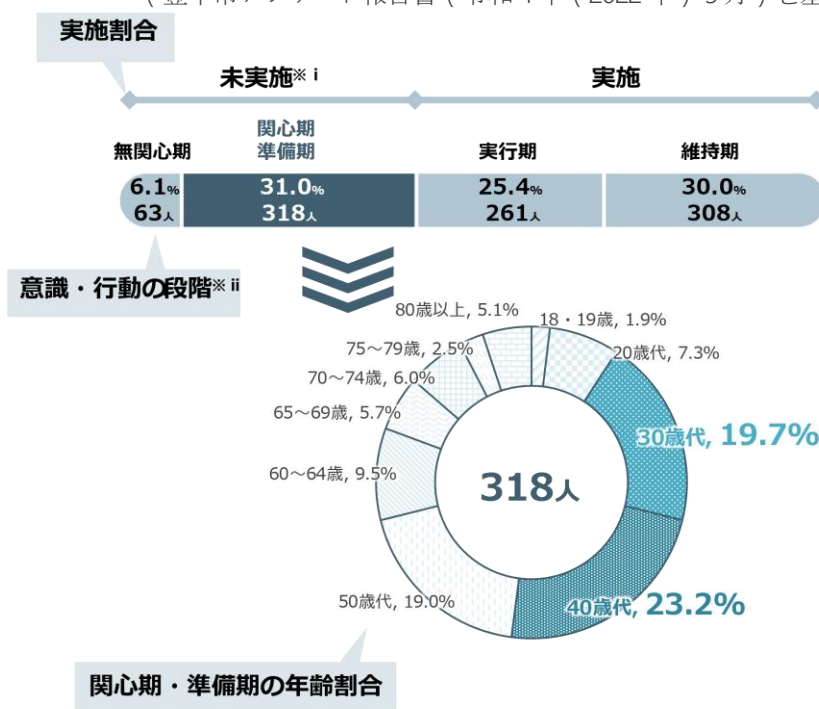
図表 12 前計画での目標値（スポーツ実施率）

目標指標	基準値 (H24)	現状値 (R3)	目標値 (R3)
成人の週1回以上のスポーツの実施者の割合	36.9%	55.4%	65.0%

また、スポーツや運動の低い実施率及び実施に至っていない未実施層の中では、無関心期層が極めて少なく、関心期・準備期が多いことから、関心喚起策ではなく、「まずは実際にやってみる」ことの実行支援が必要であると考えられます。また、関心期・準備期層は30歳代後半から40歳代にかけて特に多いことから、ビジネスパーソンでも気軽に行えるスポーツの機会創出や意識啓発が方策として考えられます。

図表 13 関心期・準備期の年齢割合

(豊中市アンケート報告書(令和4年(2022年)3月)を基に分析)



- ※ i 実施・未実施の別について、目標指標である「成人の週1回以上のスポーツの実施者の割合」を実施層(実行期+維持期)と合わせるために、低頻度層は便宜上、未実施(関心期・準備期)層に含める。
 ※ ii n=1,026、その他や無回答を除いているため、合計しても100%にならない。

		運動やスポーツについて	
		実施頻度	満足度
実施	維持期	週3日以上	
	実行期	週1～2日	
未実施	関心期・準備期	週1日未満 (全くしていないを含む)	行っているが、もっと行いたい
	無関心期		行っていないが、行いたいと思う
			行いたいと思わない

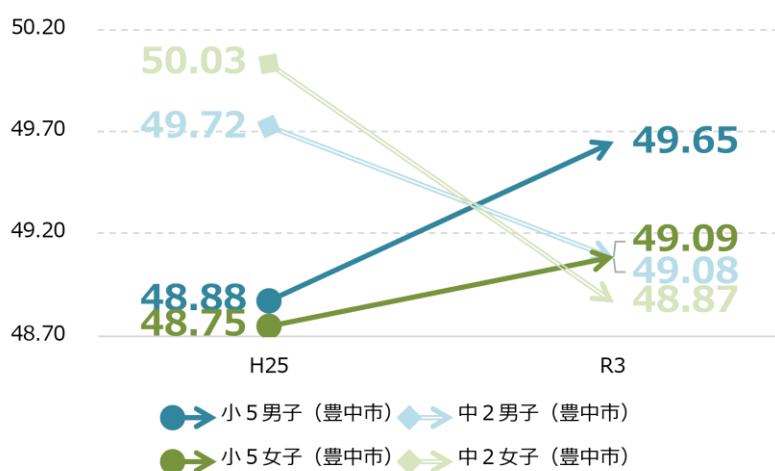
② 子どもの体力向上

Tスコア³をみると、男女ともに小学生でスコア向上、中学生でスコア低下の傾向が見られます。小中男女全ての属性において、全国平均値をやや下回っています。

図表 14 前計画での目標値（子どもの体力・運動能力）

目標指標	基準値 (H24)	現状値 (R3)	目標値 (R3)
小中学生の体力向上 ⁴	下図	下図	バランスのとれた体力の向上

図表 15 各種目のTスコアの平均点の推移
(全国体力・運動能力、運動習慣等調査)



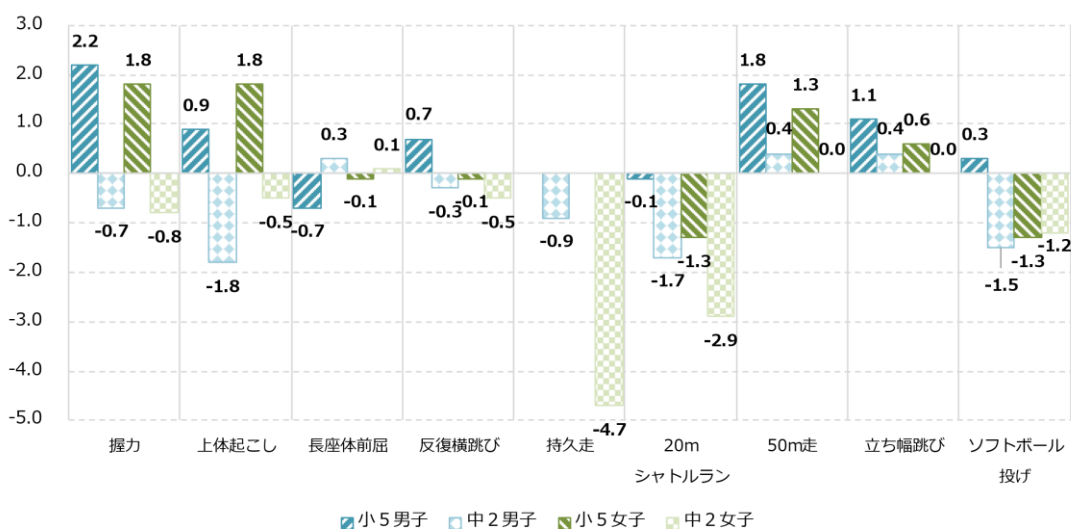
³ Tスコアは偏差値のことで、集団の平均からどの程度ずれているかを示す数値です。体力テストの場合、種目によって単位や数値の幅などが異なるため、同じ尺度で比較することができるよう利用されます。全国の平均値を50、標準偏差が10になるように修正し、数値化しています。

⁴ 計画年度途中に分析方法を変更し、種目別平均値と体力合計点平均値の推移をグラフ化し、体力の向上を分析することとしています。

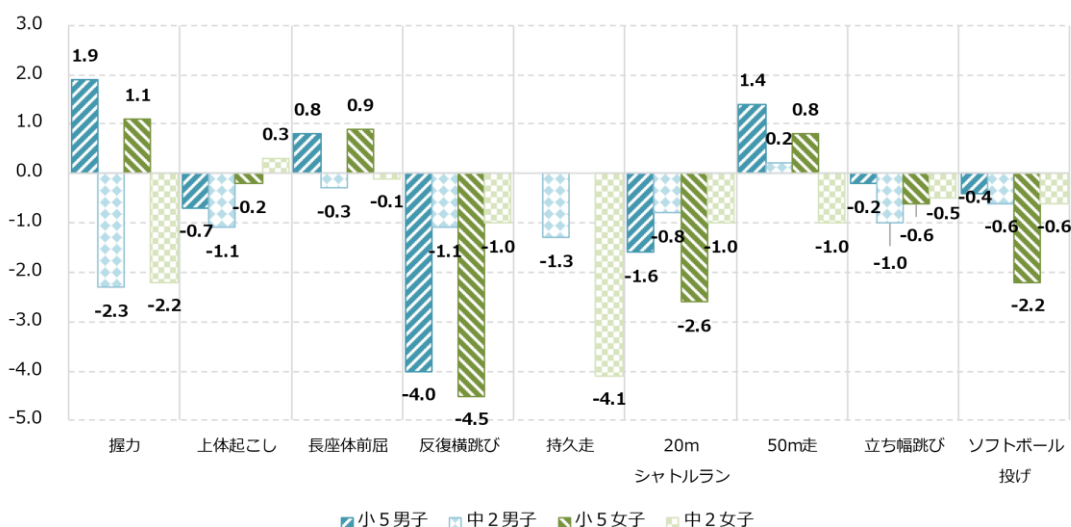
種目別に内訳をみると、小学生は男女ともに握力や上体起こし、50m 走、立ち幅跳びなどでスコアの向上が見られ、中学生では握力、上体起こし、反復横跳び、持久走、20m シャトルラン、ソフトボール投げなどでスコアの低下が見られます。特に中学生女子の持久走で大きく低下しています。

また、全国平均値との乖離をみると、小学生男女の握力、長座体前屈、50m 走以外のほとんどの種目で下回っています。

図表 16 種目別スコアの増減 (H25→R3)
(全国体力・運動能力、運動習慣等調査、令和 4 年 (2022 年) 3 月)

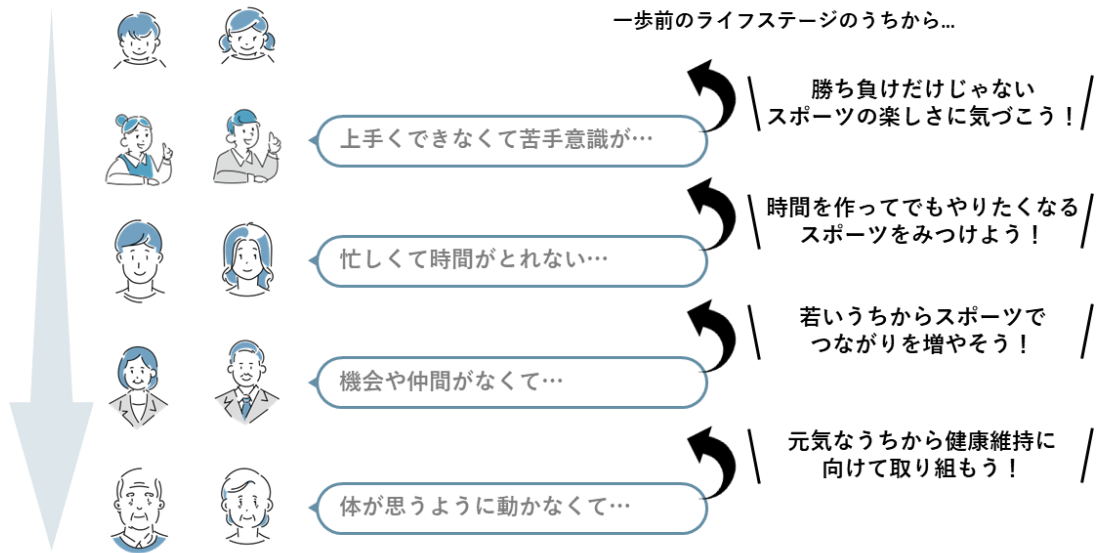


図表 17 種目別スコアの全国平均値との差(R3)
(全国体力・運動能力、運動習慣等調査、令和 4 年 (2022 年) 3 月)



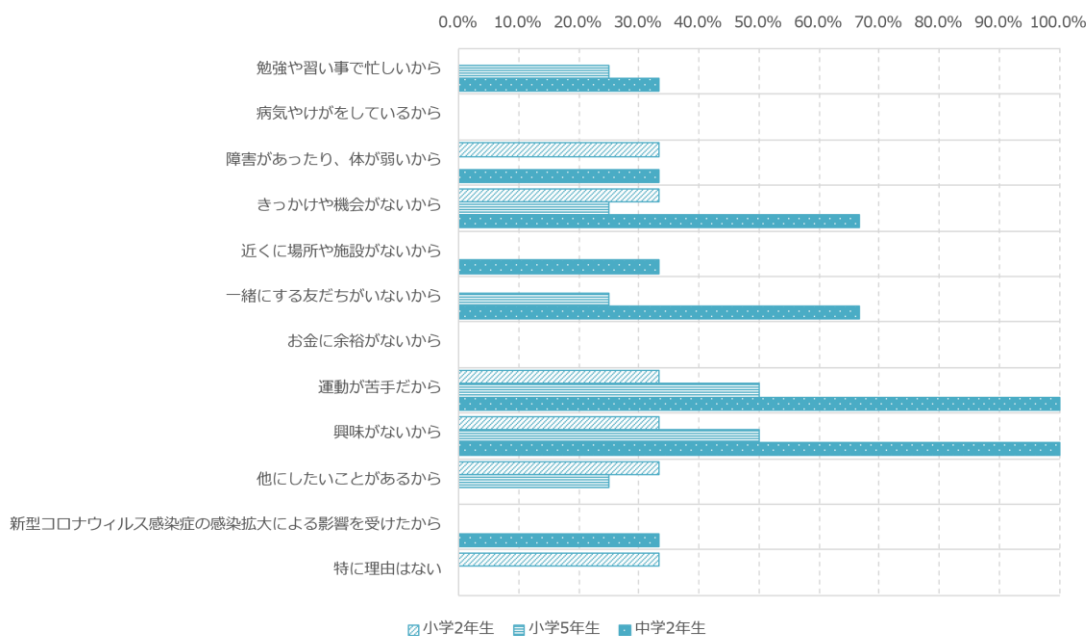
①「スポーツ実施率の向上」では、ビジネスパーソンを対象とした現状および考え方を示したものの、各世代におけるスポーツ実施の課題は、一歩前のライフステージでの習慣に起因するケースが多くあると考えられ、低年齢層をターゲットとした施策が中長期的には最も効果的であると考えられます。

図表 18 ライフステージ別阻害要因と対策のイメージ



体力テストの結果では、スコアが低下している中学生のアンケート結果をみると、運動をしない理由として苦手意識が挙げられます。また、スポーツを嫌いな理由として「できないと恥ずかしい」などが挙がっており、スポーツを優劣で評価してしまっていることが、スポーツがもつ本来の楽しさを実感するうえでの阻害要因となっている可能性があります。

図表 19 スポーツ・運動の未実施理由
(豊中市アンケート報告書、令和4年(2022年)3月)



図表 20 中学生のスポーツへの感想
(豊中市アンケート報告書、令和4年(2022年)3月)

	体を動かすので気持ちがいい	上手にできる・得意	楽しい	一緒にできる友だちがいる	先生やコーチにほめられる	友だちが応援してくれる	あきらめずに練習すればできる	うまくできない・苦手	疲れる	失敗することが多い	できないと恥ずかしい	やる気でない	その他
総数	38.3%	24.7%	51.9%	44.4%	19.8%	11.1%	23.5%	18.5%	39.5%	8.6%	16.0%	14.8%	7.4%
好き	48.0%	40.0%	66.0%	62.0%	30.0%	16.0%	30.0%	6.0%	30.0%	2.0%	6.0%	4.0%	6.0%
嫌い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	83.3%	41.7%	66.7%	58.3%	16.7%
どちらでもない	41.2%	0.0%	47.1%	29.4%	5.9%	5.9%	23.5%	11.8%	41.2%	0.0%	5.9%	17.6%	0.0%
わからない	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%

③ スポーツ活動を支える環境の充実

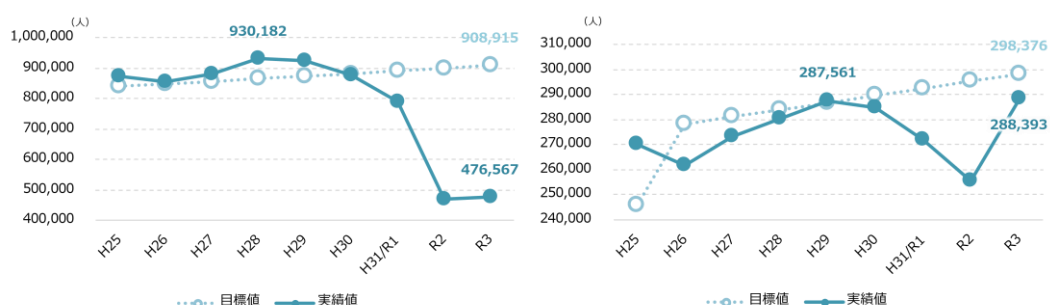
屋内外ともに新型コロナウイルス感染症による影響を受けていますが、屋内では、平成28年度（2016年度）時点で既に令和3年度（2021年度）の目標値を達成しています。屋外についても平成29年度（2017年度）時点で、その年度の目標値を達成しています。また、令和3年度（2021年度）においては、近年におけるピークとなっており、比較的感染リスクの低い屋外活動について復調傾向が見られます。

スポーツ施設については、築年数を経ているものが多いことから、計画的かつ着実に改修や更新を行い、施設機能の維持・向上を図る必要があります。また、公園や広場、小中学校の運動場や体育館の学校開放なども運動・スポーツの場として、有効活用する必要があります。

図表 21 前計画での目標値（スポーツ施設利用者数）

目標指標	基準値 (H24)	現状値 (R3)	目標値 (R3)
豊中市立屋内スポーツ施設の利用者数	831,057 人	476,567 人	908,915 人
豊中市立屋外スポーツ施設の利用者数	286,044 人	288,393 人	298,376 人

図表 22（左） 屋内施設利用者数の推移
図表 23（右） 屋外施設利用者数の推移



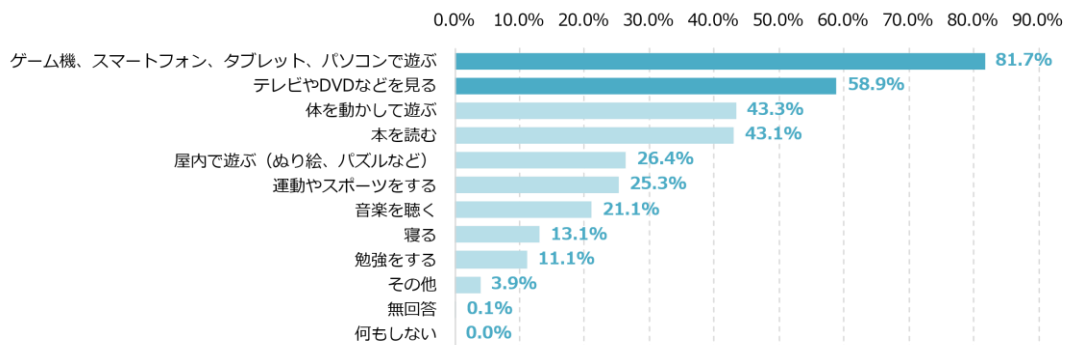
(3) 主な現況

令和3年度（2021年度）に実施したアンケートなどから見える現況を記載します。

① 子どものスポーツ実施

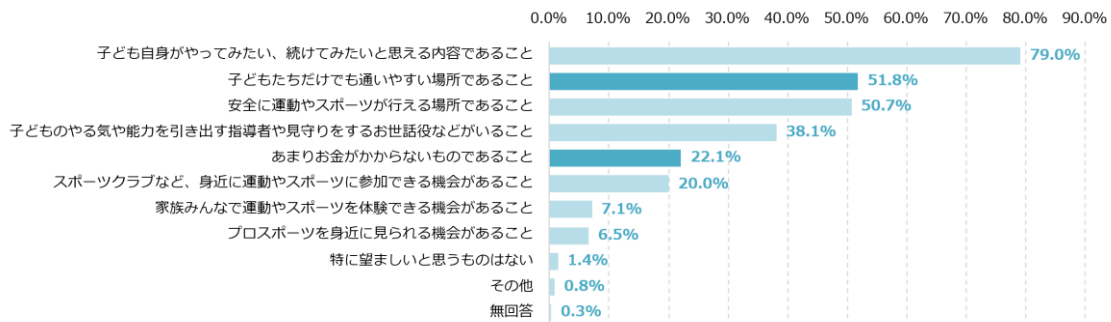
本市における子どものスポーツに対する好意やスポーツ実施率は高い状況にあります。が、“何をやってもいい時間”の使い方として、映像端末に触れている時間が選択されており、体を動かす割合よりも高い水準にあります。

図表 24 子どもの余暇時間の使い方
(豊中市アンケート報告書、令和4年(2022年)3月)



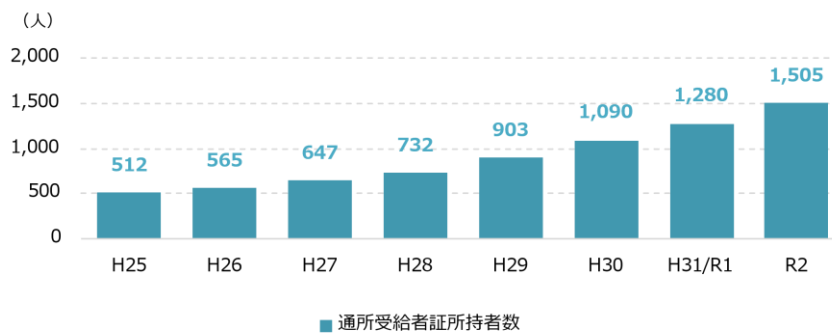
したがって、子どものスポーツ実施率の向上に向けた場や機会の量的・質的充実を図っていく必要があります。この際、居住エリアや家計状況によらず、誰もがスポーツにアクセスできる環境が求められており、これらのニーズを充足する子ども向けスポーツ教室の開催の継続的な取り組みが必要です。

図表 25 子どものスポーツ実施が促進されるための条件
(豊中市アンケート報告書、令和4年(2022年)3月)



また、通所受給者証所持者数の推移の状況は年々増加を続け、令和2年（2020年）4月現在で1,505人となっています。障害のある人がスポーツを通じて社会に参加し、健康づくりや生きがいがづくり、自己実現を図るための機会として、障害者向けのスポーツ教室の開催も継続して取り組みます。

図表 26 通所受給者証所持者数
（第6期豊中市障害福祉計画・第2期豊中市障害児福祉計画）



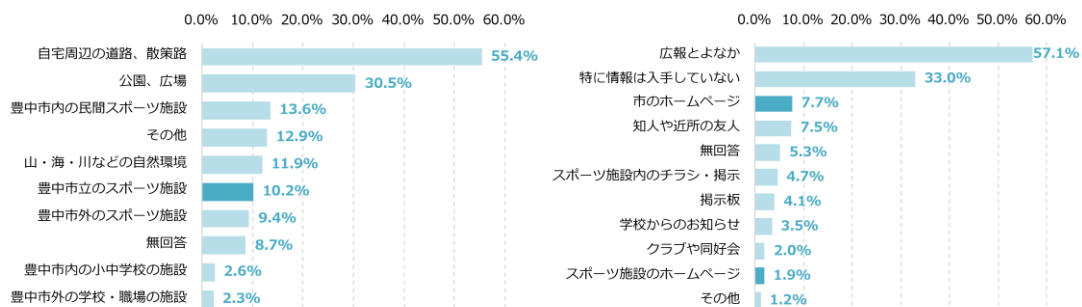
② スポーツの場づくり

スポーツの実施場所としては、アンケート結果からは自宅周辺の道路、公園、広場といったオープンスペースが選ばれています。一方で、スポーツ施設（特に市立施設）を選ばれている割合が低く、施設の稼働率が一定高い状況にある中で、こうした傾向については分析が必要であると考えられます。

市立のスポーツ施設については、利用者アンケート結果に基づき、利用者満足度を向上させる既存層の維持・拡大と、スポーツ施設で実施する教室やイベントなどの関連情報の発信を充実させ、新規層を獲得していく必要があります。情報発信に関しては、市広報誌などを経路して二次元コードでWEBに誘導するなどのマルチメディア戦略が必要であると考えられます。

図表 27 (左) スポーツ実施場所
（豊中市アンケート報告書、令和4年（2022年）3月）

図表 28 (右) スポーツ関連情報収集媒体
（豊中市アンケート報告書、令和4年（2022年）3月）

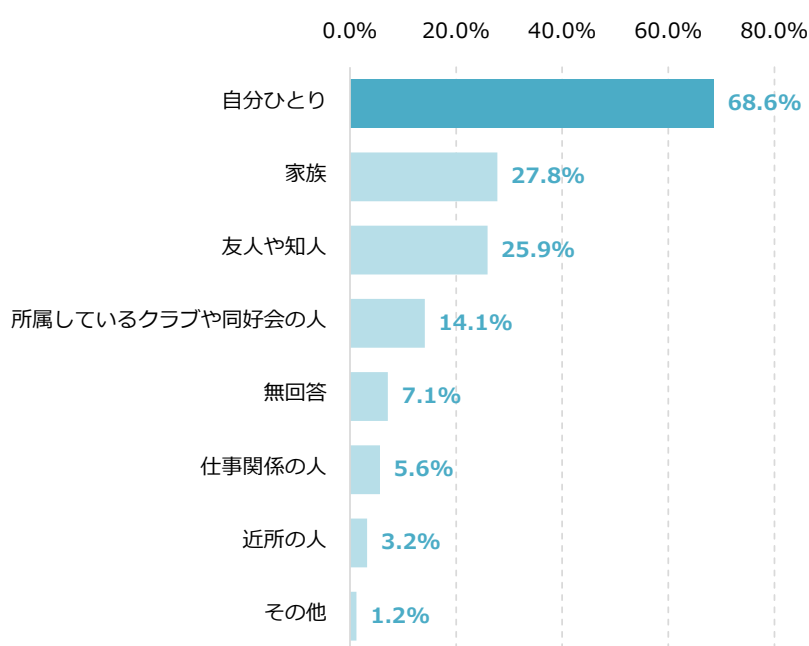


③ あつまり・ともに・つながるスポーツ

本市においては、一人でのスポーツ実施の割合が高い状況にありますが、国の第3期スポーツ基本計画においては、スポーツを通じ地域や人々がつながり、ひいては共生社会の実現をめざすことを重要視しています。

このことから、従前から地域スポーツをけん引する豊中市スポーツ推進委員協議会の事業の充実や総合型地域スポーツクラブ⁵への支援を継続しつつ、より一層の地域スポーツ活動の推進に努めます。

図表 29 スポーツ実施仲間
(豊中市アンケート報告書、令和4年(2022年)3月)



⁵ 地域の方々が中心となって運営し、子どもから高齢者まで自分の体力や技術・技能レベルに応じて、生涯にわたり楽しく継続的にスポーツ活動を行うことができる会費制の多種目・多世代型のスポーツクラブ。

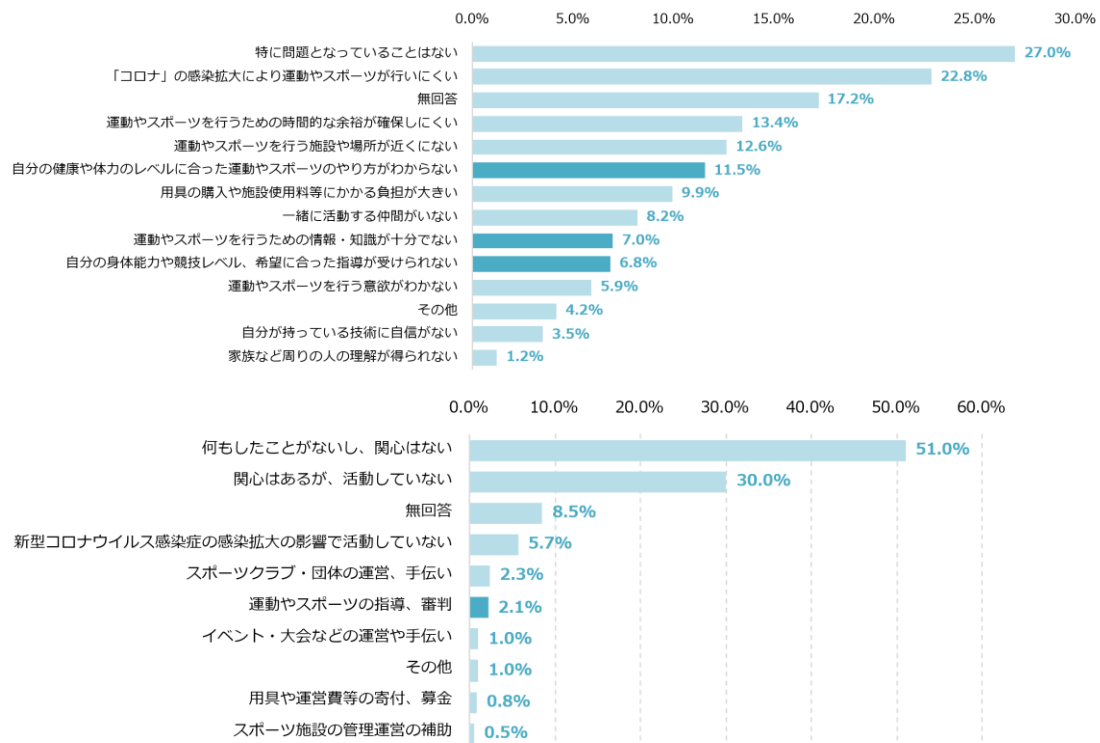
④ スポーツ実施を支える多様な人材の確保

スポーツを行う際の問題点を見ると、知識に関する不安などに類する回答の合算値は25.3%となり、指導者が求められている状況にあります。

一方で、スポーツに関する支援活動参加状況を見ると、職業としてのみならず、ボランティアとしての参加割合も少なく、指導者が不足している状況が明らかになっています。

こうしたことから、公認資格取得のための講習会参加奨励により、新たな指導者を確保していくなどの対応が必要であると考えます。

図表 30 (上) スポーツを行う際の問題点
(豊中市アンケート報告書、令和4年(2022年)3月)
図表 31 (下) スポーツに関する支援活動参加状況
(豊中市アンケート報告書、令和4年(2022年)3月)



本市は高校サッカー・高校ラグビー・高校野球発祥の地であり、先般 100 回大会イベントを無事終えたところですが、イベント以外にも様々な取組みを展開し、本市のスポーツ振興に貢献しています。

平成 29 年（2017 年）10 月に豊中市が発行した『とよなか物語 Vol.8』に掲載された、元毎日新聞論説委員の松本泉さんのコラムを紹介します。

日本の近代スポーツと豊中運動場

歴史に「もしも」は禁物といわれていますが、ここではあえて持ち出します。もしも、大正 2 年（1913 年）に豊中運動場が開場していなければ、日本の近代スポーツのスタートは 40 年以上遅れていたでしょう。

大正年間にわずか 9 年間存在したに過ぎない豊中運動場は、今なら中学校の校庭くらいの規模ですが、当時は「東洋一」のグラウンドでした。

豊中市は、高校野球発祥の地として知られていますが、高校ラグビー、高校サッカーも豊中運動場で誕生しました。日本初の陸上選手権（日本オリンピック大会）が開かれ、国際大会に送り出す選手選考の場ともなりました。バレーボールやバスケットボールの初の公式戦が行われたのも豊中運動場でした。

近代スポーツの系譜をたどれば、その多くが豊中にたどり着くといっても過言ではありません。大正の初めに豊中運動場がなければ、高校野球の隆盛もラグビーやサッカーの普及も、戦後がスタートラインになっていたかもしれません。

スポーツはまだまだ「特別なもの」でした。しかし、野球の全国大会の翌日には近隣の職場チームが豊中運動場で試合をし、国際陸上大会の翌週には小学校の運動会が開かれました。スポーツを誰もが楽しめる身近なものにしたのも豊中運動場でした。

豊中運動場の跡地は現在、閑静な住宅地になっています。すぐそばにできた「高校野球発祥の地記念公園」が高校野球の原点を刻んでいます。その果たした大きな役割を、もっと多くの人に知ってもらいたいと思います。





Chapter 3

めざす姿

- 01 将来像を設定するうえでの基本的な考え方
- 02 将来像
- 03 将来像の実現に向けた方向性

01 将来像を設定するうえでの基本的な考え方

本計画は、単なる“スポーツ振興”のみを目的とするのではなく、スポーツを通じたまちづくりや地域活性化をめざします。

めざす姿の設定においては、国、大阪府の動向・方向性だけでなく、市民アンケートや関係団体との現況と課題を考慮するものとします。

02 将来像

スポーツが持つ力を最大限に活かし、第4次豊中市総合計画が掲げる将来像「みらい創造都市～明日がもっと楽しみなまち～」の実現に向けて取り組みます。このため、豊中市スポーツ推進計画における将来像を以下のとおり設定します。



性別や年齢、国籍や障害の有無などに関わらず互いに認め合い、誰もがスポーツの力を享受できるまちをめざします。“誰もが”関われることで、交流の多様さも増し、ひいては地域としての面的なにぎわいへつながります。

このような姿の実現に向け、スポーツが全ての人のためのものであり、気軽にいつでも・どこでも・誰とでも（一人でも）できるものであることを実践し、市民がスポーツをしたくなるような機会の充実や環境の整備を図ります。

本市では SDGs 未来都市として選定され、「豊中市 SDGs 未来都市計画（以下、未来都市計画という。）」を策定しています。未来都市計画において、第4次豊中市総合計画を上位計画とする分野別計画について、計画の見直しのタイミングで SDGs⁶の視点を踏まえて改定することから、本計画においても「スポーツの力」を意識しながら、SDGs の主旨を踏まえ、持続可能な未来へ向けて、各施策の推進に取り組んでいきます。

03 将来像の実現に向けた方向性

将来像の実現をめざしていくうえで、市民のスポーツ実施率向上をめざすスポーツそのものの推進と、スポーツの力を活用したスポーツによるまちづくりの推進の両輪から各種施策を進めていくものとします。以下に示す方向性は、国の第3期スポーツ基本計画における新たな視点や重点施策を踏まえて設定しています。

(1) すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実

スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であることから、性別や年齢、障害、経済・地域事情などの違いによらず、すべての市民がスポーツに親しむことができるための環境の充実を図ります。

市民がスポーツをしたくなる「きっかけ」をつくり、スポーツができる施設や空間などの「場」や教室・大会などの「機会」を提供します。また、スポーツを介した人の「交流」を増やすとともに、これらを支える「人材の確保・育成」に努めます。



⁶ SDGs とは、平成 27 年（2015 年）9 月に国連サミットで採択された令和 12 年（2030 年）までの持続可能な開発目標です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。

また、国では SDGs の達成にスポーツで貢献していくこととしています。スポーツの持つ、人々を集める力や人々を巻き込む力を使って、SDGs の認知度向上、ひいては、社会におけるスポーツの価値のさらなる向上に取り組んでおり、「スポーツ SDGs」の趣旨に賛同する企業やスポーツ団体などと連携し、より大きなムーブメントにしていくことに努めています。

(2) スポーツを活かした魅力あるまちづくり

本市の有するスポーツ関連資源を有効活用し、スポーツを通じた若者のシビックプライド⁷の醸成をとおして、将来にわたる人口の維持やスポーツを介した多世代交流など、スポーツによるまちづくりの促進に取り組みます。また、パラスポーツなどをはじめ、多様性に関する理解促進による共生社会の実現やスポーツ実施による市民の健康増進と健康福祉のまちづくりの実現に向けて取り組みます。



⁷ 「シビックプライド」とは、「都市に対する市民の誇り」のことであり、単なるまち自慢や郷土愛に留まらず、「ここをよりよい場所にするために自分自身がかかわっている」という、当事者意識に基づく自負心を意味している。



Chapter 4

目標達成に向けた施策展開

- 01 施策の方針（柱）
- 02 実施施策

誰もが輝き心と体が躍動するまち

1

すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実

(1) スポーツへの動機付けの強化

(2)

スポーツ機会の創出

(3) スポーツを通じた交流の推進

(4) スポーツ推進のための人材確保・育成

2

スポーツを活かした魅力あるまちづくり

施策

実施事業

フェーズ

① 情報発信による関心喚起	<ul style="list-style-type: none"> ● 市広報・ホームページ等のスポーツ情報発信 ● 各種スポーツ団体の情報発信の支援 ● スポーツ施設指定管理者の情報発信 	  
② 気軽な体験による実行支援	<ul style="list-style-type: none"> ● ラジオ体操やウォーキングの推進 ● ウォーキング講座 ● スポーツ用具等貸出事業 ● スポーツ指導者派遣事業 ● スポーツの日の事業の開催 	  
① 幅広い世代へのスポーツ機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフステージに応じたプログラムの開発と普及 ● 各種スポーツイベントの実施 ● 各種スポーツ教室の開催 ● 各種スポーツ大会の開催 ● 地域スポーツ活動の推進 ● 総合型地域スポーツクラブ・スポーツ振興会事業 ● 子育て支援センターにおける運動機会の充実 ● 親子ふれあい事業 ● ラジオ体操やウォーキングの推進（再） ● ウォーキング講座（再） ● スポーツ指導者派遣事業（再） 	  
② 子どもへのスポーツ機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動部活動の地域移行【新規】 ● マルチスポーツの推進【新規】 ● 子どもの居場所の充実【新規】 ● (仮称)小学生体力づくり事業【新規】 ● 子どもスポーツ教室（幼児）の開催 ● げんキッズプロジェクトの実施 ● 保育内容の充実 ● 大学とのスポーツ連携 ● 子どもスポーツ教室の開催 ● 青少年自然の家わっぱるなどでの野外活動事業 	  
③ スポーツ推進のための場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ施設の計画的な改修・更新と施設機能の維持向上 ● スポーツ振興基金の収入確保に向けた取組み ● 広告収入などを活用したスポーツ振興 	  
① 域内での交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民体育祭 ● 公民分館協議会各ブロックのスポーツ大会 ● スポーツまちづくりイベントの実施（グリスピア等） ● 各種スポーツイベントの実施（再） ● 各種スポーツ大会の開催（再） ● 地域スポーツ活動の推進（再） ● 総合型地域スポーツクラブ・スポーツ振興会事業（再） 	  
② 域外との交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 兄弟都市や姉妹都市、空港で結ぶ就航都市、近隣市など他市チームとの交流試合の開催 	  
① 人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動部活動の地域移行（再） ● 中学校運動部活動の指導者の確保 ● 大学とのスポーツ連携（再） ● 地域スポーツ活動の推進（再） 	  
② 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導者講習会・審判講習会の実施 ● 公認資格取得のための講習会参加奨励 	  
① スポーツによるシビックプライドの醸成	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史・文化財等にふれるまち歩き ● トップアスリートによる講演会や教室、交流会の実施 ● スポーツまちづくりイベントの実施（グリスピア等）（再） 	  
② スポーツを通じた共生社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害児向けの各種スポーツ教室の開催 ● 障害児チャレンジスポーツの実施 ● 障害福祉センターひまわりにおけるスポーツ事業 ● 障害者スポーツ体験会 	  
③ スポーツによる健康増進	<ul style="list-style-type: none"> ● 小・中学校における体力づくり推進計画（アクションプラン）の策定 ● とよなかパワーアップ体操の普及 ● 高齢者向け各種スポーツ教室の実施 ● 子どもの生活習慣の実態把握と分析 ● 生活習慣病予防の推進 <p>（健康マイレージ事業「おおさか健活マイレージ アスマイル」）</p>	  

01 施策の方針（柱）

（1）すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実

① スポーツへの動機付けの強化

全国的にも Sports in Life（生活の中にスポーツを）の実現をめざして、気軽にスポーツに触れるための政策が展開されていますが、本市においては、令和3年度（2021年度）実施のアンケート結果から「関心はあるがなかなか実行に至らない」層が多くみられました。そこで、「楽しさ」や「手軽さ」を実感してもらう実行支援策に注力して取り組みます。

② スポーツ機会の創出

本市は、これまで若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進に取り組んできましたが、各世代におけるスポーツ実施の課題が、一步前のライフステージでの習慣に起因するケースが多くあると考え、原点である低年齢層をターゲットとした施策に注力して取り組みます。

市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、屋内・屋外のスポーツ施設や公園、ウォーキングコースなどの活動場所の紹介や、スポーツイベントの開催情報を発信します。

③ スポーツを通じた交流の推進

国において、様々な立場にある人が、「あつまり・ともに・つながる」を感じながらスポーツを楽しめる社会の実現をめざしています。本市においても、社会体育団体などとの連携により、幅広い世代が身近なところで気軽に参加できる地域スポーツ活動の機会を創出し、参加促進を図ります。また、兄弟都市、姉妹都市、就航都市などとのスポーツによる交流を推進します。

④ スポーツ推進のための人材確保・育成

スポーツの指導者は、生涯スポーツの推進に重要な役割を担っています。地域スポーツ振興を担うスポーツ推進委員の人材確保や資質の向上を図るとともに、指導者の育成支援やスポーツの推進に関わる人材を活用する仕組みづくりを検討します。

(2) スポーツを活かした魅力あるまちづくり

スポーツの広範囲に波及する多様な力を活用し、人と人とのつながりや地域の活力、賑わいの創出につなげ、地方創生に取り組みます。スポーツ施設を核とした賑わいづくりのみならず、より広く、各種まちづくり分野や政策分野の取組みにスポーツの力を活用します。

障害のある人がスポーツを通じて社会に参加し、健康づくりや生きがいづくり、自己実現を図れるよう、取り組みます。また、障害者のスポーツ推進を図るだけでなく、健常者における障害者理解や都市のバリアフリー⁸化など、周囲の環境への好影響につながるよう、取り組みます。

高齢化などにより、医療費の拡大が予想される中、スポーツによる医療費抑制に係る研究成果は数多く報告されています。スポーツによる健康増進に期待が高まっていることを受け、健康で豊かな生活をスポーツで支え、まちを楽しく彩るための取組みを進めます。

⁸ 障害のある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去するという意味で、もともと住宅建築用語で登場し、段差等の物理的障壁の除去をいうことが多いが、より広く障害者の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁の除去という意味でも用いられる。

02 実施施策

1 (1) スポーツへの動機付けの強化

① 情報発信による関心喚起

市広報誌や市ホームページで各種スポーツ大会や教室について、広く情報を発信します。各種スポーツ団体のホームページに掲載されている情報を市民が効率的に入手できるよう、情報発信の仕組みの構築を検討します。

スポーツ施設のホームページに、利用方法や様々なスポーツ教室の案内を掲載するとともに、各施設へ二次元コードを掲示するなどして認知度拡大を図ります。また、IT関連での情報を受け取れない人向けに、スポーツ教室の募集案内等（紙媒体）の配架先を拡充します。

また、アマチュアスポーツ発祥の地としての優位性を活かし、各種大会や会議、シンポジウムなどの誘致開催により、本市の認知度やイメージ向上に努めるとともに、対外的な発信のみならず、市民に向けてもスポーツに関する意識改革のきっかけとなるような情報を発信します。

【実施事業】

- 市広報・ホームページ等のスポーツ情報発信
- 各種スポーツ団体の情報発信の支援
- スポーツ施設指定管理者の情報発信

② 気軽な体験による実行支援

各地域で毎朝、市民の自発的な活動としてラジオ体操が行われている公園や広場などを紹介するとともに、市の主催や各地域でのスポーツイベントを実施する際には、ラジオ体操を準備体操や整理体操の1つとして実施してもらうよう促進します。また、ウォーキングイベントの実施回数や開催場所を増やすとともに、高齢者が集まりやすい場所で、簡単な体操プログラムやウォーキング講座を実施し、身近で運動ができる機会の増加を図ります。

放課後子どもクラブや地域子ども教室、高齢者施設などに気軽に楽しめるニュースポーツを紹介するチラシやルールブックを配布し、ニュースポーツ用具の無料貸出を行います。また、市民からニュースポーツやラジオ体操などの指導依頼に基づき、スポーツ推進委員を派遣します。

【実施事業】

- ラジオ体操やウォーキングの推進
- ウォーキング講座
- スポーツ用具等貸出事業
- スポーツ指導者派遣事業
- スポーツの日の事業の開催

1 (2) スポーツ機会の創出

① 幅広い世代へのスポーツ機会の創出

市民だれもが参加できるような体力測定会やスポーツイベント、年代別・種目別の各種スポーツ教室やスポーツ大会を実施します。

スポーツ推進委員が各地域において、体力テストやニュースポーツのイベントなどを実施し、地域とのコミュニケーション図られるよう、組織・体制づくりに努めます。

地域スポーツを推進するため、小学校区内で組織された総合型地域スポーツクラブ・スポーツ振興会が行うスポーツ・レクリエーション活動を支援します。

就学前の親子を対象に、親子でふれあい、遊びながら体を動かすことに親しんでもらうための遊びの場や機会を提供するとともに、内容の充実を図ります。

【実施事業】

- ライフステージに応じたプログラムの開発と普及
- 各種スポーツイベントの実施
- 各種スポーツ教室の開催
- 各種スポーツ大会の開催
- 地域スポーツ活動の推進
- 総合型地域スポーツクラブ・スポーツ振興会事業
- 子育て支援センターにおける運動機会の充実
- 親子ふれあい事業
- ラジオ体操やウォーキングの推進（再）
- ウォーキング講座（再）
- スポーツ指導者派遣事業（再）

各種スポーツ教室の様子



② 子どものスポーツ機会の創出

将来にわたり子どもがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保するために、運動部活動の地域移行の方策を検討し、取り組めます。

また、マルチスポーツ⁹推進の実証を進め、子どもたちが様々なスポーツを経験できる仕組みを構築し、スポーツイベントや運動部活動の地域移行などの事業へ展開できるよう、取り組めます。

子どもたちが、スポーツ施設だけでなく、公園や広場、沿道など人が行き交う身近なオープンスペースを活用し、運動遊びやボール遊びなど気軽にスポーツができる場の創出に向けた取り組みを進めます。

かけっこや縄跳び、ボール運動などから、各小学校が児童の体力課題などに応じて選択した内容の体育授業に対して、専門の指導者を派遣することで、児童の運動に対する関心や意欲を高めることや、教職員が体育授業における効果的な指導方法を習得することにつながります。

乳幼児を対象に、体を動かす遊びを通じて多様な動きを経験してもらい、子どもたちの柔軟性・バランス・持久力の向上につながります。

大学との連携により、「とよなかキッズ！あそび&スポーツ☆ぷろぐらむ」の実施など、子どもたちがからだを動かすことの楽しさや気持ちよさを感じてもらえる運動プログラムの開発と実践を様々な形で事業展開できるよう、検討します。

スポーツ実施率の調査において、ハイキングやキャンプもスポーツの定義に含めていることから、小学生を対象とした野外活動事業を実施し、仲間と協力して生活を共にするスポーツの一環であるキャンプを通じて、達成感や仲間づくりなどを学び、生きる力や自己肯定感を育みます。

【実施事業】

- 運動部活動の地域移行【新規】
- マルチスポーツの推進【新規】
- 子どもの居場所の充実【新規】
- (仮称)小学生体力づくり事業【新規】
- 子どもスポーツ教室(幼児)の開催
- げんキッズプロジェクトの実施
- 保育内容の充実
- 大学とのスポーツ連携
- 子どもスポーツ教室の開催
- 青少年自然の家わっぱるなどでの野外活動事業

⁹ マルチスポーツとは、選手が1つの種目のみに参加するのではなく、多様な競技に参加するスポーツの参加方法のこと。アメリカ等では基本的にシーズン制を取り入れていて、子ども年代のスポーツクラブなどでは、多種目に取り組むのが一般的。

子どもスポーツ教室の様子



③ スポーツ推進のための場の提供

スポーツ施設の長寿命化に向け、引き続き計画的な改修・更新を行います。また、施設機能の維持・向上やスポーツ備品の充実など行い、市民が安心・安全に利用できるよう、施設環境の向上に取り組みます。

また、ネーミングライツ¹⁰事業対象施設については、印刷物や掲示物、看板などにネーミングライツパートナーの名称を用いて、適切に利用者向けの周知を行います。

とよなかマチカネ WAON¹¹の普及促進を行うなどスポーツ振興基金の収入確保や清涼飲料水などの自動販売機の設置、施設の空きスペースの貸付を引き続き行います。また、スポーツ施設内での広告の導入など、新たな収入確保に向けた取組みも調査・検討を行い、スポーツイベントやスポーツ備品に充てるなど、スポーツの振興を図ります。

【実施事業】

- スポーツ施設の計画的な改修・更新と施設機能の維持向上
- スポーツ振興基金の収入確保に向けた取組み
- 広告収入などを活用したスポーツ振興

「とよなかマチカネ WAON」カード



¹⁰ 公共施設の名前を付与する命名権と、付随する諸権利のこと。具体的にはスポーツ施設などの名前に企業名や社名ブランドをつけることであり、公共施設の命名権を企業が買う仕組み。

¹¹ 本市とイオン株式会社が「地域連携協定」を締結し、その取組みとして発行されたものです。とよなかマチカネ WAON を利用された金額の一部が豊中市スポーツ振興基金に寄附され、市民のスポーツ振興に役立てられます。

1 (3) スポーツを通じた交流の推進

① 域内での交流

市民が誰でも参加できる市民大会や地域住民が参加できる各小学校での市民体育祭、公民分館協議会各ブロックによるスポーツ大会などを引き続き実施します。

また、各種スポーツイベントについては、幅広い年齢層や新規の参加者を増やせるよう、実施種目や周知方法などの工夫を行い、実施します。

スポーツ推進委員に今後、普及していきたい種目や地域のニーズに即した種目などの研修を行い、より多くの市民に参加してもらい、人と人との交流が生まれるよう、地域スポーツ活動を推進します。

【実施事業】

- 市民体育祭
- 公民分館協議会各ブロックのスポーツ大会
- スポーツまちづくりイベントの実施（グリスポピア等）
- 各種スポーツイベントの実施（再）
- 各種スポーツ大会の開催（再）
- 地域スポーツ活動の推進（再）
- 総合型地域スポーツクラブ・スポーツ振興会事業（再）

② 域外との交流

兄弟都市の沖縄市や姉妹都市の米国サンマテオ市、空港で結ぶ就航先の各都市との少年野球の交流試合を少年野球団体との連携のもと、引き続き開催していくとともに、他の競技種目の交流についても検討します。また、各競技種目において、他府県や近隣市チームとの交流試合などの開催を促進していきます。

【実施事業】

- 兄弟都市や姉妹都市、空港で結ぶ就航都市、近隣市など他市チームとの交流試合の開催

姉妹都市の米国サンマテオ市との交流試合の様子



1 (4) スポーツ推進のための人材確保・育成

①人材の確保

運動部活動の地域移行について、体育連盟や大学、民間企業との連携などにより指導者を確保するとともに、様々な運動部活動の地域移行の方策を検討し、取り組みます。

また、地域移行の検討・推進と並行して、中学校の運動部活動で専門的な指導を行うことができる部活動指導員及び指導協力者を公募し、各中学校に配置します。

スポーツ推進委員は、スポーツ推進委員協議会や各小学校の公民分館長の推薦による選任に加え、新たな地域スポーツの指導者の確保に向け、公募による選任の検討を行います。

【実施事業】

- 運動部活動の地域移行（再）
- 中学校運動部活動の指導者の確保
- 大学とのスポーツ連携（再）
- 地域スポーツ活動の推進（再）

②人材の育成

体育連盟の協力のもと、指導者講習会・審判講習会を実施し、各競技スポーツの普及・振興を図ります。

また、市内のスポーツ活動の指導者やスポーツ指導に関心のある人を対象に、指導者に必要なスキルのテーマを設定し、専門分野の講師を招いて講義や実技研修を実施します。

体育連盟をとおして、各競技団体に対し、スポーツ庁や日本スポーツ協会からの指導者向けの講習会や資格取得の案内などを情報提供し、公認資格講習会への参加を奨励します。

【実施事業】

- 指導者講習会・審判講習会の実施
- 公認資格取得のための講習会参加奨励

2 スポーツを活かした魅力あるまちづくり

① スポーツによるシビックプライドの醸成

市内の史跡や文化財、旧街道などをめぐるまち歩きを実施し、まちの魅力に触れながら健康の保持・増進にもつなげる取組みを行います。

トップアスリートやプロチームなどを招いたスポーツ教室や講演会などのイベントを実施します。また、賑わいづくりとしてグリスポピアを開催するとともに、引き続き、企業や大学、地域団体などと連携し、グリーンスポーツセンターの広場や屋内スペースも活用しながら、スポーツだけでなく、文化や芸術など様々なイベントも開催し、地域の賑わいと施設への愛着を創出しつつ、スポーツをする動機につなげていきます。

その他、スケートボードなどのアーバンスポーツ¹²の推進についても検討します。

【実施事業】

- 歴史・文化財等にふれるまち歩き
- トップアスリートによる講演会や教室、交流会の実施
- スポーツまちづくりイベントの実施（グリスポピア等）（再）

グリスポピアの様子



¹² アーバンスポーツとは「エクストリームスポーツの中で都市での開催が可能なもの」として、音楽、ファッションなど遊び感覚の高い若者文化とともに進化するものと捉えることができる。種目としては、ボルダリング、BMX、スラックライン、パークール、トランポリン、スケートボード、3×3などを代表的な例として挙げる事ができる。

② スポーツを通じた共生社会の推進

障害児を対象に福祉・スポーツそれぞれの専門家による各種スポーツ教室を開催するほか、市内体育館の競技場にスポーツ用具などを設置し、障害児が保護者と一緒にのびのびと身体を動かせる遊び場を提供します。

障害福祉センターひまわりにおいて、ダンベル体操やチェア in ヨガなどの講座を開催します。また、障害者スポーツの体験会を開催し、障害者スポーツの魅力を広く啓発するとともに、障害者への理解を深め、障害者と健常者の交流を図ります。

その他、障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず、全ての人に分け隔てなくスポーツを楽しむことができる方策を検討します。

【実施事業】

- 障害児向けの各種スポーツ教室の開催
- 障害児チャレンジスポーツの実施
- 障害福祉センターひまわりにおけるスポーツ事業
- 障害者スポーツ体験会

障害者スポーツ体験会の様子



③ スポーツによる健康増進

児童生徒の実態把握に基づいた適切な目標設定及び取組みにより、体力向上を効果的に推進することを目的とした、体力づくり推進計画（アクションプラン）を各市立小学校において作成します。また、全国体力・運動能力、運動習慣など調査などの結果を活用し、子どもの生活習慣の実態を把握・分析することにより、子どもの体力向上に向けた具体的な方策を探ります。

介護予防体操である「とよなかパワーアップ体操」の普及啓発を行い、当該体操を行う自主グループの立ち上げの支援や自主グループのモチベーション維持のための専門職による体力測定や体操指導などの支援を行います。また、高齢者が安全に運動を継続できるように、参加者の傾向に合わせたプログラムや提供方法の見直しを行いながら、各体育館にて、いきいき体操や体力アップなどのスポーツ教室を実施します。

市民の主体的な健康活動を促すため、歩く、歯を磨く、健診を受けるなどの健康活動でポイントが貯まり、飲み物や電子マネーが当たるなど、スマートフォンを活用した大阪府の健活サポートアプリ事業を推進するとともに、本市主催のウォーキングなどスポーツイベントに参加した市民にポイントを付与するなど活用していきます。

【実施事業】

- 小・中学校における体力づくり推進計画（アクションプラン）の策定
- とよなかパワーアップ体操の普及
- 高齢者向け各種スポーツ教室の実施
- 子どもの生活習慣の実態把握と分析
- 生活習慣病予防の推進（健康マイレージ事業「おおさか健活マイレージ アスマイル」）

全国的にスポーツ活動中をはじめとして、依然として熱中症による被害が多く発生しています。熱中症は、スポーツなどの活動前に適切な水分補給を行うとともに、必要に応じて水分や塩分の補給ができる環境を整え、活動中や終了後にも適宜補給を行うことなどの適切な措置を講ずれば十分防ぐことが可能です。また、熱中症の疑いのある症状が見られた場合には、早期に水分・塩分の補給、体温の冷却、病院への搬送など適切な処置を行うことが必要です。

熱中症の発生は、梅雨の合間に突然気温が上昇した日や梅雨明けの蒸し暑い日など、体が暑さに慣れていない時期にも起こります。熱中症を知り、自分でできる熱中症対策を心がけましょう。

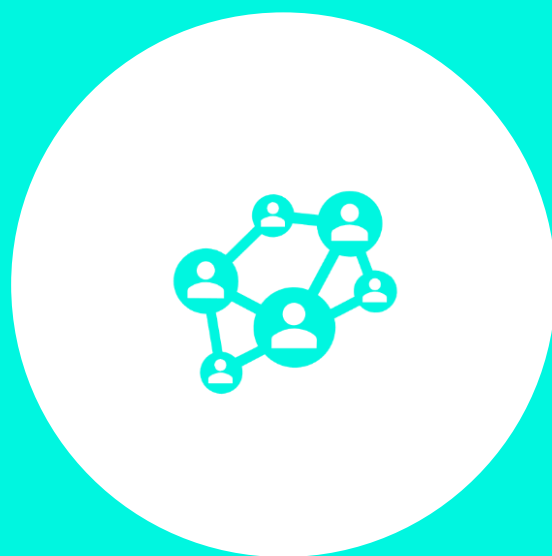
「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(令和元年(2019年)5月改訂、公益財団法人日本スポーツ協会)

無知と無理によっておこるスポーツ活動中の熱中症事故を予防するための「熱中症予防5ヶ条」や「熱中症予防のための運動指針」について詳しく解説されています。スポーツによる熱中症事故がなくなるよう、熱中症予防の呼びかけを続けていきます。



熱中症予防情報サイト(環境省)

熱中症の目安となる暑さ指数(WBGT:湿球黒球温度)、熱中症への対処方法に関する知見などの情報を提供していますので、適宜、ご活用ください。また、令和3年度(2021年度)から全国で運用が開始された「熱中症警戒アラート」につきましては、令和4年(2022年)4月27日より情報提供がされています。これは、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測されます。発表されている日には、外出を控える、エアコンを使用するなどの、熱中症の予防行動を積極的にとりましょう。



Chapter 5

計画の推進にあたって

- 01 成果指標・目標値
- 02 推進体制
- 03 進行管理

01 成果指標・目標値

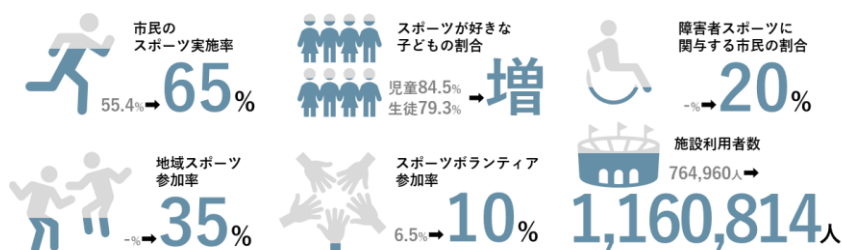
(1) 成果指標・目標値

本計画におけるめざす姿の達成度合いを図る計画全体の成果指標として、「市民のスポーツ実施率」65%をめざすものとします。

また、市民全体のスポーツ実施率を高めていくうえで、子どもへのアプローチが効果的であることから、スポーツ好きな子どもが増えることも目標の一つとします。

その他、地域スポーツ参加率及び施設利用者数を指標とすることで、スポーツ実施のための機会や場を提供できているかを測ります。

成果指標	現状値(R3)		目標値(R9)
市民のスポーツ実施率	55.4%	»»	65%
スポーツが好きな子どもの割合	児童 84.5% 生徒 79.3%	»»	増加 ¹³
障害者スポーツに関する市民の割合	-	»»	20%
地域スポーツ参加率	-	»»	35%
スポーツボランティア参加率	6.5%	»»	10%
施設利用者数	764,960 人	»»	1,160,814 人



¹³ 現状値 (R3) と計画最終年度 (R9) の数値を比べて増加していること。

(2) 成果指標の考え方

① 市民のスポーツ実施率

市民アンケートにより、週1回以上スポーツを行う市民の割合を把握し計測します。

② スポーツが好きな子どもの割合

全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動やスポーツが好き・やや好き」と答える児童・生徒の割合から計測します。

③ 障害者スポーツに関与する市民の割合

市民アンケートにより、障害者スポーツについて、「する」「みる」「ささえる」のいずれかの活動を行う市民の割合を把握し計測します。

④ 地域スポーツ参加率

市民アンケートにより、市や地域のスポーツ団体などが主催するスポーツ行事等に参加する市民の割合を把握し計測します。

⑤ スポーツボランティア参加率

市民アンケートにより、スポーツボランティア活動¹⁴を行う市民の割合を把握し計測します。

⑥ 施設利用者数

市立屋内スポーツ施設の利用者数と市立屋外スポーツ施設の利用者数の合算値から計測します。

¹⁴ スポーツ行事等における運営や指導等直接的なものに限らず、スポーツをする子どもの送迎等間接的なものも含まれます。

02 推進体制

本計画における各種施策の推進にあたっては、以下の体制で取り組みます。

(1) 他分野との横断的な取り組み

計画を着実に推進するため、教育、福祉、保健、観光などの他分野との連携を図ります。

(2) 国や府との整合性

国や府の動向・方向性を確認しながら計画の推進に取り組みます。

(3) 関係団体との連携

総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員協議会、体育連盟、スポーツ少年団、体育施設指定管理者などの関係団体をはじめ、多様な連携を図ります。

03 進行管理

本計画の推進にあたっては、施策進捗や成果指標の達成度合いなどをもとに、スポーツ推進審議会において評価検討し、PDCA サイクル を繰り返すことにより、取り組みを継続的に改善していきます。

また、スポーツを巡る最新の動向を把握するとともに、関係団体や庁内関係部局と調整をしながら取り組みます。



資料編

計画の策定にあたって

- 01 審議経過
- 02 委員名簿
- 03 各種データ（本編補足）

01 審議経過

(1) スポーツ推進審議会

回	開催日	議事内容
第1回	令和4年(2022年) 9月20日(火)	豊中市スポーツ推進計画の進行管理について

(2) スポーツ推進会議

回	実施時期	検討内容
調査	令和4年(2022年) 4月中旬	豊中市スポーツ推進計画 事業実施状況及び評価報告書 令和3年度(2021年度)実施分(案)並びに事業実施状況調査表の確認
第1回	令和4年(2022年) 8月中旬	豊中市スポーツ推進計画 事業実施状況及び評価報告書 令和3年度(2021年度)実施分(案)並びに事業実施状況調査表の確認
第2回	令和4年(2022年) 9月下旬	豊中市スポーツ推進計画 事業実施状況及び評価報告書 令和3年度(2021年度)実施分(案)の最終確認

02 委員名簿

(1) スポーツ推進審議会

地方スポーツ推進計画その他のスポーツ推進に関する重要事項の調査審議を行うためにスポーツ推進審議会を設置します。

	名 前	所属・活動団体等
	浦 耕太郎	連合大阪豊中地区協議会
	児島 政俊	公民分館協議会
	神 皇雄	大阪知的障がい者スポーツ協会
副会長	田島 良輝	大阪経済大学准教授
会 長	野老 稔	武庫川女子大学名誉教授
	長岡 雅美 ^{※3}	武庫川女子大学教授
	雛田 陽子	市民公募委員
	藤森 久美	豊中市スポーツ推進委員協議会
	松代 和子	豊中市体育連盟
	六嶋 明宏	豊中市中学校体育連盟

※1 50音順、敬称略、所属・活動団体等は令和4年（2022年）8月1日現在

※2 任期は、令和3年（2021年）6月21日～令和5年（2023年）6月20日

※3 令和4年（2022年）8月1日付委嘱、任期は令和5年（2023年）6月20日まで

(2) スポーツ推進会議

第2期豊中市スポーツ推進計画の策定に向けた調査研究を行うとともにこれに基づいて施策の推進を図るためにスポーツ推進会議を設置します。

	名 前	所属
委員長	長坂 吉忠	都市活力部長
副委員長	上原 忠	都市活力部 次長
	玉富 香代	都市活力部 魅力文化創造課長
	檜橋 幹三	環境部 公園みどり推進課長
	酒井 幸洋	福祉部 障害福祉課長
	寺田 光一	健康医療部 健康政策課長
	上野 晴彦	健康医療部 保険給付課長
	藤田 健一	こども未来部 こども相談課長
	垂水 剛	こども未来部 こども事業課長
	桑田 篤志	教育委員会事務局 学校施設管理課長
	大澤 亮太	教育委員会事務局 社会教育課長
	弘中 伸明	教育委員会事務局 中央公民館長
	田中 克嘉	教育委員会事務局 学校教育課長
	岡本 淳子	教育委員会事務局 学び育ち支援課長

※機構図順、敬称略、令和4年（2022年）4月1日現在

03 各種データ (本編補足)

(1) 第3期スポーツ基本計画 (スポーツ庁、令和4年(2022年)3月~) の概要

第3期スポーツ基本計画 (概要)

【第2期計画期間中の総括】







- ① **新型コロナウイルス感染症**：
▶ 感染拡大により、スポーツ活動が制限
- ② **東京オリンピック・パラリンピック競技大会**：
▶ 1年延期後、原則無観客の中で開催
- ③ **その他社会状況の変化**：
▶ 人口減少・高齢化の進行
▶ 地域間格差の広がり
▶ DXなど急速な技術革新
▶ ライフスタイルの変化
▶ 持続可能な社会や共生社会への移行

こうした出来事等を通じて、改めて確認された

- ・「楽しさ」「喜び」「自発性」に基づき行われる本質的な『**スポーツそのものが有する価値**』(Well-being)
- ・スポーツを通じた地域活性化、健康増進による健康長寿社会の実現、経済発展、国際理解の促進など『**スポーツが社会活性化等に寄与する価値**』

を更に高めるべく、第3期計画では次に掲げる施策を展開

1. 東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する重点施策

 持続可能な国際競技力の向上 ○ 東京大会の成果を一過性のものとせず、持続可能な国際競技力を向上させるため、 ・NFの強化戦略プランの実効性を支援 ・アスリート育成パスウェイを構築 ・スポーツ医・科学、情報等による支援を充実 ・地域の競技力向上を支える体制を構築	 共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進 ○ 東京大会による共生社会への理解・関心の高まりと、スポーツの機運向上を契機としたスポーツ参画を促進 ○ オリパラ教育の知見を活かしたアスリートとの交流活動等を推進	 スポーツを通じた国際交流・協力 ○ 東京大会に向けて、世界中の人々にスポーツの価値を届けたスポーツ・フォー・トモロウ(SFT)事業で培われた官民ネットワークを活用し、更なる国際協力を展開、スポーツSDGsにも貢献(ドーピング防止活動に係る人材・ネットワークの活用等)
 大規模大会の運営ノウハウの継承 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響下という困難な状況の下で、東京大会を実施したノウハウを、スポーツにおけるホスピタリティの向上に向けた取組も含め今後の大規模な国際競技大会の開催運営に継承・活用	 地方創生・まちづくり ○ 東京大会による地域住民等のスポーツへの関心の高まりを地方創生・まちづくりの取組に活かし、将来にわたって継続・定着 ○ 国立競技場等スポーツ施設における地域のまちづくりと調和した取組を推進	 スポーツに関わる者の心身の安全・安心確保 ○ 東京大会でも課題となったアスリート等の心身の安全・安心を育かす事態に対応するため、 ・誹謗中傷や性的ハラスメントの防止 ・熱中症対策の徹底など安全・安心の確保 ・暴力根絶に向けた相談窓口の一律の周知・活用

2. スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」を支える施策








スポーツを「つくる/はぐくむ」 社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考案して作り出す。 ◆ 柔軟・適切な手法や仕組みの導入等を通じた、多様な主体が参加できるスポーツの機会創出 ◆ スポーツに取り組む者の自主性・自律性を促す指導が可能な質の高いスポーツ指導者の育成 ◆ デジタル技術を活用した新たなスポーツ機会や、新たなビジネスモデルの創出などDXを推進	スポーツで「あつまり、ともに、つながる」 様々な立場・背景、特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う。 ◆ 施設・設備整備、プログラム提供、啓発活動により誰もが一緒にスポーツの価値を享受できる、スポーツを通じた共生社会の実現 ◆ スポーツ団体のガバナンス・経営力強化、関係団体等の連携・協力による我が国のスポーツ体制の強化 ◆ スポーツ分野の国際協力や魅力の発信	スポーツに「誰もがアクセスできる」 性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違い等によって、スポーツの取組に差が生じない社会を実現し、機運を醸成。 ◆ 住民誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会の提供 ◆ 居住地域にかかわらず、全国のアスリートがスポーツ医・科学等の支援を受けられるよう地域課題の連携強化 ◆ 本人が望まない理由でスポーツを途中で諦めることがない継続的なアクセスの確保
--	---	---

3. 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策

① 多様な主体におけるスポーツの機会創出 地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実と体力向上、体質の改善、運動活動効率の向上、女性・障害者・働く世代・子育て世代のスポーツ参加率の向上 等	② スポーツ界におけるDXの推進 先端技術を活用したスポーツ実施のあり方の拡大、デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出 等	③ 国際競技力の向上 中長期的な視野に基づき競技力向上支援システムの確立、地域における競技力向上を支える体制の構築、国・JSPF・地方公共団体が一体となった国民体育大会の開催 等
④ スポーツの国際交流・協力 国際スポーツ界への意思決定への参画促進、スポーツ産業の国際展開を促進するプラットフォームの検討 等	⑤ スポーツによる健康増進 健康増進に資するスポーツに関する研究の充実・調査研究成果の利用促進、医療・介護や企業、保険者との連携強化 等	⑥ スポーツの成長産業化 スタジアム・アリーナ整備の着実な推進、他産業とのオープンイノベーションによる新たなビジネスモデルの創出支援 等
⑦ スポーツによる地方創生、まちづくり 武道やアウトドアスポーツ等のスポーツツーリズムの更なる推進など、スポーツによる地方創生、まちづくりの創出の全国的に加速化 等	⑧ スポーツを通じた共生社会の実現 障害者や女性のスポーツの実施環境の整備、国内外のスポーツ団体の女性役員候補者の活用・育成の支援、意識啓発・情報発信 等	⑨ スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化 ガバナンス・コンプライアンスに関する研修等の実施、スポーツ団体の財務健全化等を行う人材の雇用創出を支援 等
⑩ スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材 民間・大学も含めた地域スポーツ施設の有効活用促進、地域スポーツコミッションなど地域型組織の活用、全NFでの人材育成及び活用に関する研修等を実施、女性のスポーツ指導に精通した指導者養成支援 等	⑪ スポーツを実施する者の安全・安心の確保 暴力や不適切な指導等の根絶に向けた指導者養成・研修の実施、スポーツ安全に係る情報発信・安全対策の推進 等	⑫ スポーツ・インテグリティの確保 スポーツ団体へのガバナンスコードの普及促進、スポーツ仲裁・調停制度の整備等推進、教育研究や研究活動等を通じたドーピング防止活動の展開 等


『感動していただけるスポーツ界』の実現に向けた目標設定

全ての人が自発的にスポーツに取り組むことで自己実現を図り、スポーツの力で、前向きで活力ある社会と、絆の強い社会を目指す

 国民のスポーツ実施率を向上 ✓ 成人の週1回以上のスポーツ実施率を7.0% (障害者は4.0%) ✓ 1年に一度以上スポーツを実施する成人の割合を10.0%に近づける (障害者は7.0%を目指す)	 生涯にわたって運動・スポーツを継続したい子供の増加 (児童86%⇒90%、生徒82%⇒90%)  子供の体力の向上 (新体力テストの総合評価C以上の児童68%⇒80%、生徒75%⇒85%)	 誰もがスポーツに参画でき、共に活動できる社会を実現 ✓ 体育授業への参加を希望する障害のある児童生徒の見学ゼロを目指した学習プログラム開発 ✓ スポーツ団体の女性理事の役割を40%
 オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会で、過去最高水準の金メダル数、総メダル数、入賞者数、メダル獲得競技数等の実現	 スポーツを通じて活力ある社会を実現 ✓ スポーツ市場規模15兆円の達成 (2025年まで) ✓ スポーツ・健康まちづくり に取り組む地方公共団体の割合15.6%⇒40%	 スポーツを通じて世界とつながる ✓ ポストSFT事業を通じて世界中の700万人の人々への裨益を推進 ✓ 国際競技連盟(IF)等役員数37人規模の維持・拡大

(2) 本市上位・関連計画におけるスポーツの位置づけ

第4次豊中市総合計画後期基本計画

策定期期	令和5年(2023年)3月	計画期間	令和5年度(2023年度)～ 令和9年度(2027年度)
本計画に関わる記載			
<p>【16 施策とリーディングプロジェクト】</p> <p>第1章 子ども・若者が夢や希望をもてるまちづくり</p> <p>第2章 安全に安心して暮らせるまちづくり</p> <p>2-1 住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進</p> <p>2-2 保健・医療環境の充実</p> <p>2-3 消防・救急救命体制の充実</p> <p>2-4 災害に強く、犯罪を防ぎ、安全に暮らせる地域づくり</p> <p>第3章 活力ある快適なまちづくり</p> <p>第4章 いきいきと心豊かに暮らせるまちづくり</p> <p>4-1 共に生きる平和なまちづくり</p> <p>4-2 学びと文化のあふれるまちづくり</p> <p>第5章 施策推進に向けた取組み</p>			

■障害者が社会参加しやすい環境づくり

文化・スポーツなどあらゆる場面での活動発表の機会づくりなど、主体的な社会参加のしくみを推進します。

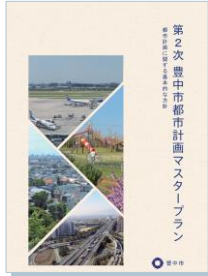
■市民がスポーツにふれる機会の創出

子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた生涯スポーツ活動を支援するとともに、スポーツ大会やイベント等、スポーツにふれることができる多様な機会の創出に取り組みます。

■安心して利用できるスポーツ施設の環境整備


市民のスポーツ活動等の機運を醸成するため、スポーツ施設の利用促進を図り、安心して身近なところでスポーツに親しめる環境の整備に取り組みます。

第2次豊中市都市計画マスタープラン

策定期期	平成30年(2018年)4月	計画期間	平成30年度(2018年度) ～令和9年度(2027年度)
本計画に関わる記載			
<p>【都市づくりの方針】</p> <p>第1節 活力あふれる便利で快適なまち</p> <p>1. 活力あふれる便利で快適なまちづくり</p> <p>2. 誰もが移動しやすい交通環境づくり</p> <p>第2節 みどり豊かなうるおいのあるまち</p> <p>第3節 安全でゆとりのあるまち</p> <p>第4節 地域の個性を活かすまち</p>			

曾根駅周辺は、新たに整備された文化芸術センターや、中央公民館、豊島体育館、武道館ひびきなどの施設、服部緑地や豊島公園とそれらに連なるふれあい緑地のほか、周辺に点在する歴史的建造物や街道などの地域資源と服部天神駅とを歩行者動線で結び、回遊性を高めることで、服部天神駅周辺から連なる文化・スポーツの中心的な拠点として、多様な活動の発信や、市民や来訪者との交流が生まれる、魅力ある拠点の形成を図ります。

第8期豊中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画


策定期期	令和3年(2021年)3月	計画期間	令和3年度(2021年度) ～令和5年度(2023年度)
本計画に関わる記載			
<p>【目標像】</p> <p>住み慣れた地域で、自分らしく生きがいや誇り、明日への希望をもって、健やかに安心して暮らせるまち</p> <p>【基本目標】</p> <p>基本目標1 人生100年時代を見据えた生涯現役社会の実現</p> <p>1) 健康づくり・介護予防の展開</p> <p>2) 社会参加の促進</p> <p>基本目標2 一人ひとりの状況・状態に対応した支援の実現</p> <p>基本目標3 安心して暮らし続けるための生活基盤づくり</p> <p>基本目標4 介護保険制度の持続可能性の確保と2040年に向けた基盤づくり</p>			

②生涯スポーツの推進

体育館や温水プール等の施設において、年齢や体力、スポーツ経験、興味・目標に応じた、多様なスポーツ機会の提供を行い、健康の保持・増進に向けた取り組みを行います。

また、高齢者のスポーツに対する意識向上を図るとともに、スポーツ活動を通じて高齢者の交流が生まれるよう、各種教室や事業の普及促進に努めます。

豊中市第五次障害者長期計画および第6期豊中市障害福祉計画・第2期豊中市障害児福祉計画


策定期間	平成30年（2018年）3月	計画期間	平成30年度（2018年度） ～令和5年度（2023年度）
本計画に関わる記載			
<p>【基本理念】 互いを認め支えあい、だれもが輝けるまち</p> <p>【基本目標】</p> <p>1 一人ひとりが尊重され、ともに生きる社会</p> <p>2 一人ひとりが輝くための自立と社会参加</p> <p>（1）療育・教育</p> <p>（2）雇用・就労</p> <p>（3）生涯学習、文化・スポーツ活動</p> <p>3 支えあい安心して暮らせる地域生活</p>			

【基本方針】
生涯学習や文化・スポーツ活動を通じて、障害のある人とない人とが交流する機会を設けるとともに、障害のある人の社会参加や生きがいを支援していきます。

【推進施策】

② 文化・スポーツ活動の推進
障害のある人がスポーツ、文化活動を通じて社会に参加し、健康づくりや生きがいを、自己実現を図れるよう、活動への参加を促進します。

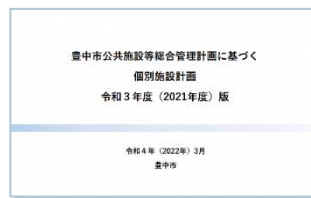
第2次豊中市みどりの基本計画

策定期間	平成30年（2018年）3月	計画期間	平成30年度（2018年度） ～令和9年度（2027年度）
本計画に関わる記載			
<p>【みどりの配置方針】</p> <p>（1）景観形成システムの配置方針</p> <p>（2）都市環境の形成及び生物多様性保全システム</p> <p>（3）レクリエーション及び市民交流システムの配置方針</p> <p>（4）防災・減災システムの配置方針</p>			

①配置方針
公園・緑地などのみどりの適正な維持管理や施設の充実を図るとともに、コミュニティ形成の場の創出やみどりに関する活動の場の提供を推進し、多様化する要望を踏まえたレクリエーション及び市民交流に資するみどりの配置をめざします。

②配置計画 レクリエーションの拠点づくり
野球場やテニスコートなどの運動施設を有する公園・緑地の整備、「豊中市公園施設長寿命化計画」に基づく公園・緑地における遊具の更新や「都市公園移動等円滑化基準」に基づくバリアフリー化、花とみどりの名所づくり、農地を活用した市民農園における自家用野菜などの栽培、これらを結ぶ緑地や河川・水路、街路樹の整備など、レクリエーション利用を促進するみどりを配置します。

策定期期	令和4年(2022年)3月改訂	計画期間	平成29年度(2017年度) ～令和22年度(2040年度)
本計画に関わる記載			
<p>【今後の再編方針】</p> <p>1. 施設再編の方向性 公共施設の再編を進める中では、限られた財源の中で優先順位を定めることが必要になりますが、住民の生命や、身体に対する危険を回避するための役割を果たす保健医療施設や安全関連施設の中でも、老朽化が著しい施設や、複合化や集約化が困難な施設については、優先的に再整備の検討を進めるものとします。</p> <p>2. 施設種別ごとの再編方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育施設 2. 子育て関連施設 3. 社会教育系施設 4. スポーツ施設 5. 文化学習交流施設 6. 保健医療施設 7. 高齢者・障害者福祉施設 8. その他社会福祉施設 9. 公営住宅施設 10. 産業振興・労働・生活関連施設 11. 環境関連施設 12. 安全関連施設 13. 集会・コミュニティ施設 14. 庁舎、事務所等 15. その他施設 			



【施設種別／施設数】

屋内体育施設、温水プール、屋外体育施設／18施設

【今後の方針】

- ◎想定耐用年数を踏まえ、現施設の計画的な施設保全に取り組み、長寿命化を図る。
- ◎当面は現状の規模及び配置を継続する。

(3) アンケート結果概要

① 調査方法と回収状況

市民 アンケート	○18歳以上の市民 3,500人（無作為抽出） ○郵送にて調査票を配布、回答は調査票への記入・返送、 アンケート回答フォームによる回答を併用 ○令和3年(2021年)12月1日から12月17日（翌年1月14日まで 延長） ○有効回答数：1,026件 有効回答率：29.3%
子ども アンケート	○豊中市立の小学校・中学校に通う小学2年生、小学5年 生、中学2年生の子ども約11,000人 ○調査依頼文（チラシ）を学校を通じて配布、アンケート 回答フォームによる回答 ○令和4年(2022年)1月17日から1月31日（2月14日まで延 長） ○有効回答数：720件

② 市民アンケート結果概要

《運動不足感》

- 自分が運動不足と認識している人は79.2%で、全国調査と同様の状況となっており、運動習慣のある人でも68.0%が運動不足と答えています。

《運動やスポーツの実施状況》

- 週1日以上、運動やスポーツを行っている人の割合は55.4%で、前回調査の36.9%から大幅に増加しましたが、国や民間機関が実施した近年の調査結果と比べると少なく、特に30歳代の落ち込みが目立つ結果となっています。
- これまでにやったことがある＋今後やってみたい運動やスポーツ

1位	散歩・ウォーキング	75.7%
2位	体操	46.1%
3位	筋力トレーニング	37.3%
4位	登山・ハイキング・トレイルランニング	33.3%
5位	自転車・サイクリング・BMX	31.2%
6位	エアロビクス・ヨガ・ピラティス	26.8%
7位	キャンプ・野外活動・海水浴	25.2%
8位	ランニング・ジョギング	24.2%
9位	軽い球技	23.2%
10位	水泳・水中運動	22.2%

- 運動やスポーツを行っている理由は、健康・体力づくりや体力の保持・増進のため、運動不足を感じるから、楽しみや気晴らしとしてという人が多く見られます。
- 運動やスポーツを始めたきっかけは、過去に経験したことがあるから、時間に余裕ができた、家族や友人・近所の人に誘われたという人が多く見られます。

- 運動やスポーツを行う時に利用している施設や場所は、自宅周辺の道路や散策路、公園・広場など屋外で行う人が前回調査より増え、スポーツ施設をあげる人が少なくなっています。
- 運動やスポーツを一緒に行う人について尋ねたところ、自分ひとりでやっている人が68.6%となっています。
- 今後の運動やスポーツに対する考え方として、現在は運動やスポーツを行っていないが、今後行いたいと思う人が最も多く、特に現在運動習慣のない人では59.8%を占めています。

《運動やスポーツを行う環境の変化と課題》

- 運動やスポーツを行う環境の変化について尋ねたところ、この1年間に運動やスポーツを行った人のうち60.1%が何らかの環境変化があったと答えています。
- 運動やスポーツを行う頻度の変化について尋ねたところ、1年前と比べて変わらない人が42.8%、減ったが29.7%、増えたが18.1%となっており、いずれの場合も新型コロナウイルス感染症の感染拡大により日常生活が変化したからと答える人が多く見られます。
- 運動やスポーツを行う際に問題となっていることとして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により運動やスポーツが行いにくい、時間的な余裕が確保しにくい、施設や場所が近くにないといった問題があげられています。

《スポーツの観戦状況》

- この1年間にスポーツを観戦した人は81.3%で、テレビやラジオ、インターネット等で観戦した人が78.6%、直接会場へ出向いて観戦した人が8.5%となっています。

《運動やスポーツに関する支援活動》

- 運動やスポーツに関する支援活動の実施状況を尋ねたところ、何らかの支援活動を行った人は6.5%となっていますが、民間機関が実施した調査結果と比べると若干多めとなっています。
- 運動やスポーツに関する支援活動に参加したいと思う条件について尋ねたところ、時間的な余裕がある、活動場所が近い、費用がかからない、一緒に行う仲間がいる、参加したい活動があるなどとなっています。

《スポーツ推進行政で充実すべき取組み》

- 今後のスポーツ推進のために市の役割として充実すべき取組みを尋ねたところ、年齢や体力に応じたスポーツの指導をあげる人が最も多く、これに次いで健康増進・体力づくりに重点をおいたスポーツ教室、スポーツ施設の整備・充実、初心者向け・スポーツの苦手な人向けの教室などが上位にあげられています。

③ 子どもアンケート結果概要

《運動やスポーツの実施状況》

- 週1日以上、運動やスポーツを行っている人の割合は85.7%となっています。

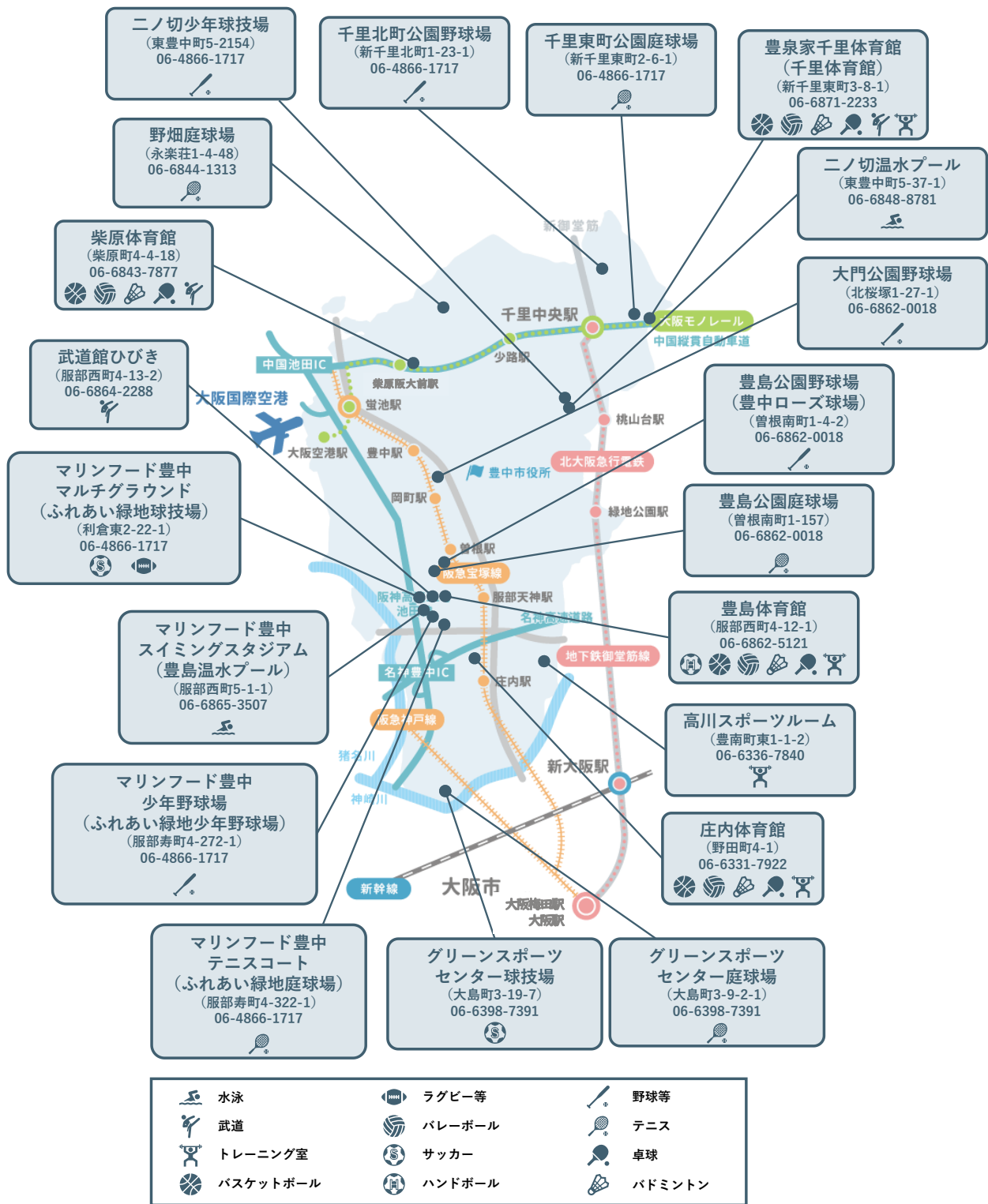
1位	鬼ごっこなどの外遊び	78.6%
2位	水泳	64.4%
3位	散歩・ウォーキング・ジョギング	60.8%
4位	ストレッチなどの体操・筋力トレーニング	52.9%
5位	自転車・サイクリング・BMX	50.0%
6位	ドッジボール	42.5%
7位	スキー・スノーボード	33.2%
8位	バドミントン	32.2%
9位	サッカー・フットサル	27.9%
10位	ハイキング・登山	27.4%

- 運動やスポーツについて感じていることを尋ねたところ、楽しい、一緒にできる友だちがいる、体を動かすので気持ちがいい、あきらめずに練習すればできる、上手にできる・得意など、好意的に捉える人が多くを占めています。
- 運動やスポーツを行う環境の変化について尋ねたところ、この1年間に運動やスポーツを行った人のうち71.3%が何らかの環境変化があったと答えており、屋外で行うことが多くなった、緊急事態宣言などにより行うことを控えていたという人が20%前後となっています。

《子どもの運動やスポーツについて》

- 子どもの運動やスポーツを促進するために望ましい条件や環境として、子ども自身がやってみたい・続けてみたいと思える内容、子どもたちだけでも通しやすい場所、安全に運動やスポーツが行える場所、子どものやる気や能力を引き出す指導者や見守りをするお世話役などをあげる人が多く見られます。

(4) スポーツ施設 MAP¹⁵



¹⁵ 凡例の対応競技種は一例です。施設によってはより自由に柔軟な使い方ができる可能性がありますので、詳細はMAPに記載の各施設運営者連絡先までお問合せください。

第2期豊中市スポーツ推進計画

令和5年（2023年）3月

編集・発行

豊中市都市活力部スポーツ振興課

〒561-8501

大阪府豊中市中桜塚 3-1-1

06-6858-3309





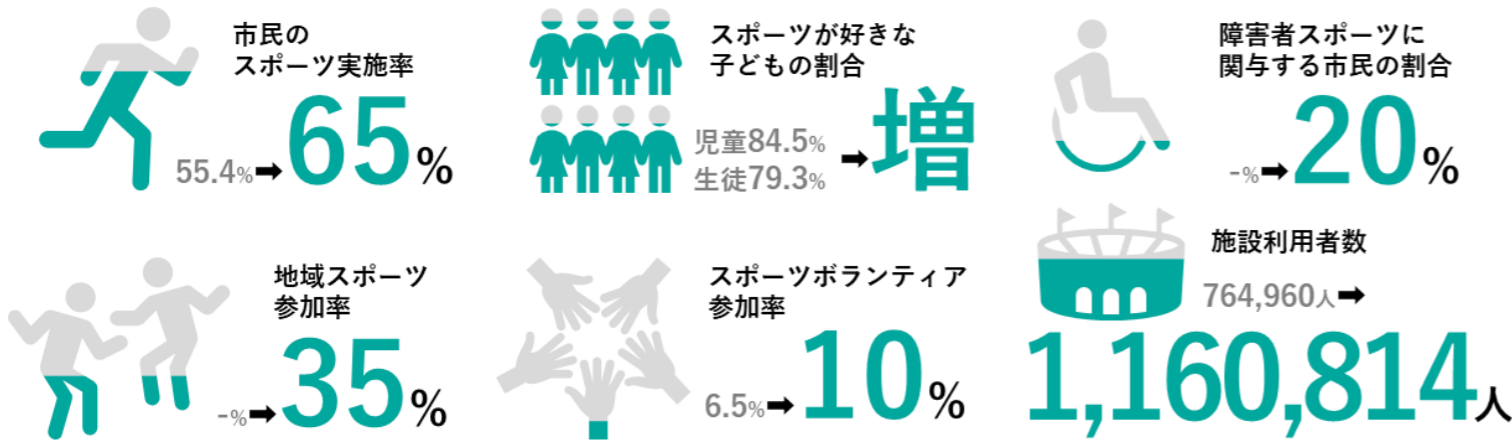
こちらから本編や動画もご覧いただけます

スポーツの力で明日がもっと楽しくなる 誰もが輝き 心と体が躍動するまち 一人でも、仲間とでも。いつからでも、今からでも。

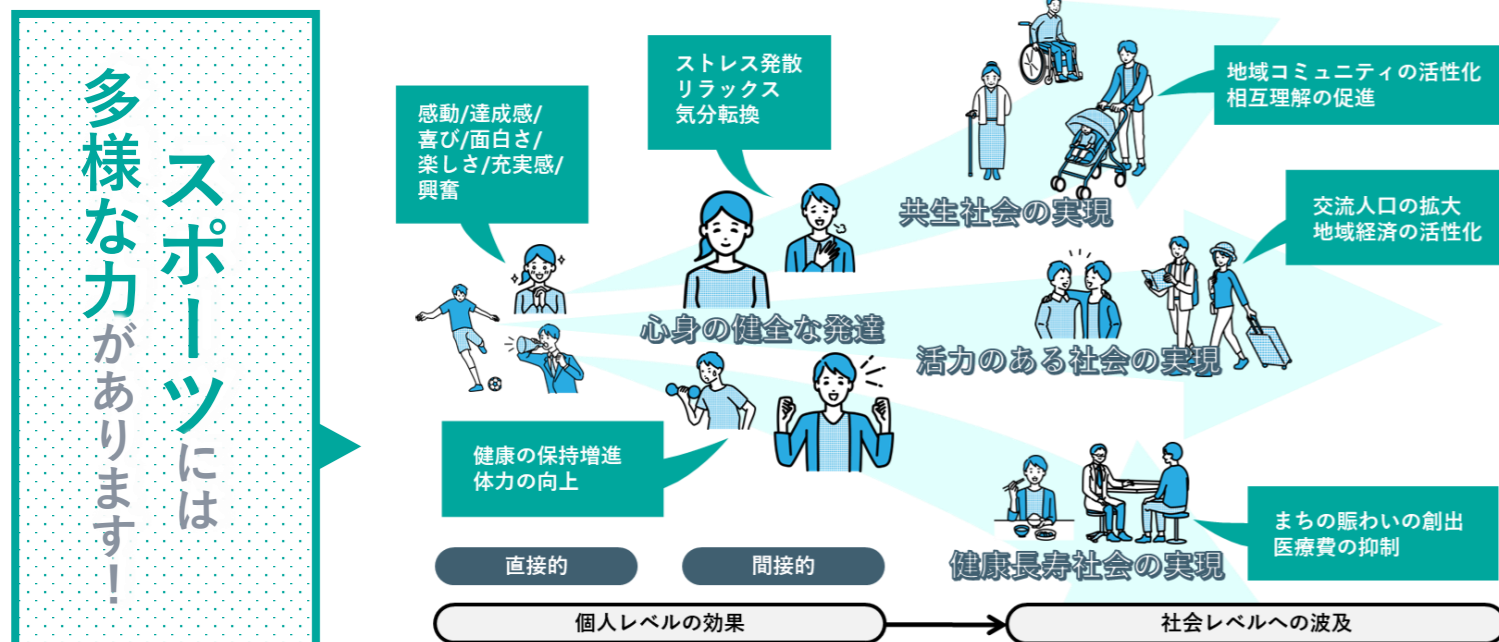
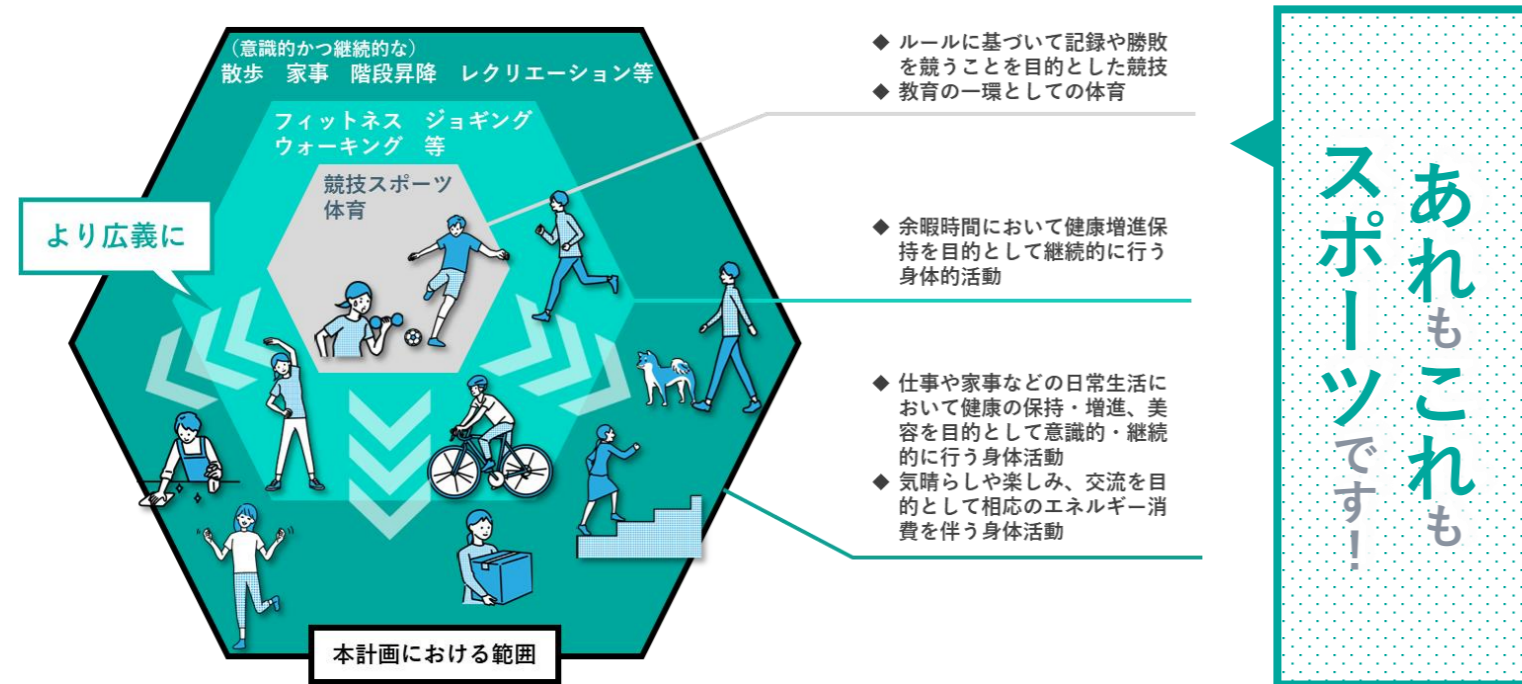


第2期 豊中市スポーツ推進計画 2023 ▶ 2027

成果指標



本市が考える「スポーツ」とは



本市はSDGs未来都市として選定されています。本計画においても「スポーツの力」を意識しながら、SDGsの主旨を踏まえ、持続可能な未来へ向けて、各施策の推進に取り組んでいきます。

将来像

スポーツの力で明日がもっと楽しくなる

誰もが輝き 心と体が躍動するまち

一人でも、仲間とでも。いつからでも、今からでも。

性別や年齢、国籍や障害の有無などに関わらず互いに認め合い、誰もがスポーツの力を享受できるまちをめざします。

市民が、気軽にいつでも・どこでも・誰とでもスポーツができる・したくなるような機会の充実や環境の整備を図ります。

方向性

1 すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実

スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であることから、性別や年齢、障害、経済・地域事情などの違いによらず、すべての市民がスポーツに親しむことができるための環境の充実を図ります。市民がスポーツをしたくなる「きっかけ」をつくり、スポーツができる施設や空間などの「場」や教室・大会などの「機会」を提供します。また、スポーツを介した人の「交流」を増やすとともに、これらを支える「人材の確保・育成」に努めます。



2 スポーツを活かした魅力あるまちづくり

本市の有するスポーツ関連資源を有効活用し、スポーツを通じた若者のシビックプライドの醸成をとおして、将来にわたる人口の維持やスポーツを介した多世代交流など、スポーツによるまちづくりの促進に取り組みます。また、パラスポーツなどをはじめ、多様性に関する理解促進による共生社会の実現やスポーツ実施による市民の健康増進と健康福祉のまちづくりの実現に向けて取り組みます。



施策体系

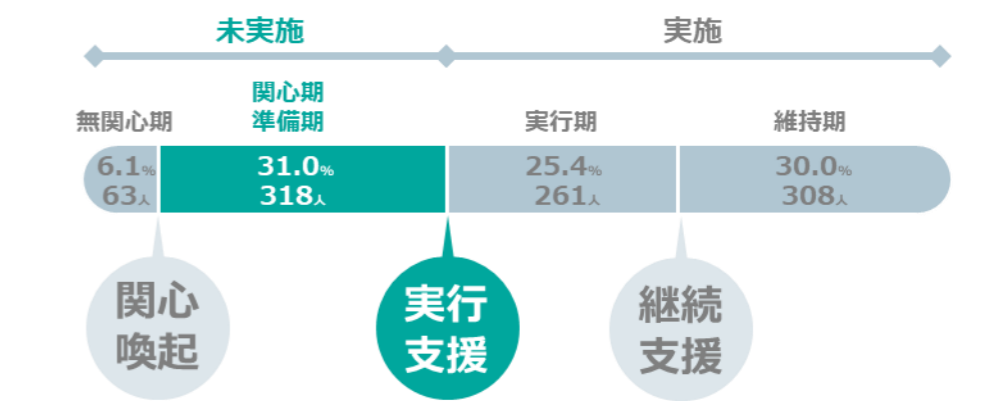
上記めざす姿の実現に向けて、市民の世代や運動実施の段階に応じ、以下に示す具体的施策・事業を展開します。

なお、2つの大きな方向性に連なる各種施策・事業はそれぞれ、SDGs17ゴールのうちアイコンで示すゴールの達成に寄与するものと位置付けています。

将来像	方向性	方針	施策	実施事業	フェーズ		
誰もが輝き心と体が躍動するまち	1 すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実	(1) スポーツへの動機付けの強化	① 情報発信による関心喚起	● 市広報・ホームページ等のスポーツ情報発信 他2事業	🧠 🏃 🚴		
			② 気軽な体験による実行支援	● ラジオ体操やウォーキングの推進 ● スポーツ用具等貸出事業 他3事業			
			(2) スポーツ機会の創出	① 幅広い世代へのスポーツ機会の創出		● ライフステージに応じたプログラムの開発と普及 ● 各種スポーツ教室の開催 他9事業	🧠 🏃 🚴
				② 子どもへのスポーツ機会の創出		● 運動部活動の地域移行【新規】 ● マルチスポーツの推進【新規】 ● 子どもの居場所の充実【新規】 他7事業	
		③ スポーツ推進のための場づくり		● スポーツ振興基金の収入確保に向けた取組み 他2事業			
		(3) スポーツを通じた交流の推進	① 域内での交流	● スポーツまちづくりイベントの実施（グリスポビア等） 他6事業	🧠 🏃 🚴		
			② 域外との交流	● 兄弟都市や姉妹都市、空港で結ぶ就航都市、近隣市など他市チームとの交流試合の開催			
			(4) スポーツ推進のための人材確保・育成	① 人材の確保		● 中学校運動部活動の指導者の確保 他3事業	🧠 🏃 🚴
	② 人材の育成			● 指導者講習会・審判講習会の実施 他1事業			
	2 スポーツを活かした魅力あるまちづくり	(1) スポーツによるシビックプライドの醸成	① スポーツによるシビックプライドの醸成	● トップアスリートによる講演会や教室、交流会の実施 他2事業	🧠 🏃 🚴		
			② スポーツを通じた共生社会の推進	● 障害児向けの各種スポーツ教室の開催		🧠 🏃 🚴	
				● 障害者スポーツ体験会 他2事業			
③ スポーツによる健康増進	● 高齢者向け各種スポーツ教室の実施 他4事業	🧠 🏃 🚴					

「関心期・準備期」層に向けた施策を強化

スポーツや運動の低い実施率及び実施に至っていない未実施層の中では、無関心期層が極めて少なく、関心期・準備期が多いことから、関心喚起策ではなく、「まずは実際にやってみる」ことの実行支援が必要であると考えられます。



	運動やスポーツについて	
	実施頻度	満足度
実施	維持期	週3日以上
	実行期	週1～2日
未実施	関心期準備期	行っているが、もっと行いたい ※ 全くしていないを含む
	無関心期	行っていないが、行いたいと思う 行いたいと思わない

低年齢層へのスポーツ施策が効果的

各世代におけるスポーツ実施の課題は、一歩前のライフステージでの習慣に起因するケースが多くあると考えられ、低年齢層をターゲットとした施策が中長期的には最も効果的であると考えられます。
一歩前のライフステージのうちから...

- 上手くできなくて苦手意識が...
- 忙しくて時間がとれない...
- 機会や仲間がなくて...
- 体が思うように動かなくて...
- 勝ち負けだけじゃないスポーツの楽しさに気づこう！
- 時間を作ってでもやりたくなるスポーツをみつけよう！
- 若いうちからスポーツでつながりを増やそう！
- 元気なうちから健康維持に向けて取り組もう！

《仮称》令和5年度「マルチスポーツ体験教室」実施(案)

- ・ 目的 近年、学童期から一つのスポーツに特化して練習を重ねている子どもが増えている。しかし、その一方で、スポーツの早期専門化によって、運動能力の偏り、オーバーユースによるけが、バーンアウトなどが問題となっている。
本事業では、学童期に様々なスポーツを経験する機会を創出し、大学生等のアスリートからスポーツの楽しさを伝えることで、青年期以降の運動部活動や生涯スポーツへの参加促進、スポーツ実施率の向上につなげることを目的とする。
- ・ 期間 令和5年(2023年)7月1日から令和6年(2024年)3月31日まで
- ・ 実施場所 豊島体育館、千里体育館、柴原体育館、庄内体育館
- ・ 対象者 市内在住の小学1年生から6年生
- ・ 対象人数 1年生から3年生 25人 4年生から6年生 25人
- ・ 実施回数 8回
- ・ 実施時間 1年生から3年生グループ、4年生から6年生グループ 各1時間程度
- ・ 実施種目 未定(今後、大学と調整)

【実施内容】

- ・ 競技スポーツやニュースポーツ等、多様な種目のスポーツを実施すること。
- ・ 運動初心者や運動が苦手な子どもにも取り組みやすい内容にすること。
- ・ スポーツに好意的な印象を持ち、自発的及び継続的に取り組める内容にすること。
- ・ 年齢や習得度に応じた内容にすること。

【各大学の実施場所・対象校区・種目】

	大阪成蹊大学	武庫川女子大学	立命館大学	流通科学大学
実施場所	千里体育館	柴原体育館	豊島体育館 武道館	庄内体育館
種目	調整中	調整中	調整中	調整中